

2022年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻

ま え が き

この教育要項は、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の授業を受ける学生の皆さんに、2022年度に行われる予定の専門教育科目を示し、それらの授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。

学生の皆さんが、本学における口腔保健衛生学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

2022年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

口腔保健学科

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
8. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
9. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身のさまざまな状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健衛生学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健衛生学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、および専門科目の相談援助関連の履修全体を通じて、人を思いやれる心とコミュニケーション力を育て、医療人としての倫理観を培う教育を行う。
2. 全学共通科目の自然科学の学びを基礎に、専門課程では人体の構造と機能及び疾病、疾病の成り立ちと回復過程の促進、卒業研究等の履修により、学際的科学の視点と研究への意欲を培う。
3. PBL テュートリアル授業およびグループ討論で学ぶ口腔保健と専門職、社会保障など幅広い科目の履修をとおして、人々の健康・生活における諸問題を発見・分析し、解決へとつなげる力を養成する。
4. 歯科衛生過程の基礎理論、健康教育の基礎および企画・実践・評価、歯科衛生臨床・臨地実習等の履修をとおして、歯科衛生に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学び、人々の口腔と全身の健康を守り、推進するための専門的な力を醸成する。
5. 保健医療サービス、介護福祉関連科目等の履修および他学科・専攻との合同授業をとおして、保健・医療・福祉分野等の他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を育成する。
6. 科学英語、口腔保健と国際協力等の科目の履修をとおして、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を身につける教育を行う。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健衛生学専攻のカリキュラムポリシー	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則	1
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規.....	13
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項.....	15
東京医科歯科大学試験規則	17
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	20
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	21
学生周知事項等	
歯科衛生士国家試験について	23
社会福祉士国家試験について	24
学生周知事項	25
災害関係連絡事項.....	29
学生・女性支援センター（5号館3階）について	31
保健管理センター（5号館2階）について	32
検査ワクチン実習要件について	33
図書館（M&Dタワー3・4階）について	35
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	37
湯島キャンパス案内	41
1号館西6～8階平面図.....	42
2号館見取り図	43
7号館平面図	44
2022年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門課程科目授業計画表.....	45
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻科目責任者連絡先一覧.....	46

第 1 学年 履修ユニット

人体の構造と機能Ⅰ	48
栄養と代謝	51
公衆衛生学	54
社会保障Ⅰ	57
口腔保健と専門職	59
歯科衛生学総論	61
メディア情報学	63
臨床体験実習	65

第 2 学年 履修ユニット

臨床体験実習	68
人体の構造と機能Ⅱ	70
科学英語Ⅰ	74
科学英語Ⅱ	76
歯・口腔の構造と機能	78
歯の形態学	84
口腔保健衛生基礎科学	88
病理学総論	91
病原微生物と生体防御	93
口腔病理学	97
薬理学	99
社会保障Ⅱ	102
保健医療サービス	104
歯科保存学	107
小児歯科学	110
歯科補綴学	113
口腔外科・歯科麻酔学	116
臨床医学Ⅰ	119
口腔疾患予防基礎学Ⅰ	123
口腔疾患予防基礎学Ⅱ	127
口腔疾患予防基礎学実習	131
健康教育の基礎Ⅰ	136
健康教育の基礎Ⅱ	138
食生活教育	140
生体材料学	144

臨床検査.....	146
歯科診療補助論Ⅰ.....	148
歯科診療補助論Ⅱ.....	152
臨床口腔保健衛生実習Ⅰ.....	156
歯科衛生過程の基礎.....	160
児童・家庭福祉Ⅰ.....	162
障害児・者福祉Ⅰ.....	164
地域福祉Ⅰ.....	166
高齢者福祉Ⅰ.....	168
介護福祉Ⅰ.....	171
相談援助の基盤と専門職Ⅰ.....	172
相談援助演習Ⅰ.....	175

第3学年 履修ユニット

歯科薬理・薬剤学.....	178
歯科矯正学.....	181
歯科放射線学.....	184
チーム医療の基礎.....	186
チーム医療の実践.....	188
口腔機能管理実習.....	190
高齢者歯科学.....	193
障害者歯科学.....	195
臨床医学Ⅱ.....	198
口腔疾患予防応用学.....	201
口腔疾患予防応用学実習.....	204
健康教育の企画と実践Ⅰ.....	209
健康教育の企画と実践Ⅱ.....	211
歯科診療補助論Ⅲ.....	212
臨床口腔保健衛生実習Ⅱ.....	215
歯科衛生臨床実習Ⅰ.....	219
歯科衛生過程専門演習.....	222
社会調査の基礎.....	225
卒業研究.....	229
相談援助演習Ⅱ.....	234
口腔保健と国際協力.....	236
歯科衛生研究.....	239
口腔保健衛生エクスターンシップ.....	241

歯科衛生臨床実習Ⅱ	243
歯科衛生臨床実習Ⅲ	246

第4学年 履修ユニット

臨床口腔保健応用学.....	250
健康教育の企画と実践Ⅲ.....	252
歯科衛生臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ.....	254
歯科衛生臨地実習.....	261
卒業研究.....	263
歯科衛生学演習.....	269
歯科衛生臨床・臨地応用実習.....	272
口腔保健マネジメント論.....	274
保健行動科学.....	275
地域口腔保健論.....	277
在宅訪問・災害口腔保健医療.....	280
先端歯科医療学.....	282
福祉計画.....	284
福祉運営管理.....	286
相談援助演習Ⅲ.....	288
相談援助実習指導.....	291
相談援助実習.....	294
口腔保健エクスターンシップ.....	296

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

-4-

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年9月26日規則第130号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年10月24日規則第131号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附 則 (令和元年 5 月 8 日規則第 5 6 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和元年 5 月 8 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 平成 31 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 31 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 の (1) 及び (4) 並びに別表 3 (1) 及び (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 総合診療・地域医療

別表 1 (4) 総合診療・地域医療

別表 3 (1) 総合診療・地域医療

別表 3 (3) 総合診療・地域医療

附 則 (令和 2 年 3 月 11 日規則第 4 9 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (1)、(3) 及び (4) の次に掲げる科目並びに別表 3 (1) の (5)、注 1 及び別表 3 (3) の (4)、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医歯学基盤教育 (グローバル・コミュニケーションⅢ)、社会医学及び行動科学

別表 1 (3) 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表 1 (4) 医歯学基盤教育 (グローバル・コミュニケーションⅢ)

3 前項の規定にかかわらず、Learning Medical English については、平成 31 年 4 月 1 日に入学した者のみ改正後の別表 1 (3) を適用する。

附 則 (令和 3 年 1 月 15 日 規則第 3 号)

1 この規則は、令和 3 年 1 月 15 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (令和 3 年 2 月 3 日 規則第 1 6 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 3 年 2 月 3 日より施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (7) 及び別表 2 のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (7) 及び別表 2 オンライン異文化交流

附 則 (令和 3 年 3 月 31 日規則第 4 0 号)

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条、別表 1 (4) 及び別表 3 (1) は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(施行期日等)

附 則 (令和 4 年 1 月 17 日規則第 6 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 4 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (2) 及び別表 1 (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例（別表 1 (3) 電子顕微鏡学を除く。）による。

別表 1 (2) インディペンデントスタディ A

別表 1 (2) インディペンデントスタディ B

別表 1 (2) インディペンデントスタディ C

別表 1 (3) 生命理工学概論

附 則 (令和 4 年 1 月 31 日規則第 1 0 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（7）のうちに掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（7）ポストコロナ社会における感染症対策

附 則（令和4年2月15日規則第15号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表1（7）のうちに掲げる科目は、令和5年3月31日までの間は存続するものとする。

別表1（7） Introduction to Medical Anthropology

別表1（7） Decision-making in the Health Sciences

別表1（7） Health in Contemporary Japanese Society

附 則（令和4年3月1日規則第16号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日より施行する。
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（6）のうちに掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（6） 口腔保健工学エクスターンシップ

附 則（令和4年3月22日規則第44号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者、及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者（以下「再入学等者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

- 3 在学者のうち令和3年度に入学した者、及び再入学等者のうち令和3年度に入学した者の属する学年に再入学、転入学または編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（1）及び（4）医療とAI・ビッグデータ応用

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

別表 1

(5) 口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
		必修	選択	自由	1 年		2 年		3 年		4 年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	6					○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障Ⅰ	2				○						
	社会保障Ⅱ	2					○					
	保健医療サービス	2						○				
専門分野	口腔保健と専門職	1			○							
	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○		
	チーム医療の基礎	1								○		
	チーム医療の実践	1								○		
	口腔機能管理実習	1								○		
	高齢者歯科学	1								○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	4						○	○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○	○		
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	メディア情報学	1				○						
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	3							○	○	○	○

	生体材料学	1					○					
	臨床検査	1						○				
	歯科診療補助論	5					○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	社会調査の基礎	2							○			
	卒業研究	4							○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1				○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1					○				
	地域福祉Ⅰ		1				○					
	高齢者福祉Ⅰ		1				○					
	介護福祉Ⅰ		1				○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1					○					
	相談援助演習Ⅰ		1					○				
	相談援助演習Ⅱ		1						○			
	口腔保健と国際協力	1							○	○		
	歯科衛生学演習	1									○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	歯科衛生研究			1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
	地域口腔保健論			1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療			1							○	○
	先端歯科医療学			1							○	○
計		98	7	9								

※選択科目から4単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流 (※1)	0.5~3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
医療とAI・ビッグデータ応用 (※2)	1		○	○	○	○	○
AI実践演習 (※3)	1		○	○	○	○	○
計	11.5~14						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

※2 別表1(1)及び(4)のうち医療とAI・ビッグデータ応用を必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

※3 別表1(3)のうちAI実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目

授業科目	単位数	履修学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
地域医療学習プログラム	1	○	○	○	○	○	○

※地域特別枠推薦入試による入学者は、別表(1)の授業科目に加え、上記1科目を必修科目とする。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表 3

(4) 口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

- (1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、
（第1学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

- (2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、
（選択科目である）児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅰ、介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも3単位
（第2学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程

- (3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床医学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力
（選択科目の4単位目として選択した場合の）相談援助演習Ⅱ、
（第3学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 4 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級等)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。
- 3 風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限る。当該科目責任者の事前申告をもとに口腔保健学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。
- 4 第3項に該当する学生は、原則として前期分は10月末日、後期分は翌年度4月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A +	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A⁺, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A⁺, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A ⁺	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

$$\text{当該年度の GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則（平成30年9月6日制定）

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

(共用試験)

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 1 1 条 試験において不正行為があったときは、学則第 5 8 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 1 2 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 0 2 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 1 4 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 2 3 年 3 月 3 1 日において現に医学部または歯学部 に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 3 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科 歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 2 8 年 3 月 3 1 日規則第 7 4 号）

この規則は、平成 2 8 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

（趣旨）

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第5条第5項、第7条第6項、第8条第6項及び第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（試験の種類）

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

（期末試験及び中間試験）

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

（追試験）

第4条 定期試験に係る追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

（再試験）

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

（補則）

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（1）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（2）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（3）答案を交換した場合	停学
（4）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

学 生 周 知 事 项 等

歯科衛生士国家試験ならびに社会福祉士国家試験について

歯科衛生士国家試験

〔試験の概要〕

（試験科目）

人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、歯科衛生士概論、臨床歯科医学、歯科予防処置論、歯科保健指導論及び歯科診療補助論

（受験資格）

- （1）文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- （2）厚生労働大臣の指定した歯科衛生士養成所を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- （3）外国の歯科衛生士学校を卒業し、又は外国において歯科衛生士免許を得た者であつて、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者。

（試験期日）

例年、3月の第1日曜日に行われる。

第31回（前回）の歯科衛生士国家試験は、2022年3月6日（日）に行われた。

（受験手数料）

受験手数料の額は14,300円である（変更の可能性もあり）。

（受験手続き）

1.必要書類

ア.受験願書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）、（2）に該当する者）

なお、（1）（2）に該当する者で卒業見込証明書を提出した者にあつては、3月15日午後5時までに卒業証明書を提出する。期日までに、提出されないときは、当該受験は無効となる。

2.出願について

出願については、大学で必要書類をとりまとめ、一般財団法人歯科医療振興財団に提出する。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、一般財団法人歯科医療振興財団から毎年10月中旬に各養成機関宛に届くので、受験予定者は歯学系教務係にて受領する。

試験の詳細については、受験案内で確認すること。

社会福祉士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム、現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行政と福祉計画、社会保障、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度、社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、福祉サービスの組織と経営、高齢者に対する支援と介護保険制度、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、就労支援サービス、更生保護制度

(受験資格)

- (1) 4年制大学等で指定科目を修めて卒業した者
- (2) 2年制（又は3年制）短期大学等で指定科目を修めて卒業し、指定施設において2年以上（又は1年以上）相談援助の業務に従事した者
- (3) 社会福祉士短期養成施設（6月以上）を卒業（修了）した者
- (4) 社会福祉士一般養成施設（1年以上）を卒業（修了）した者

(試験期日)

次回（第35回）の試験は、2022年2月上旬に行われる予定。

第34回（前回）の試験は、2022年2月6日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は19,370円である。

(受験手続)

1.必要書類

ア.受験申込書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）に該当する者）

2.出願について

公益財団法人社会福祉振興・試験センターより本学に出願書類が届いた後、歯学系教務係から社会福祉士養成課程履修者（4学年）に出願書類を配布するので、受験予定者は出願書類を歯学系教務係の提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

2～4学年用の教務連絡用掲示板は1号館西7階リフレッシュルーム前に設置されている。eラーニングシステム（WebClass）の「教務係からのお知らせ」にも掲示するので、よく確認すること。また、WebClassや電子メール（Webメール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認し、見落としのないように注意すること。

2. 学生証について

- （1）学生証は常に携帯すること。
- （2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- （3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- （1）課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- （2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- （3）年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）
- （4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- （5）学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- （1）次に掲げるものは、歯学系教務係（D棟南2階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8：30～17：15）
 - （①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から10日程度要する。）
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西 1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（D棟南2階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）発熱等風邪症状がある場合は、自宅待機とし、歯学系教務係（s-kyomu.adm@ml.tmd.ac.jp）にメールで相談すること。

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して2年以内。（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

(5) 他大学受験

他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願しようとする場合は、志願する前に歯学系教務係へ、申し出た上で、学長の許可を得ること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院の実習中には必ずネームプレートを着用すること。3年次後期からの病院実習では登院式で交付されるネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし（卒業時に要返却）、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OH2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。

問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）メール（kousei.adm@ml.tmd.ac.jp）

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（1）講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（D棟南 2 階：内線 5411）

学部防災センター（D棟北 1 階）

（2）上記（1）以外：歯学部総務課（D棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は 5 月中に、後期分授業料は 11 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

（1）平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

（2）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

1）聖門⇄1 号館、2 号館、7 号館

2）正門⇄1 号館、2 号館、7 号館

3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇄1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

（3）白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

（4）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。歩きスマホは禁止。

(5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めたときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にos@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

- (1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、5号館4階談話室内にあるメールボックスにて保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

(2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（D棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、kousei.adm@ml.tmd.ac.jp）

奨学金：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。1 号館西での授業中に大規模地震が発生した際には、口腔保健衛生学専攻の学生は 1 号館西 1 階の正面玄関前に避難すること。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（D棟南2階）
03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5号館3階 ・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP：本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。	e-mail : scenter.stc@tmd.ac.jp	上記>学生支援室/障害学生支援室>専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/stdc/index.)
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。	個別に相談に応じています	
男女協働参画支援室	今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。	e-mail : info.ang@tmd.ac.jp 個別に相談に応じています	上記>男女協働参画支援室/保育支援室>専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/ang/index.)
保育支援室	病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。		
ダイバーシティ・ダイヤモンド (DD) ユニット	研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。	順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています	専用HP http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/index. 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。（以下は当面休止とさせていただきます。）その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分 (木曜日のみ15時45分)

ホームページ : <https://www.tmd.ac.jp/hsc/>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

＊ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

＜4種ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

＜B型肝炎ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

検査ワクチン実習要件について

保健管理センター
2017.9

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	 4種抗体検査 (対象：全員)	学生定期健康診断 (毎年、全員)	4種ワクチン接種期間（接種月はワクチン毎に決まっている） 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たない)→1回接種									
2年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：全員)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
	 T スポット®, TB検査 (対象：全員)											
3年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 1クール目を接種した者)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
4年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：3年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)	B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない										



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

図書館について

1. 場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
（情報検索室）	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日	年末年始	

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間は図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限日内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚 10 円 カラー1 枚 30 円
- 情報検索室の PC が利用できます。（ただし、利用できない日もあります）ネットワークの利用には学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 1 台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。

3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）

（注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館（明治大学図書館を含む）は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。

- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp

ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmd/>

1 号館西・2 号館・7 号館の管理、使用について

1. 1 号館西・2 号館・7 号館の出入口の施錠（平日）について

1 号館西出入口

1 号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1 号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2 号館出入口

2 階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

歯科棟出入口

歯科棟南 1 階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2 階に歯学系教務係があります。

7 号館側接続口 1・4 階は出入不可、2・3・5 階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7 号館出入口

1 階聖門側、EV 前 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側 1～6 階） 1 階は解錠 7:00 施錠 18:00、
2～6 階は常時開放

1 号館東接続口（2～5 階） 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7 号館 1 階歯科棟側接続口、1 号館東接続口（2、3 階）は施錠すると出入りできません。

2. 1 号館西・2 号館・7 号館内各室の施錠について

1 号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2 号館講義室 随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7 号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

1 号館西 7 階学生ロッカー室 番号ロック制

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（1号館西7階）について

- (1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。

※現在、感染症対策のため更衣室としての使用を中止しております。

- (2) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。

また、各人の責任による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

- (3) ロッカー室の入口及び個人のロッカーは開放せず、必ず施錠されているかを確認すること。

ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

- (4) ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

- (5) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。

- (6) 飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。

- (7) ロッカー室でサークルの集会をしないこと。

※感染症対策で、使用方法が変更されております。詳細については、「対面実習開始に際しての大学生生活マニュアル」をご確認ください。

5. リフレッシュルーム（1号館西7階）の使用について

- (1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。

- (2) 口腔保健学科口腔保健衛生学専攻学生の共用で使用します。

- (3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。

- (4) 注意事項

・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。

・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。

・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

・全員退出する際には電源を全て消すこと。

・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。

※感染症対策で、使用方法が変更されております。詳細については、「対面実習開始に際し

ての大学生活マニュアル」をご確認ください。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

***注意：現在、感染症対策のため、使用中止となっています。**

7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

8. 講義室・実習室の使用について

- (1) 講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (8) 盗難防止のため、貴重品は講義室・実習室に置いておかず、身につけて移動する

か、個人のロッカーに必ずしまうこと。

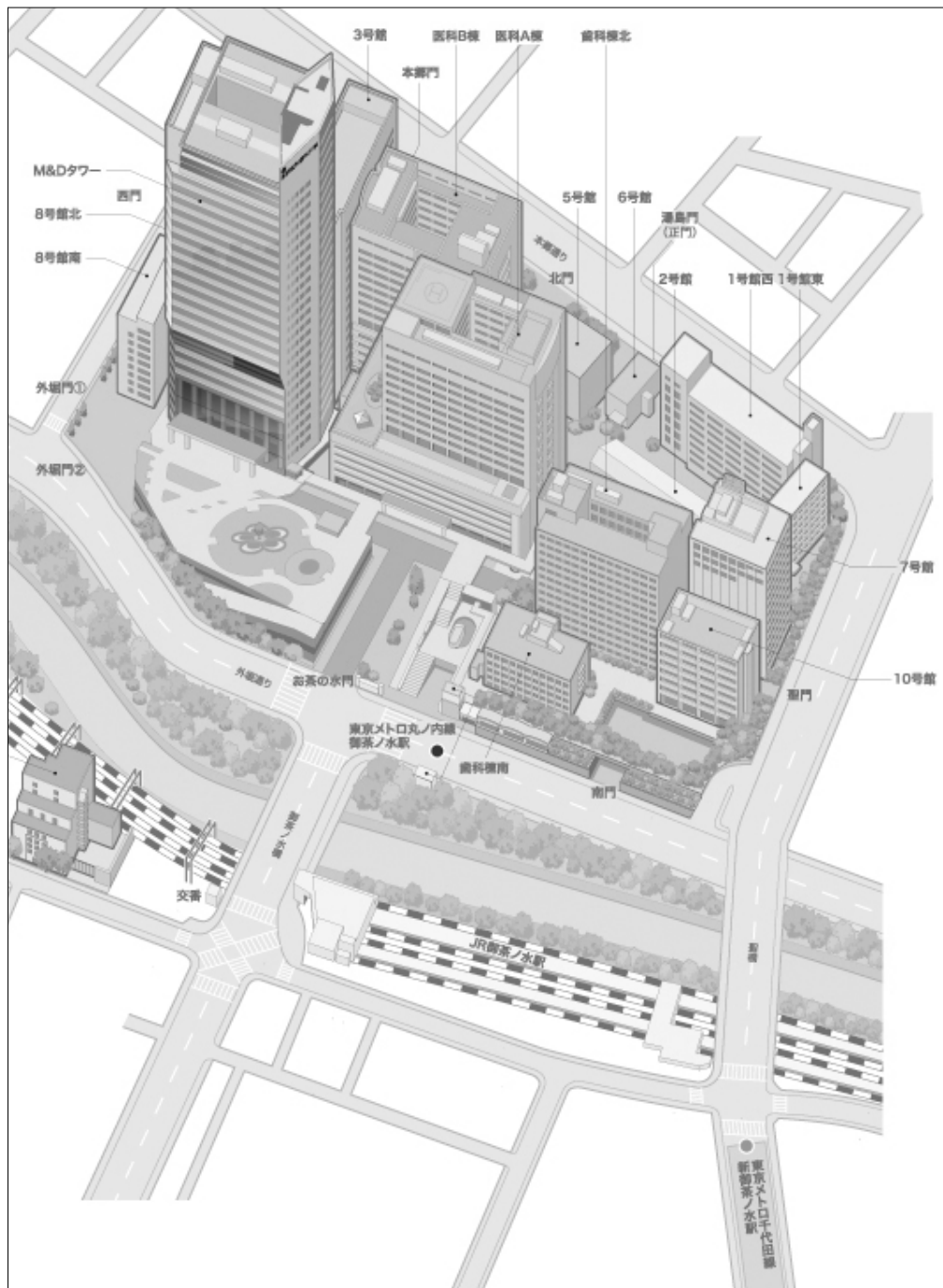
(9) 実習室に私物のかばんや上着など実習に必要なものを持ち込まないこと。各自のロッカーに保管してください。

※感染症対策で、使用方法が変更されております。詳細については、「対面実習開始に際しての大学生活マニュアル」をご確認ください。

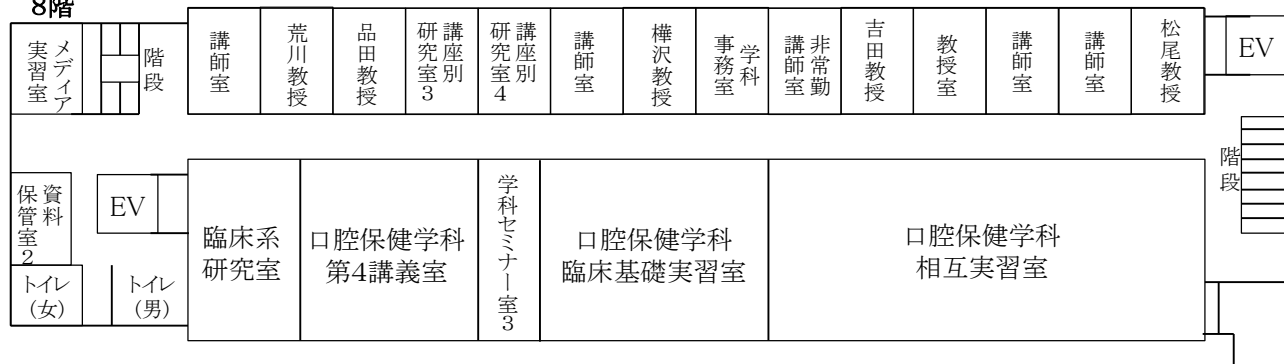
*この他にも、新型コロナウイルス感染症への対策として使用方法が変更されている箇所がございます。

必ず最新の「対面実習開始に際しての大学生活マニュアル」をご確認いただき使用をお願いいたします。不明な点がございましたら、各自で判断しないで、必ず教員に確認するか教務係までお問い合わせください。ご協力よろしくお願いいたします。

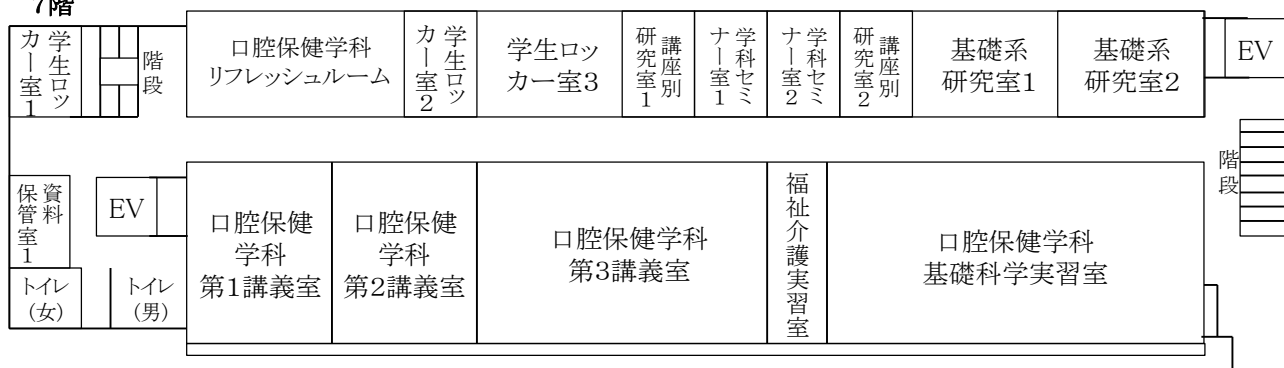
湯島キャンパス案内



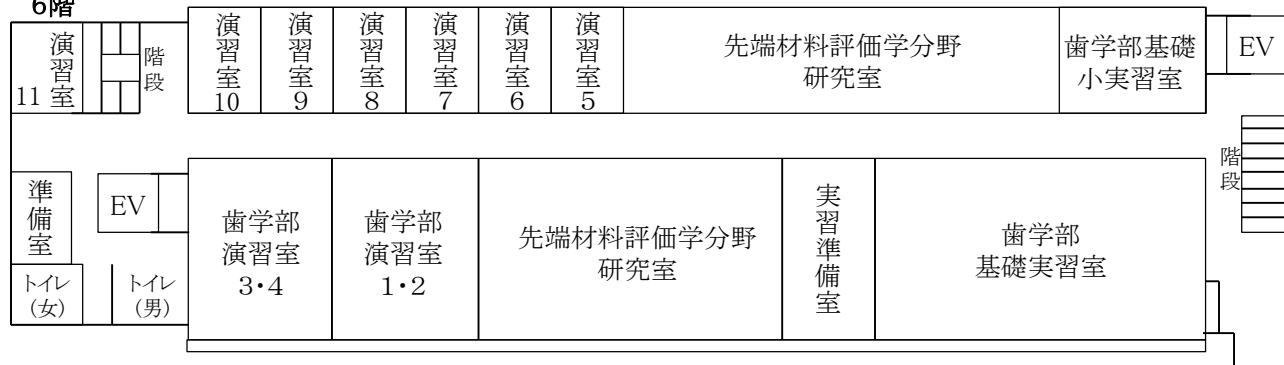
8階

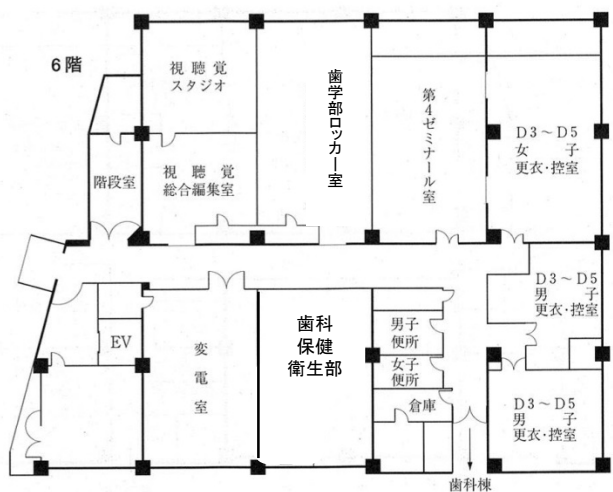
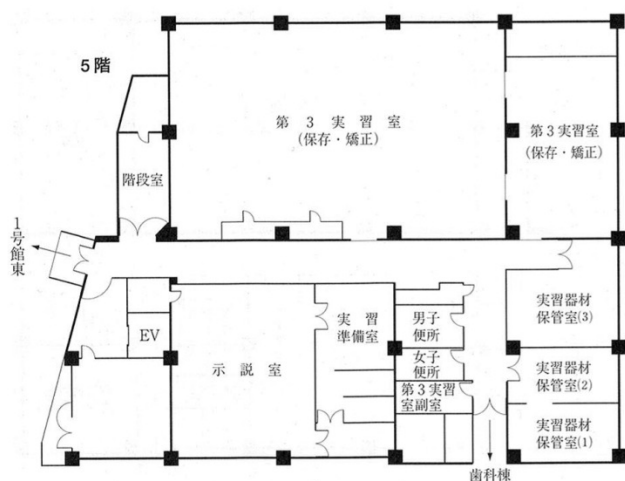
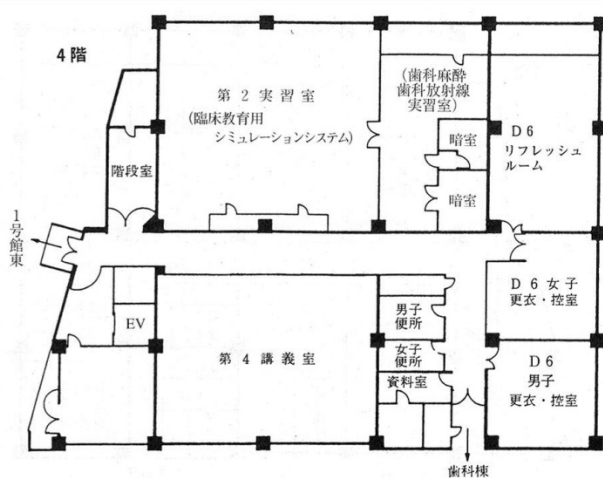
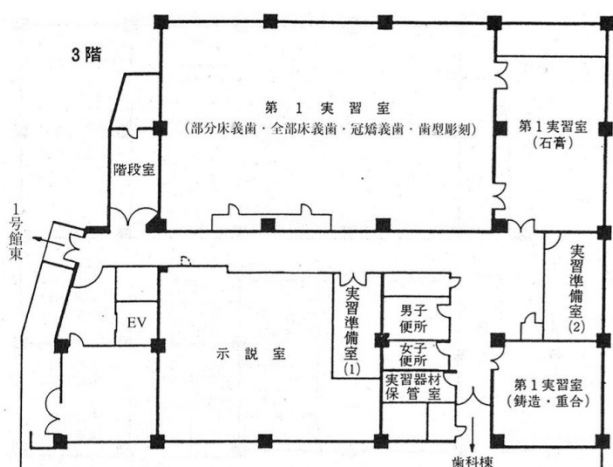
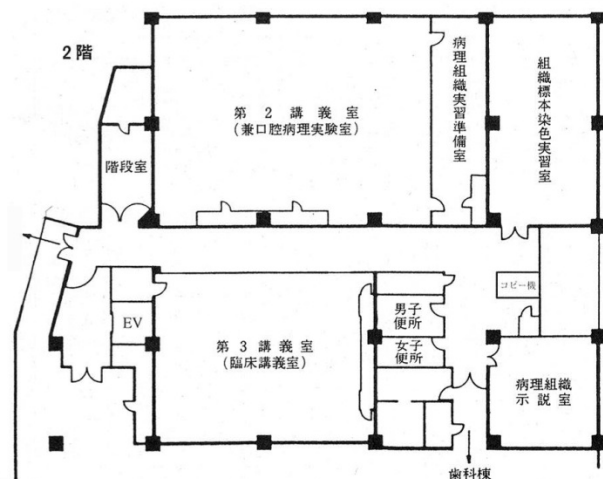
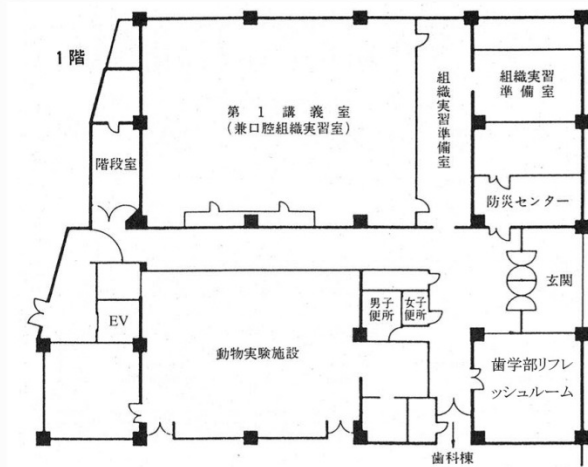


7階



6階





2022年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門科目授業計画表

第1学年

前期	学 部 専 門 科 目 「口 腔 保 健 と 専 門 職」	2022. 4. 12(火)～5. 17(火) 5週 毎週火曜日
後期	学部専門科目 「歯科衛生学総論」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「公衆衛生学」 「社会保障Ⅰ」 「臨床体験実習」	2022. 10. 4(火)～2023. 1.31(火) 16週 毎週火曜日 2023. 2. 7(火) 2. 14(火) 定期試験

第3学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2022. 4. 1(金)
	ガ イ ダ ン ス	2022. 4. 4(月)
	授 業 1 8 週	2022. 4. 4(月)～2022. 8. 5(金)
	夏 季 休 業	2022. 8. 8(月)～2022. 8. 19(金)
	定 期 試 験	2022. 8. 22(月)～2022. 9. 7(水)
	登 院 式 (予 定)	2022. 9. 5(月)
後期	臨 床 実 習 ガ イ ダ ン ス	2022. 9. 28(水) ・2022. 9. 29(木)
	授 業 1 3 週	2022. 9. 28(水)～2022. 12. 22(木)
	創 立 記 念 日	2022. 10. 12(水)(臨床実習あり)
	お 茶 の 水 祭 準 備 の た め 休 講	2022. 10. 14(金)
	お 茶 の 水 祭	2022. 10. 15(土)～2022. 10. 16(日)
	冬 季 休 業	2022. 12. 23(金)～2023. 1. 5(木)
	授 業 7 週	2023. 1. 6(金)～2023. 2. 17(金)
	定 期 試 験	2023. 2. 20(月)～2023. 3. 3(金)
	春季休業(選択科目・卒研有り)	2023. 3. 6(月)～2023. 3. 31(金)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

第2学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2022. 4. 1(金)
	ガ イ ダ ン ス	2022. 4. 4(月)
	授 業 1 7 週	2022. 4. 4(月)～2022. 7. 29(金)
	夏 季 休 業	2022. 8. 1(月)～2022. 9. 2(金)
	定 期 試 験	2022. 9. 5(月)～2022. 9. 22(金)
後期	授 業 1 3 週	2022. 9. 26(月)～2022. 12. 22(木)
	創 立 記 念 日	2022. 10. 12(水)(授業あり)
	お 茶 の 水 祭 準 備 の た め 休 講	2022. 10. 14(金)
	お 茶 の 水 祭	2022. 10. 15(土)～2022. 10. 16(日)
	解 剖 体 追 悼 式	2022. 10. 27(木)午後
	冬 季 休 業	2022. 12. 23(金)～2023. 1. 6(金)
	授 業 5 週	2023. 1. 10(火)～2023. 2. 9(木)
	定 期 試 験	2023. 2. 13(月)～2023. 3. 3(金)
	春 季 休 業	2023. 3. 6(月)～2023. 3. 31(金)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

第4学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2022. 4. 1(金)
	ガ イ ダ ン ス	2022. 4. 4(月)
	授 業 1 7 週	2022. 4. 4(月)～2022. 8. 1(月)
	定 期 試 験	2022. 8. 2(火)～2022. 8. 5(金)
	夏 季 休 業 (社 福 選 択 授 業 あ り)	2022. 8. 8(月)～2022. 9. 28(水)
後期	授 業 1 3 週	2022. 9. 29(木)～2022. 12. 22(木)
	創 立 記 念 日	2022. 10. 12(水)(臨床実習あり)
	お 茶 の 水 祭 準 備 の た め 休 講	2022. 10. 14(金)
	お 茶 の 水 祭	2022. 10. 15(土)～2021. 10. 16(日)
	冬 季 休 業	2022. 12. 23(金)～2023. 1. 5(木)
	授 業 ・ 補 講 ・ 自 己 研 修	2023. 1. 6(金)～2023. 2. 24(金)
	卒 業 式	2023. 3. 24(金)予定

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等を実施する場合があります。

歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 教員連絡先一覧

医歯学総合研究科	分野名	氏名	メールアドレス
	生涯口腔保健衛生学分野	荒川 真一	s-arakawa.ltoh@tmd.ac.jp
		松田 悠平	matsuda.ltoh@tmd.ac.jp
	健康支援口腔保健衛生学分野	樺沢 勇司	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
		伊藤 奏	ito.ocsh@tmd.ac.jp
	口腔疾患予防学分野	品田 佳世子	shinada.pvoh@tmd.ac.jp
		安達 奈穂子	adachi.pvoh@tmd.ac.jp
	地域・福祉口腔機能管理学分野	松尾 浩一郎	matsuo.ohcw@tmd.ac.jp
		日高 玲奈	n-rena.ohcw@tmd.ac.jp
	口腔健康教育学分野	吉田 直美	yoshida.ohce@tmd.ac.jp
		鈴木 瞳	suzuki.ohce@tmd.ac.jp
	口腔保健衛生基礎学分野	坂本 裕次郎	y.sakamoto.bsos@tmd.ac.jp

第 1 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022202					
科目名	人体の構造と機能 I	科目 ID	DH-130101-L			
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 1201 ユニット名: 人体の構造と機能 I 授業形態: 講義(遠隔授業) 時間数: 必修 1 単位・90 分×8 回 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第 1 講義室(1 号館西 7 階)						
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を学んで、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長と加齢に伴う変化ならびに生体の恒常性維持機構について理解する。						
授業の到達目標 ・人体を構成する細胞の構造と働きならびに遺伝子の役割を説明する。 ・人体の発生と発達の概要を説明する。 ・上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の特徴と役割を説明する。 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	人体の構成	人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方角用語、細胞と組織と器官系の分類	坂本 裕次郎
2	10/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	人体を構成する細胞の構造と機能	核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割	坂本 裕次郎
3	10/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
4	11/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
5	11/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	骨格系の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論	骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化	坂本 裕次郎
6	11/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	人体の発生と生後発達	人体の発生過程と生後の変化	坂本 裕次郎
7	11/15	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	運動器(骨格系と筋系)の総論、筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化、骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎
8	11/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプ	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎

				と疲労			
授業方法 ・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。 「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。 ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。 ・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。 ・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後に e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。							
授業内容 ・授業スケジュールの授業明細に記載。 ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。							
成績評価の方法 ・定期試験(筆記試験)で、理解度・習得度を評価する。 ・出席状況、授業態度、等を評価に加味する。							
成績評価の基準 ・学習の評価 B 以上を得るには、本試験で合格するように努めること。 ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いているので、そのような姿勢が望まれる。							
準備学習等についての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。 ・WebClass コース「OH1 人体の構造と機能 I 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。							
試験の受験資格 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。 ・全 8 回なので出席数 5.33 以上が必要となる。							
参考書 人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2010 標準組織学総論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、藤田、尚男、1928-2014、藤田、恒夫、1929-2012、岩永、敏彦、1954-、:医学書院、2015 標準組織学各論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、藤田、尚男、1928-2014、藤田、恒夫、1929-2012、岩永、敏彦、1954-、石村、和敬、1949-、:医学書院、2017 標準生理学／小澤静司、福田康一郎 監修、本間研一、大森治紀、大橋俊夫、河合康明、黒澤美枝子、鯉淵典之、伊佐正 編集、小澤、静司、福田、康一郎、本間、研一、1946-、大森、治紀、1950-、大橋、俊夫、1949-、:医学書院、2014 ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著、安田峯生、山田重人 訳、Sadler, Thomas W、安田、峯生、1937-、山田、重人、:メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016 分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリオト、オガワテイゾウ、オウチヒロム、:金原出版、1982-02-20 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトチオ、:金原出版、1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オガワテイゾウ、ヤマダエイチ、ヨウロウタケシ、:金原出版、1982-02-20 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、1995 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の 5 編が、 http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。							
履修上の注意事項 ・専門科目と教養部で行われる全学共通科目は、履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(WebClass を含む)および Web メールを見落とさずに確認すること。							

備考 ・専門科目と教養部で行われる全学共通科目は、定期試験の日程、春休み期間、等が異なるので、よく確認すること。
連絡先(メールアドレス) y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時 1号館西8階

時間割番号	022204						
科目名	栄養と代謝	科目ID	DH-130103-L				
担当教員	品田 佳世子, 渡部 徹郎, 中島 友紀, 横山 三紀, 井上 カタジナアンナ[SHINADA KAYOKO, WATABE TETSURO, NAKASHIMA TOMOKI, YOKOYAMA MIKI, INOUE KATAJINAANNA]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業	該当する						
ユニット: 栄養と代謝							
科目: 人体の構造と機能及び疾病							
単位: 1 (90 分授業 × 8 回)							
主な講義場所							
遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業 (Zoom による)							
授業の目的、概要等							
生体の構成要素、栄養素の消化吸収、代謝と作用を説明し、口腔の健康との関連を概説する。5 大栄養素(炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル)を多く含む食品と欠乏症について説明する。基礎代謝量、エネルギー換算係数を説明する。							
授業の到達目標							
1) 生体の構成要素を理解する。							
2) 栄養素の消化吸収を理解する。							
3) 栄養素の代謝、作用を理解する。							
4) 生体における恒常性の維持を理解する。							
5) 食品に多く含まれ栄養素を知り、欠乏症を説明できる。							
6) 基礎代謝量、エネルギー換算係数を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/18	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	栄養と代謝の総論	栄養と代謝の総論 基礎代謝量について 栄養、食生活についての演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。演習 (AL) 実施は事前に連絡する。
2	11/29	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	生体における恒常性の維持	生体における恒常性の維持	渡部 徹郎	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
3	12/6	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	生体の構成要素、生体における化学反応	生体の構成要素、生体における化学反応	横山 三紀	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品

							田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
4	12/6	12:50-14:20	遠隔授業 (非同期型)	糖質と脂質の代謝、タンパク質とアミノ酸の代謝	糖質と脂質の代謝、タンパク質とアミノ酸の代謝	井上 カタジ ナアナ	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
5	12/20	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	栄養素の働き:糖質、タンパク質、脂質の栄養的意味、ビタミンの栄養的意味	栄養素の働き:糖質、タンパク質、脂質の栄養的意味、ビタミンの栄養的意味	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。演習(AL)実施は事前に連絡する。
6	12/20	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学	中島 友紀	同期型(Zoom)授業、時間に Zoom 情報を確認して授業を受けることで出席となる。
7	1/17	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	栄養素の働き:ビタミン、ミネラルの栄養的意味、演習(AL)	栄養素の働き:ビタミン、ミネラルの栄養的意味、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。演習(AL)実施は事前に連絡する。
8	1/31	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	栄養と代謝の知識確認試験	栄養と代謝の知識確認試験	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースで指定時間に知識確認試験を実施するので、必ず受験すること。

授業方法

非同期授業が主であり、WebClass のコース上に授業がアップされる。ただし、同期授業もあるので、その際は、WebClass の掲示板にて連絡する。小テスト、課題演習(AL)を適宜行う。

授業内容

到達目標に関する主として遠隔授業を行い、小テストや演習で知識を確実に修得できる内容とする。さらに、演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。

成績評価の方法

WebClass 上の知識確認試験 90%、提出課題(ある場合)および出席点等 10%を総合的に評価する。

成績評価の基準

授業に関する知識が修得されていること(知識確認試験 60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は知識確認試験および課題等との合計が 70 点以上、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。
準備学習等についての具体的な指示 高校の生物および家庭科において、食品と栄養素および体内での代謝について復習しておくこと。
試験の受験資格 ・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業の場合は視聴記録を確認する)を必要とする。 非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であるので、試験前日までの視聴を確認する。 同期授業は Zoom 情報をシラバス又は掲示板で知らせるので、授業時間に受講することで出席となる。
参考書 人体の構造と機能／高橋信博、江指隆年 ほか著、高橋、信博、江指、隆年、1939-2012、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2010：医歯薬出版
他科目との関連 2 年生の科目：食生活教育の基礎的知識
備考 授業担当(講義)：渡部徹郎(90 分)、横山三紀(90 分)、井上カタジナアンナ(90 分)、中島友紀(90 分) 責任者：品田佳世子 オフィスアワー：随時、連絡先：shinada.pvoh@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 品田 佳世子：shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子：月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室

時間割番号	022205						
科目名	公衆衛生学			科目ID	DH-130200-L		
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 公衆衛生学 時間数: 90 分×8 回 1 単位 授業形態: 講義(課題発表:AL 含む)							
主な講義場所 遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業(Zoom によるグループ課題発表)							
授業の目的、概要等 健康、疫学、人口、環境、感染症、保健衛生などの基本事項を理解し、ヘルスプロモーションや予防医学を実践するための基礎的知識の習得と新たな発想を展開する方法を学ぶ。							
授業の到達目標 ・健康の概念を説明できる。 ・疫学について説明できる。 ・人口統計について説明できる。 ・環境による健康への影響を説明できる。 ・感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。 ・地域保健について基本的事項を理解する。 ・ヘルスプロモーション、予防医学の基本概念と実践方法について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	I 編 1 章 総論:健康 の概念、	健康の概念、プライマリヘルス ケアとヘルスプロモーション、健康 日本 21(第 2 次)、予防医学の概 念、グループ発表課題提示	品田 佳世子	Zoom にて健康に ついての演習、 Web Class の OH1 年後期のコ ースに資料アッ プ、掲示板に Zoom 情報知ら せ、質問は掲示 板か品田へメー ルのこと。出席は 当日確認。
2	10/11	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	2 章 疫学、EBM につい て、	2 章 疫学、EBM について、1 章の 小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコース にアップ、出席は 視聴記録で確認 する。小テストは 事前に資料アップ する。解答を解 説。
3	10/18	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期 型)	3 章 人口、	3 章 人口、2 章の小テスト・解説、 演習	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコース にアップ、出席は 視聴記録で確認 する。小テストは

							事前に資料アップする。解答を解説。
4	10/25	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	5 章 感染症	5 章 感染症、3 章の小テスト・解説、演習	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、出席は視聴記録で確認する。小テストは事前に資料アップする。解答を解説。
5	11/29	16:10-17:40	遠隔授業 (非同期型)	4 章 健康と環境の概説、6 章 食品衛生	4 章 健康と環境の概説、6 章 食品衛生、5 章の小テスト・解説、演習	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、出席は視聴記録で確認する。小テストは事前に資料アップする。解答を解説。
6	12/6	14:30-16:00	遠隔授業 (非同期型)	Ⅱ 編 1 章 総論、Ⅲ 編 1 章 地域保健・公衆衛生①地域社会と地域保健の概念、	Ⅱ 編 1 章 総論、Ⅲ 編 1 章 地域保健・公衆衛生①地域社会と地域保健の概念、Ⅰ 編 6 章の小テスト・解説、演習	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースにアップ、出席は視聴記録で確認する。小テストは事前に資料アップする。解答を解説。
7	1/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	4 章健康と環境:各班のグループ発表	4 章健康と環境:空気、温熱環境、水、放射線、住居、地球環境の変化、公害、廃棄物処理の課題グループ発表	品田 佳世子	同期型授業 (Zoom)、課題グループ発表、質疑応答(AL)
8	1/31	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	公衆衛生学の知識確認試験	公衆衛生学の知識確認試験	品田 佳世子	WebClass の OH1 年後期のコースで指定時間に知識確認試験を実施するので、必ず受験すること。

授業方法

非同期授業が主であり、WebClass のコース上に授業がアップされる。ただし、同期授業もあるので、その際は、WebClass の掲示板にて連絡する。小テスト、グループによる課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。

授業内容

到達目標に関する主として遠隔授業を行い、小テストや演習で知識を確実に修得できる内容とする。さらに、課題発表などの演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。

成績評価の方法

・課題発表・作成された資料(2 割)、知識確認試験(小テスト、確認テスト等 8 割)による総合評価を行う。

成績評価の基準

授業に関する知識が修得されていること(知識確認試験 60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は課題発表内容と知識確認試験の合計が 70 点以上とし、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

・自分の住んでいる地域や実家の地域の環境問題や健康問題を調べておく。 ・前回の授業の復習をしておくこと、小テストを行う。
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席(遠隔授業:同期 Zoom および非同期は WebClass にアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、知識確認試験までの視聴記録で出席を確認する。
教科書 保健生態学／可児徳子ほか著,可児, 徳子,:医歯薬出版, 2019
参考書 ／可児徳子ほか著,可児, 徳子,:医歯薬出版, 2019
他科目との関連 2年生の口腔疾患予防学基礎Ⅰ、食生活教育、3年生の社会調査の基礎と関連あり。
備考 責任者:品田佳世子 オフィスアワー:随時、連絡先:shinada.pvoh@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田教授室

時間割番号	022206						
科目名	社会保障Ⅰ			科目ID	DH-140300-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 社会保障Ⅰ 時間数: 90 分 × 15 回 授業形態: 遠隔授業 (Zoom による同期型遠隔講義)							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。 社会保障Ⅰでは主に所得保障の働きに焦点化して学びます。							
授業の到達目標 SBOs 1. 社会保障制度の目的、機能と働きを説明できる。 2. 社会保障制度と私たちの生活を関連づけることができる。 3. 社会保障の各制度について説明できる。 4. 現代社会における社会保障制度の課題を説明できる。 5. 社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を関連づけることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	社会保障とは何か SBOs1,2	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
2-3	10/11	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅰ	社会保障の構造 SBOs1,2	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
4-5	10/18	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅱ	社会保障の国際比較、社会保障の財源 SBOs1,2,4	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
6-7	11/1	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅲ	所得保障(1)―年金制度 SBOs1,2,3,4,5	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
8-9	11/8	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅳ	所得保障(2)―年金制度 SBOs1,2,3,4,5	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
10-11	11/15	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅴ	所得保障(3)―生活保護 SBOs1,2,3,4,5	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
12-13	11/22	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅵ	社会保障制度Ⅵ 所得保障(4)―社会手当、雇用保険 SBOs1,2,3,4,5	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
14-15	11/29	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度Ⅶ	所得保障の今後 SBOs2,4	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
授業方法 遠隔授業 (Zoom による同期型遠隔講義) を原則とする。講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。							

講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールにて連絡すること。
授業内容 授業スケジュールを参照
成績評価の方法 ・授業内での演習、リアクションペーパー、レポートなどで総合的に評価する。 ・授業内容について十分に理解できていること、授業内容と身の周りの出来事や私たちの社会で問題とされている事柄を関連付けて考えられているものをより評価する。
成績評価の基準 ・「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 本科目は定期試験は実施せず、講義中の演習等への取り組み、講義後に実施されるレポートや課題において総合的に評価を行う。成績評価のため全講義 15 時間の 2/3 以上出席することを原則とする。 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 新・社会福祉士養成講座 社会保障 第 6 版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2019
参考書 ・参考書は授業時に紹介する。
履修上の注意事項 遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022207						
科目名	口腔保健と専門職			科目ID	DH-110400-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をととして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理、および多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標 1. 口腔保健の概要を説明できる。 2. 保健・医療・福祉の専門職の内容を概説できる。 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	12:50-14:20	歯学部演習室 その他	オリエンテーション シナリオ 1	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4
2-3	4/19	12:50-16:00	歯学部演習室 その他	学習項目の発表、シナリオ 2 全体発表準備	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4
4-5	4/26	12:50-16:00	歯学部演習室 その他	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4
6-7	5/10	12:50-16:00	歯学部演習室 その他	全体発表準備	全体発表の準備	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4
8	5/17	12:50-14:20	歯学部演習室 その他	全体発表	グループ課題発表、討論、まとめ	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4
授業方法 講義、PBL、グループ討論、課題発表 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。							
成績評価の方法 ・授業態度を加味し、出席状況(20 点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20 点)、全体発表の内容(10 点)、課題レポートの内容(50 点)で総合的に評価する。							

・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。
準備学習等についての具体的な指示 口腔保健学科口腔保健工学専攻との合同講義である。 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてから PBL に参加すること。
試験の受験資格 ・定期試験はないが、3 分の 2 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
履修上の注意事項 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 PBL 方式の演習、グループワークによる課題発表をおこなう。 担当教員のオフィスアワー 鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022208						
科目名	歯科衛生学総論				科目ID	DH-130500-L	
担当教員	吉田 直美[YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科衛生学総論 時間数: 90 分×8 回 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業							
授業の目的、概要等 歯科衛生の変遷と、歯科衛生業務に必要な専門知識・技術の概要および基本事項を理解するとともに、歯科衛生士の主要業務や歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・技術の特徴を知る。							
授業の到達目標 1) 歯科衛生士の現況について概説する 2) 歯科衛生士の身分法について概説する。 3) 歯科衛生士の歴史を概説する。 4) 歯科衛生活動に必要な理論を概説する。 5) 医療における倫理、医療安全を概説する 6) 職能団体の意味、意義を説明する 7) 海外の歯科衛生活動について概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生学概要	AL 12 年合同授業	吉田 直美	目標 8
2	1/10	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生学概要	ガイダンス 歯科衛生士像	吉田 直美	目標1
3	1/10	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生士の変遷	AL 歯科衛生士の歴史 歯科衛生士の現況	吉田 直美	目標 2
4-5	1/17	12:50-16:00	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生業務 歯科衛生士法	歯科衛生過程 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任	吉田 直美	目標 3,4
6-7	1/24	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	医療倫理と医療安全管理	AL 医の倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 医療安全とは	吉田 直美	目標 5
8	2/7	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	チーム医療と海外における活動 歯科衛生士の専門性	AL 多職種連携 海外における歯科衛生士の活動 プロフェッショナル プロフェッショナルリズム	吉田 直美	目標 6,7
成績評価の方法 ・課題 20%、期末試験 80%で総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。 ・本学歯学部試験規則第 11 条(期末試験及び中間試験の受験資格)に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							

・出席が2/3に満たない場合、単位は認定しない。出席要件を満たすように十分留意すること。
試験の受験資格 2/3以上の出席
教科書 歯科衛生学総論／藤原愛子 ほか 著、:医歯薬出版, 2012 歯科医療倫理／樫則章 ほか 著、:医歯薬出版, 2014 ・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」, 医歯薬出版, 2012.
参考書 歯科衛生士の臨床／E.M.ウィルキンス 著,石川達也 校閲,布施祐二, 眞木吉信, 松井恭平, 松崎晃 監訳,全国歯科衛生士教育協議会 監修,: 医歯薬出版, 2008 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,: 医歯薬出版, 2011 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,: 医歯薬出版, 2007 ・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」, 医歯薬出版, 2007. ・全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」, 医歯薬出版, 2011. ・授業の際、印刷物を配布する。
備考 演習

時間割番号	022209						
科目名	メディア情報学			科目ID	DH-110600-L		
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代[KINOSHITA ATSUSHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA MASAYO]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学基礎							
時間数:15 時間							
授業形態:講義・演習							
主な講義場所							
遠隔授業 (Zoom、WebClass)、M&D タワー4 階 図書館内 情報検索室 (通常:3 階図書館入口より入館、試験時:4 階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等							
口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標							
授業の到達目標							
1. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。							
2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。							
3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。							
4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/8	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	情報セキュリティと著作権	情報セキュリティ、著作権	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:1 終了後に課題提出
2	11/15	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 1	フリーソフトによる静止画像処理と パワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
3	11/22	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 2	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
4	11/29	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 3	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 終了後に課題提出
5	12/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	インターネット情報検索 演習	(AL) インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	到達目標:4 期限までに課題を提出すること
6	12/13	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:3 終了後に課題提出
7	1/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	課題発表 (情報の収集と吟味)	(AL) 課題発表 (情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	到達目標:4 事前に課題発表の準備をすること
8	1/17	10:30-12:00	情報検索室	試験/課題発表 (動画像処理)	WebClass による試験および課題発表 (動画像処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	到達目標:1-4 提出期限までにすべての課題を提出すること 対面でWeb 試験を行う

授業方法 講義、演習 遠隔授業(同期型・非同期型)を行う。 遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、課題の提出をもって出席とする。課題提出の期限は原則授業実施予定日から一週間とする。 5 回および 7 回は遠隔授業(同期型)を行う。指示された期間までに課題を提出すること。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。
成績評価の方法 各回の提出課題の達成度、確認テストの点数、最終回の WebClass による試験の点数により、授業の到達目標の達成度を評価する。 欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。
成績評価の基準 各回の課題の達成度を 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を 3 割として合計 100 点満点で換算し、評価する。到達目標をすべて達成した場合は A 評価(80 点)以上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。 ・授業コマの 2/3 以上出席した者。なお、遠隔授業では、課せられた課題(確認テストへの解答、課題提出)をすべて実施したことをもって出席とみなす。 なお、特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参照ホームページ 口腔保健衛生学専攻と合同授業 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。
連絡先(メールアドレス) 木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp 佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp 須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp
オフィスアワー 木下 淳博:金 16:00ー17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野 佐々木 好幸:随時(事前にメールでアポイントを取ること) 須永 昌代:随時

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習			科目ID	DH-250700-E		
担当教員							
開講時期	2022 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室・学外施設等 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに 対人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 1.見学・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 2.歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 3.歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 4.歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/11	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	鈴木 瞳	目標 2-4
2-4	10/25	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療所等における 歯科衛生活動	AL 歯科医療機関における歯科 衛生活動の実際	鈴木 瞳	目標 1-4
5	12/6	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	成果報告 歯科関連企業 における実習につい て、オリエンテーション	AL 報告書作成 実習成果 次回 実習のオリエンテーション	鈴木 瞳	目標 2-4
6-8	12/13	12:50-17:40	その他	歯科関連企業における 歯科衛生活動	AL GC、カムリエ見学・実習	鈴木 瞳	目標 1-4 AL
9	1/17	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	本学歯学部附属病院こ おける歯科衛生活動 1	実習の事前学習	鈴木 瞳	目標 2-4
10-14	1/24	08:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	本学病院における歯科 衛生活動 1	AL 東京医科歯科大学病院にお ける歯科衛生活動	吉田 直美 鈴木 瞳 足 達 淑子	目標 1-4
成績評価の方法 ・出席(20 点)、事前・事後課題レポートの内容(40 点)、グループ発表資料の内容(20 点)、授業出席時の態度と実習への取り組み姿勢(20 点)にて総合的に評価する。 ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。							
準備学習等についての具体的な指示 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 ・定期試験はないが、4 分の 3 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・遠隔授業(同期型)あるいは対面実習に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							
履修上の注意事項 ・医療・福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすること							

がある。 ・3/4 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習			科目ID	DH-250700-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室・学外施設等 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに 対人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 1.見学・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 2.歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 3.歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 4.歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/12	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	鈴木 瞳	目標 2-4
2-4	10/26	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療所等における 歯科衛生活動	AL 歯科医療機関における歯科 衛生活動の実際	鈴木 瞳	目標 1-4
5	12/14	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	成果報告 歯科関連企業 における実習につい て、オリエンテーション	AL 報告書作成 実習成果 次回 実習のオリエンテーション	鈴木 瞳	目標 2-4
6-8	12/21	12:50-17:40	その他	歯科関連企業における 歯科衛生活動	AL GC、カムリエ見学・実習	鈴木 瞳	目標 1-4 AL
9	1/25	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動 1	実習の事前学習	鈴木 瞳	目標 2-4
10-11	2/1	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	本学病院における歯科 衛生活動 1	AL 東京医科歯科大学病院にお ける歯科衛生活動	吉田 直美 鈴木 瞳 安 達 奈穂子、 伊藤 奏 足 達 淑子、須 永 昌代	目標 1-4
12-14	2/1	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	本学病院における歯科 衛生活動 1	AL 東京医科歯科大学病院にお ける歯科衛生活動	吉田 直美 鈴木 瞳 足 達 淑子	目標 1-4
15	6/13	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)				
16	6/30	09:00-17:40					
17-19	7/29	09:00-11:50					
20	11/9	16:50-17:40					
21	11/17	09:00-17:40					
22-24	12/14	12:50-15:40					

成績評価の方法 ・出席(20点)、事前・事後課題レポートの内容(40点)、グループ発表資料の内容(20点)、授業出席時の態度と実習への取り組み姿勢(20点)にて総合的に評価する。 ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。
準備学習等についての具体的な指示 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 ・定期試験はないが、4 分の 3 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・遠隔授業(同期型)あるいは対面実習に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。
履修上の注意事項 ・医療・福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。 ・3/4 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 担当教員のオフィスアワー 鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022203						
科目名	人体の構造と機能Ⅱ	科目ID	DH-230102-L				
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 2203 ユニット名: 人体の構造と機能Ⅱ 授業形態: 講義(遠隔授業)を主として、実習(対面授業)を含む 時間数: 必修 2 単位・30 時間 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎							
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科 基礎科学実習室(1 号館西 7 階) ・解剖学実習室(3 号館 B1 階)							
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を理解して、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長、発育、加齢の過程に伴う変化について理解する。							
授業の到達目標 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環調節のしくみおよび血液の役割を説明する。 ・内分泌系の構造および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・呼吸器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序を説明する。 ・生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を説明する。 ・生殖器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・体幹体肢の運動器、循環器、神経系の相互関係と頭頸部へのつながりについて説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
2	4/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
3	4/6	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
4	4/6	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	脊髄と神経系の基本構造	神経系の構成、神経細胞と化学シナプスの構造	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022
5	4/7	12:50-13:40	遠隔授業	全身の末梢神経系	脊髄と脊髄神経	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2

			(同期型)				人体の構造と機能Ⅱ 2022、
6	4/7	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
7	4/7	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
8	4/12	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	神経系の発生	神経系の発生過程とその機構	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
9	4/12	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
10	4/13	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
11	4/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
12	4/13	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
13	4/13	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	循環器系の機能と循環調節	心臓と脈管系の機能とその調節機構	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
14	4/26	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	循環器系の機能と循環調節	心臓と脈管系の機能とその調節機構	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
15	4/26	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	血液の機能	血液の構成成分の働きと血液型	坂本 裕次郎	FOS22032 OH2 人体の構造と機能Ⅱ 2022、
16	5/6	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過程	坂本 裕次郎	
17	5/6	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過程	坂本 裕次郎	
18	5/17	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系の構造	呼吸器系の構成と組織構造	坂本 裕次郎	
19	5/17	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系の発生	呼吸器系の発生過程とその機構	坂本 裕次郎	
20	5/31	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
21	5/31	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
22	6/22	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系の働き	呼吸運動、ガス交換のしくみ、呼吸調節、肺気量の分画	坂本 裕次郎	
23	6/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	体温調節	発汗、体温調節機構	坂本 裕次郎	
24	6/27	10:00-10:50	遠隔授業	尿の生成と体液の調節	尿生成のメカニズム、排尿、体液	坂本 裕次郎	

			(同期型)		量および体液組成の調節		
25	6/27	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
26	7/19	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎	
27	7/19	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	脊髄神経系・自律神経系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎	
28	7/19	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	脊髄神経系・自律神経系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎	
29	7/27	10:00-10:50	解剖学実習室	体幹体肢の骨格系の観察	人体骨格標本を使って、体幹・体肢の骨格系の特徴と頭部とのつながりについて	坂本 裕次郎	
30	7/27	11:00-11:50	解剖学実習室	体幹体肢の骨格系の観察	人体骨格標本を使って、体幹・体肢の骨格系の特徴と頭部とのつながりについて	坂本 裕次郎	

授業方法

・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。
- ・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。
- ・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後に e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「実習(対面授業)」は、登校してドリームキャンパスに表示された実習室で行う。

- ・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用する。
- ・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きを着用する。
- ・実習には関連する講義資料を持参する。

授業内容

- ・授業スケジュールの授業明細に記載。
- ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。

成績評価の方法

- ・定期試験(筆記試験)で、理解度・習得度を評価する。
- ・出席状況、授業態度、等を評価に加味する。

成績評価の基準

- ・学習の評価 B 以上を得るには、本試験で合格するように努めること。
- ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いていて、実習にも誠実に取り組むので、そのような姿勢が望まれる。

準備学習等についての具体的な指示

- ・1 年次開講の「人体の構造と機能 I」と一連の授業であることを理解しておくこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。

- ・WebClass コース「OH2 人体の構造と機能 II 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。
- ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。

参考書

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版、2010

分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟,小川鼎三,大内弘 ほか,モリオト,オガワテイゾウ,オウチヒロム.: 金原出版, 1982-02-20

分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興,岡本道雄,ヒラサワコウオカモトミチオ.: 金原出版, 1983-02-10

分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ.: 金原出版, 1982-02-20

標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著.: 医学書院, 2015

標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著.: 医学書院, 2017

標準生理学／小澤澗司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集.: 医学書院, 2014

ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著,安田峯生, 山田重人 訳.: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016

解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編.: 医歯薬出版, 1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 1995

Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium.

上記の 5 編が、<http://demo.ovid.com/custom/tmd999/> にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。

履修上の注意事項

・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。

連絡先(メールアドレス)

y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 1 号館西 8 階

時間割番号	022211				
科目名	科学英語 I			科目 ID	DH-230800-L
担当教員	品田 佳世子, 關 奈央子[SHINADA KAYOKO, SEKI NAOKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
科目名: 科学英語 I					
時間数: 15 時間 1 単位					
授業形態: 講義(英会話および e-learning 含む)					
主な講義場所					
遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業 (Zoom による)					
授業の目的、概要等					
・口腔保健に関連する基本的英語表現を修得する。 ・口腔保健に関して、英語で対応するための基礎的能力を身につける。					
授業の到達目標					
1. 口腔保健関連の専門用語を英語で表現する。 2. 英会話で、予約対応、医療面接の補助等を行うための基礎を学ぶ。 3. 英語で歯科疾患について説明するための基礎を学ぶ。 4. 英語でブラッシング、フッ化物の応用、シーラントを説明する。 5. 歯科、口腔保健関連の英文を読解し、内容を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	5/23	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	品田 佳世子	
3-4	5/30	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	品田 佳世子	
5-6	6/6	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	品田 佳世子	
7	6/13	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	品田 佳世子	
8	6/20	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	
9	6/20	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	品田 佳世子	
10	6/27	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	
11	6/27	13:50-14:40	遠隔授業	品田 佳世子	

			(非同期型)		
12-13	7/4	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	關 奈央子, J ANELLE R ENEE MO ROSS	
14-15	7/11	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	關 奈央子	
授業方法 英会話は同期授業で行い、双方向の会話を行う(AL)。7月11日はWebClassに教材提供、WebClass & Zoomを開いている状態で受けること。Readingは非同期授業で、WebClassのコース上に授業がアップされる。ただし、同期授業もあるので、その際は、WebClassの掲示板にて連絡する。小テスト、課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。e-learningは指定時間にWebClassのコース上に設定されるので必ず受講すること。					
授業内容 授業は到達目標が達成でき、知識を修得し、それに関して説明できるようにする。英会話、小テスト・解説を適宜行い、知識が確実に修得できるようにする。演習、e-learningを行ったり、発表やディスカッションを行う(AL)。さらに、演習をととして、基礎知識を応用する力を養う。					
成績評価の方法 ・期末の客観試験、論述試験は90%、出席状況、授業態度、英語によるロールプレイの状況は10%とし、総括的評価し100とする。					
成績評価の基準 授業に関する知識が修得されていること(筆記試験60点以上)を合格とする。なお、Bの基準は課題内容と筆記試験の合計が70点以上とし、A以上の評価は総合的評価点が80点以上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 ・教科書Part2のImportant Vocabulary for Dental Hygienistsの1-11, 13を学習しておくこと ・単語のテストの範囲を事前に知らせるので、学習しておくこと。					
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席(遠隔授業:同期Zoomおよび非同期はWebClassにアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。					
教科書 歯科英語／Thomas R. Ward [ほか] 著, Ward, Thomas Russell.: 医歯薬出版, 2007					
参考書 丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子 監修・著 クインテッセンス出版 TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材: 56yo Female pain, 他9本 關奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャンネル・モロス、樺沢勇司、木下淳博 著 東京大学出版会					
備考 担当教員: 關 奈央子 統合国際機構: 会話+e-learning(6時間) Janelle Moross 統合国際機構(4時間): 会話 責任者: 品田佳世子 オフィスアワー: 随時、連絡先: shinada.pvoh@tmd.ac.jp					
連絡先(メールアドレス) 品田 佳世子: shinada.ohp@tmd.ac.jp 關 奈央子: nseki.edev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田教授室 關 奈央子: 毎週木曜日 15:00-16:30 M&Dタワー7階 教員室					

時間割番号	022212				
科目名	科学英語Ⅱ			科目ID	DH-290900-L
担当教員					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
科目名:科学英語Ⅱ 時間数:15 時間 必要自習時間:10 時間 授業形態:講義・発表・討論					
主な講義場所 ZOOM 形式を主とする。					
授業の目的、概要等 ・口腔保健に関連する科学論文を検索でき、実際に読み内容を理解する能力を身につける。 ・研究に関して、英語で発表できる能力を身につける。					
授業の到達目標 ・英文科学論文の文献検索ができる。 ・口腔保健関連の英語の専門用語を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1-3	9/26	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	英文論文の種類・構成 について	様々な英文論文の種類について説明する。英文論文の構成について概説する。これにより、いかに英文論文を読むかを体得する。
4-6	10/17	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	論文検索の方法及び抄読論文の選択	文献検索の方法を学ぶ。次回から読む論文を選択する。
7-9	10/24	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	英語論文抄読	全身疾患と歯周病など口腔保健関連論文の紹介、読解・内容についての討論を行う。
10-12	10/31	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	英語論文抄読・発表の準備	全身疾患と歯周病など口腔保健関連論文の紹介、読解 次回論文内容を紹介するが、その準備を行う。
13-15	11/7	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	抄読の発表の準備・発表	発表準備・発表を行う。
授業方法 ・ZOOM により知識伝達 ・ZOOM 上で、口頭発表					
授業内容 ・科学論文(主として英文)の構成、読み方を伝授 ・科学論文の検索方法を実際に体験し、各自興味のある分野について検索 ・検索後、論文を選択し論文に内容を把握 ・論文の内容を発表					
成績評価の方法 出席状況(10%)・発表内容(含準備状況)・態度(50%)、討論内容・態度(40%)を以って成績判定を行う。					

成績評価の基準 ・出席状況(10%)、発表内容(含準備状況)・態度(50%)、討論内容・態度(40%)を以って成績判定を行う。 特に、発表・討論に参加しなかった場合はD判定とする。
準備学習等についての具体的な指示 あらかじめ配布された英文論文を読み、内容(当該研究の目的・方法・討論)を理解するよう努力する。Abstract を読み内容的に門外漢であった場合は、Introduction で研究の背景を勉強しておく。 PC は必須。
試験の受験資格 定期試験は行わない。
参考書 英和辞典、PC(文献検索に使用)
履修上の注意事項 科学論文の種類の解説、文献検索の方法、実際に各自(各グループ)で興味のあるテーマについて文献を検索し、当該論文を抄読する。その結果を発表し、評価する。
備考 ・英語の辞書(電子辞書)、PC(文献検索に使用)等を持参すること。 ・事前に配布された論文中のわからない単語を調べ、予習をしておくこと。 ・英文論文を抄読し、発表後、内容について討論する。

時間割番号	022214						
科目名	歯・口腔の構造と機能		科目ID	DH-231001-L			
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2204 ユニット名: 歯・口腔の構造と機能 授業形態: 講義(遠隔授業)を主として、実習(対面授業)を含む 時間数: 必修 4 単位・60 時間 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎							
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第 4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科 基礎科学実習室(1 号館西 7 階)							
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。							
授業の到達目標 ・ 顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・ 末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・ 消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・ 歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・ 歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・ 脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・ 口腔領域の体性感覚器・味覚器官の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・ 下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・ 咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・ 発声・構音のしくみを説明する。 ・ 口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎知識、歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と機能 2022、
2	4/8	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と機能 2022、
3	4/8	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と機能 2022、
4	4/8	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と

							機能 2022、
5	4/15	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
6	4/15	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
7	4/15	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	神経系の働き	興奮伝導・興奮伝達のしくみ、神経 伝達物質の働き	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
8	4/19	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	神経系の働き	末梢神経系の働き、脊髄の働きと 脊髄反射	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
9	4/19	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	一般体性感覚、内臓感 覚	一般体性感覚、内臓感覚	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
10	4/20	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	消化器系総論	消化器系の全体像と発生および 基本構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
11	4/20	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
12	4/20	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
13	4/22	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
14	4/22	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口蓋、咽頭、喉頭	口蓋・咽頭・喉頭の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
15	4/22	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	食道、胃腸	食道、胃、小腸、大腸の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
16	4/26	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	肝臓・膵	肝臓、胆のう、膵臓の構造	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022
17	4/26	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顎顔面領域の発生	顎顔面領域の初期発生	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
18	4/26	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯の発生 1	硬組織形成前までの歯胚の発生 過程	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
19	4/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯の発生 2	象牙質・歯髄複合体の形成機構	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
20	4/27	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯の発生 3	エナメル質の形成機構	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、

21	4/27	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯周組織の形成機構	歯周組織の形成機構	坂本 裕次郎	FOS22033 OH2 歯・口腔の構造と 機能 2022、
22	5/10	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	象牙質・歯髄複合体	象牙質・歯髄複合体の構造と象牙 質の成長線	坂本 裕次郎	
23	5/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	象牙質・歯髄複合体	象牙質・歯髄複合体の構造と象牙 質の成長線	坂本 裕次郎	
24	5/17	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	エナメル質	エナメル質の構造と成長線	坂本 裕次郎	
25	5/24	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯周組織	歯周組織の構造	坂本 裕次郎	
26	5/25	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯列形成と歯の萌出と 交換	歯列と咬合の形成と歯の萌出と交 換のしくみ	坂本 裕次郎	
27	5/26	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の 組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観 察	坂本 裕次郎	
28	5/26	13:50-14:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の 組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観 察	坂本 裕次郎	
29	5/31	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	中間まとめ	ここまでのまとめ・補足	坂本 裕次郎	
30	6/16	13:50-14:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
31	6/16	14:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
32-33	7/28	13:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の 顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
34	10/19	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎	
35	10/19	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎	
36	10/26	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系	上行性・下行性伝導路	坂本 裕次郎	
37	10/26	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚	坂本 裕次郎	
38	11/2	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚	坂本 裕次郎	
39	11/2	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	神経系の働き	脳(大脳皮質、大脳辺縁系、間脳、 小脳、脳幹ほか)の働き	坂本 裕次郎	
40	11/9	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	記憶・学習・情動行動	記憶・学習・情動行動のしくみ	坂本 裕次郎	

41	11/9	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
42	11/30	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
43	11/30	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎	
44	11/30	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎	
45	12/7	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜感覚	口腔粘膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎	
46	12/7	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯髄感覚・歯根膜感覚	歯髄感覚・歯根膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎	
47	12/7	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	唾液腺の機能	唾液の分泌機構	坂本 裕次郎	
48	12/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	唾液腺の機能	唾液の性状・成分・生理作用	坂本 裕次郎	
49	12/21	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎	
50	12/21	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎	
51	1/13	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	咀嚼運動	関節の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
52	1/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	咀嚼運動	咀嚼運動の制御機構	坂本 裕次郎	
53	1/16	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	咀嚼運動	口蓋と咽頭のつながり	坂本 裕次郎	
54	1/16	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	下顎反射、嚥下、吸引、 嘔吐	開口反射と閉口反射のしくみ、嚥下、吸引、嘔吐のしくみ	坂本 裕次郎	
55	1/20	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	発声と構音	発声のしくみと構音	坂本 裕次郎	
56	1/20	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	消化と吸収	消化管運動のしくみ	坂本 裕次郎	
57	1/20	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	消化と吸収	消化液の成分と作用および分泌調節	坂本 裕次郎	
58	1/24	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	消化と吸収	栄養素の消化と吸収および排便反射のしくみ	坂本 裕次郎	
59	1/24	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	実習の解説	基礎科学実習との関連について	坂本 裕次郎	
60	2/1	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	総まとめ	総まとめ・補足	坂本 裕次郎	

授業方法

・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。

・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。

・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後に e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「実習(対面授業)」は、登校してドリームキャンパスに表示された実習室で行う。 ・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用する。
授業内容 授業スケジュールの授業明細に記載。
成績評価の方法 ・定期試験(筆記試験)で、理解度・習得度を評価する。 ・出席状況、授業態度、実習課題への提出物、等を評価に加味する。 ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
成績評価の基準 ・学習の評価 B 以上を得るには、前・後期ともに本試験で合格するように努めること。 ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いていて、実習にも誠実に取り組むので、そのような姿勢が望まれる。
準備学習等についての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。 ・Web Class コース「OH2 歯・口腔の構造と機能 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。 ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。
参考書 歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修,井出吉信, 山田好秋 ほか著,井出, 吉信, 1947-,山田, 好秋, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2011 人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著,前田, 健康, 1959-,山田, 好秋, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 2010 Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著],Antonio Nanci 編著,川崎堅三 監訳,Ten Cate, Arnold Richard,Nanci, Antonio,川崎, 堅三, 1942-,: 医歯薬出版, 2006 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興,岡本道雄,ヒラサワコウ,オカモトチオ.: 金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ.: 金原出版, 1982-02-20 基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三.:医歯薬出版, 2014 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,石村, 和敬, 1949-,: 医学書院, 2017 標準生理学／小澤静司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 静司, 福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,: 医学書院, 2014 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 1995 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の 5 編が、http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考

連絡先(メールアドレス)

y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 1号館西8階

時間割番号	022215						
科目名	歯の形態学	科目ID	DH-231002-L				
担当教員	坂本 裕次郎[SAKAMOTO YUJIRO]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2205 ユニット名: 歯の形態学 授業形態: 講義(遠隔授業)と実習(対面授業) 時間数: 必須 1 単位・30 時間(演習) 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎							
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科 基礎科学実習室(1 号館西 7 階) ・解剖学実習室(3 号館 B1 階)							
授業の目的、概要等 歯の種類と形態の特徴および役割、頭蓋と顎関節および頭頸部の諸器官の構造を互いに関連付けて学び、歯と口腔の役割を包括的に理解するとともに、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との相互関係について理解を深める。							
授業の到達目標 ・ 口腔の構造とはたらきについて説明する。 ・ 歯と歯周組織の構成要素ならびに役割について説明する。 ・ 歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・ 歯の分類と表記方法について説明する。 ・ 永久歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 永久歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 乳歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 乳歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 歯の形態について立体的に表現する。 ・ 頭蓋を構成する骨の種類と形態および顎関節の構造について説明する。 ・ 頭頸部の筋の種類と起始・停止、支配神経と作用を説明する。 ・ 頭頸部の動・静脈、リンパ系について説明する。 ・ ヒトの歯の形態と顎運動を互いに関連付けて説明する。 ・ 口腔諸器官の機能と全身の正常機能とを関連づける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列と咬合の基礎知識	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
2	4/6	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
3	4/20	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
4	4/20	13:50-14:40	遠隔授業	永久歯の解剖学、乳歯	大臼歯の形態、乳歯の特徴	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2

			(同期型)	の解剖学			歯の形態学 2022、
5	4/20	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	乳歯の解剖学、歯と歯 列	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態、歯 列弓と咬合	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
6	4/28	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯と犬歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
7	4/28	13:50-14:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯と犬歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
8	4/28	14:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯と犬歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	FOS22034 OH2 歯の形態学 2022、
9	5/12	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形 成	坂本 裕次郎	
10	5/12	13:50-14:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形 成	坂本 裕次郎	
11	5/12	14:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形 成	坂本 裕次郎	
12	5/19	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	
13	5/19	13:50-14:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	
14	5/19	14:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	
15	6/16	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	永久歯の解剖学	永久歯のまとめ	坂本 裕次郎	
16	11/16	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	頭蓋	頭蓋の外景・内景	坂本 裕次郎	
17	11/16	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈 1	坂本 裕次郎	

18	11/16	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎	
19	12/7	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎	
20	12/7	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈2、リンパ管・リンパ節	坂本 裕次郎	
21	12/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の筋系と頸筋膜	表情筋・咀嚼筋・浅頸筋・外側頸筋	坂本 裕次郎	
22	12/14	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の筋系と頸筋膜	前頸筋(舌骨上筋・舌骨下筋)・後頸筋、頸筋膜	坂本 裕次郎	
23	12/14	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎	
24	1/19	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋の外景・内景の観察	坂本 裕次郎	
25	1/19	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋を構成する骨の観察	坂本 裕次郎	
26	1/24	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	実習の解説	見学実習・基礎科学実習との関連	坂本 裕次郎	
27	1/27	12:50-13:40	解剖学実 習室	解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎	
28	1/27	13:50-14:40	解剖学実 習室	解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎	
29	1/27	14:50-15:40	解剖学実 習室	解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎	
30	1/27	15:50-16:40	解剖学実 習室	解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎	

授業方法

・授業は講義と実習を合わせて行い、ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。

・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。

・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後に e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「実習(対面授業)」は、登校してドリームキャンパスに表示された実習室で行う。

・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用する。

・実習には関連する講義資料を持参する。

・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きに履き替えて、手袋(臨床系実習と同様のグローブ)やマスク等を着用する。

授業内容

授業スケジュールの授業明細に記載。

成績評価の方法

・定期試験(筆記試験)で理解度・習得度を評価する。

・実習の履修状況は、参加態度、出された課題への提出物、提出レポート、等で評価する。

・出席状況、授業態度、小テスト、提出物、提出レポート、等を評価に加味する。

・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
成績評価の基準 ・学習の評価 B 以上を得るには、前・後期ともに本試験で合格するように努めること。 ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いていて、実習にも誠実に取り組み、実習課題の期限を守るので、そのような姿勢が望まれる。
準備学習等についての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。 ・WebClass コース「OH2 歯の形態学 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。 ・前期末と後期末に講義と実習を評価するので、前期と後期それぞれに講義時間数と実習時間数での受験資格を満たさなくてはならない。
参考書 歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、井出 吉信、1947-、山田 好秋、1949-全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、2011 歯の解剖学／藤田恒太郎 原著、藤田 恒太郎、1903-1965、桐野 忠大、1915-、山下 靖雄、1945-、金原出版、1996 分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリオト、オガワテイゾウ、オウチヒロム、金原出版、1982-02-20 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトチオ、金原出版、1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オガワテイゾウ、ヤマダエイ、ヨウロウケンシ、金原出版、1982-02-20 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、医歯薬出版、1996 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の 5 編が、 http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
連絡先(メールアドレス) y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時 1 号館西 8 階

時間割番号	022216					
科目名	口腔保健衛生基礎科学	科目ID	DH-231003-E			
担当教員	坂本 裕次郎, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 青木 和広, 田村 幸彦, 水口 俊介, 上野 俊明, 中禮 宏, 駒ヶ嶺 友梨子, 濱 洋平, 岡野 徳壽[SAKAMOTO YUJIRO, SUZUKI TOSHIHIKO, ASHIDA Hiroshi, AOKI KAZUHIRO, TAMURA YUKIHIKO, MINAKUCHI SHIYUNSUKE, UENO TOSHIAKI, CHUREI HIROSHI, KOMAGAMINE YURIKO, HAMA YOHEI, OKANO Tokuju]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット名: 口腔保健衛生基礎科学 ユニット番号: 2206 授業形態: 実習(対面授業) 時間数: 必修 1 単位・30 時間(演習) 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎						
主な講義場所 ・口腔保健学科 基礎科学実習室(1 号館西 7 階) ・解剖学実習室(3 号館 B1 階) ・上記以外の場所で行う実習項目があるので事前に確認すること。						
授業の目的、概要等 人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ちと回復過程の促進などの基礎系授業科目の講義ユニットで学習した内容について、実習を通して理解を深める。						
授業の到達目標 ・人体の筋、神経系および主要器官を観察して特徴を説明する。 ・人体の主要器官の組織標本を観察して特徴を説明する。 ・細菌の分離培養とその細菌の鑑別を行う。 ・組織標本の切片作製と染色を行い、光学顕微鏡観察の意義について説明する。 ・咀嚼その他の各種の運動と筋の働きの検査を行い、筋の種類と働きについて説明する。 ・味覚および体性感覚の感覚検査を行い、感覚のしくみについて説明する。 ・中枢神経に作用する薬物とくに麻酔薬の作用とED50 について理解する。 ・蛍光色素等の硬組織内への沈着を観察し、硬組織の成長・発育過程を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/23	12:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察 1	坂本 裕次郎
4-6	7/7	12:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察	坂本 裕次郎
7-9	7/20	12:50-15:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 岡 野 徳壽
10-12	7/27	12:50-15:40	解剖学実 習室	肉眼解剖学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎

13	7/28	12:50-13:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 3	顕微鏡観察	坂本 裕次郎
14-17	12/2	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	硬組織内時刻描記法による象牙質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察 OE との合同演習となります。	青木 和広 田村 幸彦 菅森 泰隆 天野 均
18-21	12/9	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	全身麻酔薬の作用、アップダウン法による ED50 の検討 蛍光色素の皮下注射による硬組織内時刻描記法 OE との合同演習となります。	青木 和広 田村 幸彦 菅森 泰隆 天野 均
22	1/19	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習	解剖と機能の実習の予告説明	坂本 裕次郎 水口 俊介 上野 俊明 中禮 宏 駒ヶ嶺 友梨子 濱 洋平
23-26	1/30	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1、2、3	感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎 水口 俊介 上野 俊明 中禮 宏 駒ヶ嶺 友梨子 濱 洋平
27-30	2/5	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1、2、3	感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎 水口 俊介 上野 俊明 中禮 宏 駒ヶ嶺 友梨子 濱 洋平

授業方法

・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「実習(対面授業)」は、登校してドリームキャンパスに表示された実習室で行う。

・表示されていない実習場所で行う実習項目があるので、事前の予告説明に出席して確認する。

・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用する。

・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きを着用するほか、手袋(臨床系実習と同様のグローブ)やマスク等を着用する。

・学生は各実習項目で与えられた課題を行う。

授業内容

授業スケジュールの授業明細に記載。

成績評価の方法

・実習への参加態度、実習して出された課題への提出物、提出レポート、等で、理解度・習得度を評価する。

・各実習項目の評価を合計して最終評価するが、原則として実習項目ごとに合格しなくてはならない。

成績評価の基準

・学習の評価 B 以上を得るには、欠席しないように努め、課題は期限内に済ませること。

・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、実習の説明を聞いて誠実に取り組み、課題の期限を守るので、そのような姿勢が望まれる。

準備学習等についての具体的な指示 ・基礎歯科学系の講義で学習した内容を復習して、実習内容との関連性を確認しておくこと。 ・事前に資料の配付、WebClass(e ラーニングシステム)コース「OH2 口腔保健衛生基礎科学 2021」へのアップロード等があった場合は、配付された実習書等を読み、関連知識を予習しておくこと。 ・各回の授業形式と受講場所を確認すること。
試験の受験資格 各実習項目で評価するので、原則として実習項目ごとに出席要件(授業時間数の3分の2以上履修した者)を満たさなくてはならない。(ドリームキャンパスで確認すること。)
参考書 薬理学／鈴木邦明 ほか 著、鈴木 邦明、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版、2018 ・基礎歯科学系各ユニットの参考書欄を参照。
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考
連絡先(メールアドレス) 坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp 水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp 上野 俊明:tueno.spm@tmd.ac.jp 中禮 宏:chu.spm@tmd.ac.jp 濱 洋平:y.hama.gerd@tmd.ac.jp 田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎:随時 1号館西8階 鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室 水口 俊介:随時 青木 和広: 随時(可能ならば、事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野) 上野 俊明:月木 16:00-17:00 10号館3階スポーツ医歯学准教授室 濱 洋平:月、火、木、金 18時以降 一号館東2F 高齢者歯科学学分野 第6研究室 (メールで連絡ください) 田村 幸彦:MD タワー7階北 研究室(N713) オフィスアワーは特に定めないが事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	022218						
科目名	病理学総論		科目ID	DH-231101-L			
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2207 ユニット名: 病理学総論 授業形態: 講義(遠隔授業) 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 池田 通							
主な講義場所 授業はすべて Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で行う。但し、定期試験は口腔保健学科第 3 講義室にて対面形式で行う。							
授業の目的、概要等 全疾患の病因と細胞・組織変化を全身疾患をモデルとして概説する。							
授業の到達目標 疾患を医学的な目で見、医学的な見地からとらえることができるようになり、分類ごとの病因論と細胞・組織変化の基礎を理解している。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	病理学序論	病理学の歴史 病因論	栢森 高	
3-4	4/12	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	栢森 高	
5-6	4/19	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	代謝障害	代謝障害、退行性病変	栢森 高	
7-8	4/29	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	増殖と修復	修復と再生 進行性病変、創傷 治癒	栢森 高	
9-10	5/10	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	循環障害	循環障害	栢森 高	
11-12	5/17	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	炎症	炎症、感染症	栢森 高	
13-14	5/24	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	腫瘍総論	腫瘍の発生機序 腫瘍の分類	池田 通	
15	5/31	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	免疫異常	免疫学の基礎	池田 通	
授業方法 授業はすべて Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で行う。適宜小テストおよび課題を行うことで学生が自ら学ぶ力も涵養する。							
授業内容 全疾患を先天異常、細胞・組織傷害(代謝障害、退行性病変)、増殖と修復、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍に分類してそれぞれの病因と細胞・組織変化を全身疾患をモデルにして概説する。							
成績評価の方法 定期試験の得点に小テストおよび課題レポートの評価を加味して評価する。							
成績評価の基準 100 点満点に換算し、60 点(歯学部口腔保健学科生が今後進級するにあたり最低限必要不可欠な知識を身につけているレベル)以上を合格とする。							

準備学習等についての具体的な指示 ・口腔領域の解剖・組織学の知識が必要となるため、準備学習しておくこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。
参考書 病理学／大橋健一著者代表,大橋 健一,:医学書院, 2015 病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著,仙波 伊知郎,高田 隆, 1953-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2012
履修上の注意事項 正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。
参照ホームページ ・日本病理学会 病理コア画像 http://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html

時間割番号	022219						
科目名	病原微生物と生体防御	科目ID	DH-231102-L				
担当教員	坂本 裕次郎, 永井 重徳, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 礪波 健一, 飯野 由子[SAKAMOTO YUJIRO, NAGAI SHIGENORI, SUZUKI TOSHIHIKO, ASHIDA Hiroshi, TONAMI KENICHI, IINO Yoshiko]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2208 ユニット名: 病原微生物と生体防御 授業形態: 講義(遠隔授業) 時間数: 必須 2 単位・30 時間 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 坂本 裕次郎							
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第4 講義室(1 号館西 8 階)							
授業の目的、概要等 病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみについて理解し、その理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法を理解する。							
授業の到達目標 ・細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 ・感染の予防と治療の基礎を微生物の特性に着眼して理解する。 ・病原微生物の分類と病原性について説明する。 ・口腔細菌の特徴と病原性について説明する。 ・免疫獲得と免疫寛容の機構および免疫疾患の病因・病態について説明する。 ・病原微生物や様々な外来刺激に対する生態の防御系を説明する。 ・疼痛の病因・病態について説明する。 ・顎・顔面・口腔領域の神経痛の病因・病態について説明する。 ・歯科医療現場で遭遇する感染症について説明する。 ・感染予防の方法と限界について説明する。 ・医療現場における安全対策について説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/27	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	永井 重徳	
2	6/3	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	免疫担当細胞	免疫担当細胞	永井 重徳	
3	6/10	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	永井 重徳	
4	6/17	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	永井 重徳	
5	6/24	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	適応免疫 2	液性免疫、免疫記憶、ワクチン	永井 重徳	

			型)				
6	6/24	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	アレルギー	過敏症、自己免疫	永井 重徳	
7	7/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	微生物学総論 1	感染症の歴史	鈴木 敏彦	
8	7/4	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	微生物学総論 2	微生物の多様性と分類	鈴木 敏彦	
9	7/4	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	微生物学総論 3	微生物の構造	鈴木 敏彦	
10	7/6	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	微生物学総論 4	微生物の増殖	鈴木 敏彦	
11	7/6	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	感染と発症 1	感染経路	鈴木 敏彦	
12	7/6	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	感染と発症 2	ワクチンと病原性	鈴木 敏彦	
13	7/11	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	化学療法と滅菌・消毒 1	化学療法	芦田 浩	
14	7/11	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	化学療法と滅菌・消毒 2	化学療法と薬剤耐性	芦田 浩	
15	7/11	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	化学療法と滅菌・消毒 3		芦田 浩	
16	7/13	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	細菌学各論 1	グラム陽性菌	鈴木 敏彦	
17	7/13	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	細菌学各論 2	グラム陰性菌	鈴木 敏彦	
18	7/13	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期 型)	細菌学各論 3	その他の細菌	鈴木 敏彦	
19	7/26	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	口腔微生物 1	口腔内フローラ	鈴木 敏彦	
20	7/26	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔微生物 2	口腔微生物と疾患	鈴木 敏彦	
21	7/26	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	ウイルス学各論		鈴木 敏彦	
22	12/22	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	坂本 裕次郎	
23	12/22	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	坂本 裕次郎	
24	12/22	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎・顔面領域の疼痛	脳神経と顎・顔面領域の疼痛の原因と機序	坂本 裕次郎	

25-26	1/13	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇するおもな感染症	飯野 由子	
27-28	1/16	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	安全対策	歯科医療現場における安全対策	礪波 健一	
29-30	1/16	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防法の実践	飯野 由子	

授業方法

・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。
- ・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。
- ・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後にメールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「非同期型の遠隔授業」は、WebClass を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に WebClass コースが事前表示される。
- ・学生は、授業コースに掲載された教材にしたがって、指定された期限内(時間割表の講義日以降の 1 週間)に、各自の責任で履修する。
- ・質問方法が表示されてない場合は、e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

授業内容

- ・授業スケジュールの授業明細に記載。
- ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。

成績評価の方法

- ・定期試験(筆記試験)で、理解度・習得度を評価する。
- ・出席状況、授業態度、小テスト、等を評価に加味する。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。

成績評価の基準

- ・学習の評価 B 以上を得るには、前・後期ともに本試験で合格するように努めること。
- ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いているので、そのような姿勢が望まれる。

準備学習等についての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。

- ・WebClass コース「OH2 病原微生物と生体防御 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。
- ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。

試験の受験資格

- ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。
- ・非同期型の遠隔授業は、指定された期限内に履修すること。
- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

微生物学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2/木村重信 ほか著、木村、重信、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2011

微生物学／梅本俊夫、奥田克爾、中山浩次、三宅洋一郎 著、梅本、俊夫、1939-、奥田、克爾、1943-、中山、浩次、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2007

標準微生物学／中込治、神谷茂 編集、中込、治、神谷、茂、1952-、：医学書院、2015

からだをまもる免疫のふしぎ／日本免疫学会編集、日本免疫学会、石川、ともこ、：羊土社、2008-05

歯科衛生士のための歯科医療安全管理／尾崎哲則、白土清司、藤井一維編、尾崎、哲則、白土、清司、藤井、一維、：医歯薬出版、2014

歯科医療管理：安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会編、日本歯科医療管理学会、：医歯薬出版、2018

歯科衛生士のための感染予防スタンダード／井上孝 編著,井上, 孝, 1953-,: 医歯薬出版, 2006 書き込み式歯科衛生士のための感染管理のきほん／柏井伸子編著 ; 入江悦子 [[ほか] 著,柏井, 伸子,入江, 悦子,佐藤, 繭美,佐藤, 久美子,早川, 幸太田, 知歩,山口, 千緒里,: デンタルダイヤモンド社, 2019
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
連絡先(メールアドレス) 坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp 礪波 健一:ken1.gend@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎:随時 1号館西8階 鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室 礪波 健一:毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学準教授・講師室

時間割番号	022220						
科目名	口腔病理学	科目ID	DH-231103-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2209 ユニット名: 口腔病理学 授業形態: 講義(遠隔授業) 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者: 坂本 裕次郎 ユニット責任者: 池田 通							
主な講義場所							
授業はすべて Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で実施する。但し、定期試験は口腔保健学科第 3 講義室にて対面形式で行う。							
授業の目的、概要等							
顎口腔領域の疾患の病理学的分類および病因と病態に関する基本的知識を理解するために、正常と異常との機能的、形態的違いに特に注目して概説する。							
授業の到達目標							
・顎口腔領域の疾患を病理学的に分類し、それぞれについて理解している。 ・顎口腔領域疾患による病理形態学的な変化に関する基礎知識を身につけている。 ・顎口腔領域の主な疾患について臨床症状を含めて病理学的に概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/5	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	池田 通	
3-4	10/12	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	齲蝕	齲蝕の病因と組織変化	池田 通	
5-6	10/19	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯髄炎、根尖性歯周炎	歯髄炎、根尖性歯周炎の種類と組織変化	池田 通	
7-8	10/26	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯周炎	歯周病の原因と組織変化	池田 通	
9-10	11/2	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔領域の発育異常、嚢胞	口腔領域の発育異常、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞	池田 通	
11-12	11/9	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	栢森 高	
13-14	11/16	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔の腫瘍、顎骨病変	口腔の腫瘍、顎骨の腫瘍性、炎症性疾患	栢森 高	
15	11/30	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	唾液腺疾患	腫瘍性唾液腺疾患、炎症性唾液腺疾患	栢森 高、坂本 裕次郎	
授業方法							
授業はすべて Zoom または WebClass を用いた遠隔授業で実施する。適宜小テストおよび課題を行わせ、学生が自ら学ぶ力も涵養する。							
授業内容							
う蝕と根尖性歯周炎、歯周疾患、顎骨の病変、嚢胞性病変、先天異常、唾液腺疾患、粘膜疾患、口腔領域の腫瘍性病変について概説する。							
成績評価の方法							
定期試験の得点に、小テストおよび課題レポートの得点を加味して評価する。							

成績評価の基準 100 点満点に換算し、60 点(歯学部口腔保健学科生が今後進級するにあたり最低限必要不可欠な知識を身につけているレベル)以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 2020 年度はインターネットを使用した講義を行うので、各回の講義形式を確認すること。 ・Web Class「口腔病理学コース」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・Web Class での非同期型講義は、時間割表の講義日を含む 1 週間以内に履修を済ませること。 ・ZOOM による同期型講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 ・大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること) ・Web Class での非同期型講義は、時間割表の講義日を含む 1 週間以内に履修を済ませること。
参考書 病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著, 仙波, 伊知郎, 高田, 隆, 1953-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2012 新口腔病理学／下野正基〔ほか〕編 ; 田中昭男〔ほか〕執筆, 下野, 正基, 田中, 昭男, 医歯薬出版, 2018 口腔病理アトラス／高田隆, 豊澤悟編, 高木, 寛, 高田, 隆, 豊澤, 悟, 文光堂, 2018
履修上の注意事項 正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。
参照ホームページ ・口腔病理基本画像アトラス http://www.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/

時間割番号	022221						
科目名	薬理学	科目ID	DH-231104-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2008 授業形態: 講義(遠隔授業 同期・非同期混合型)、演習(遠隔授業・同期型・TBL 講義) 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・青木 和広							
主な講義場所 ・遠隔授業(同期・非同期混合型)であり、すべて自宅学習となる。							
授業の目的、概要等 総論では、医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。 各論は、3年生の前期にかけて学ぶ。2年生では、特に鎮痛薬、抗炎症薬、中枢神経系薬、自律神経系薬、運動神経系薬、硬組織系薬、循環器系薬について学ぶ。							
授業の到達目標 ・薬理作用の種類を説明できる。 ・薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 ・薬物の構造活性相関について説明できる。 ・薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 ・薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 ・薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 ・薬理作用を規定する要因について説明できる。 ・薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 ・中枢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・循環器系薬、特に高血圧治療薬について説明できる。 ・痛みと薬物について説明できる。 ・抗炎症薬の種類と作用について説明できる。 ・硬組織に作用する薬の種類と作用について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物1	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	
2	10/21	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物2	薬の使用目的とその作用、受容体と薬物	青木 和広	
3	10/21	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物3	薬物の適用方法	青木 和広	
4	10/28	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物4	薬物の吸収、分布、代謝、排泄	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終了後に確認テストを行うこと
5	10/28	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物5	薬物の生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終了後に確認テストを行うこと

6	10/28	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物6	薬理作用を規定する要因、薬物の 反復、構造活性相関	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終 了後に確認テスト を行うこと
7	11/11	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物7	ライフステージと薬物	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終 了後に確認テスト を行うこと
8	11/11	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系作用薬1	AL(演習)・講義 全身麻酔薬、睡眠 薬、向精神薬、抗不安薬の種類と 特徴	田村 幸彦	
9	11/25	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終 了後に確認テスト を行うこと
10	11/25	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬、ステロ イド性抗炎症薬、	青木 和広	FOS22013 OH2 薬理学 2022 終 了後に確認テスト を行うこと
11	11/29	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	末梢神経系作用薬物	12月5日(9時から)の TBL 方式 授業のために良く復習しておくこと	青木 和広	
12	12/5	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	末梢神経系作用薬物	AL(演習)・TBL 方式の講義 神 経伝達物質、自律神経系作用薬、 運動神経系作用薬。 ・授業参加 前に予習が必要です。 WebClass に教材をアップします。	青木 和広	(OE2 と合同講 義)
13	12/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	硬組織に作用する薬物	骨吸収抑制薬・骨形成促進薬・骨 質改善薬	青木 和広	(OE2 と合同講義)
14	12/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系作用薬2	AL(演習)・講義 中枢神経興奮薬、 抗てんかん薬、パーキンソン病治 療薬、アルツハイマー病治療薬の 種類と特徴	田村 幸彦	(OE2 と合同講義)
15	12/12	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	循環器系の薬理	高血圧治療薬	青木 和広 坂本 裕次郎	FOS21026 OH2 薬理学 2021 終 了後に確認テスト を行うこと

成績評価の方法

- ・授業ごと的小テスト(30 点)、定期試験(70 点)で評価するが、出席状況および授業態度も加味した総括的評価を行う。
- ・定期テストで 6 割の正答率が得られない者は、再試験となる。
- ・再試験でも 6 割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

- ・小テストを平常点の評価基準とする。
- ・A+の評価は、期末テストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。
- ・インターネットを使用した遠隔講義を行う。
- ・12月2日、9日の薬理学実習と授業内容が連携している。
- ・WebClass「FOS22013 OH2 薬理学 2022」に提示した講義資料を事前に確認すること。

・非同期の講義は、質問があれば、上記コースの掲示板に書き込むこと。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 3 分の 2 の出席(ドリームキャンパスで確認すること) なお、 同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。 非同期授業はビデオ受講記録だけでなく、小テストの合格点をもって出席とする。 やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。 連絡も無く欠席した場合、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。 連絡があり、正当な理由と認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。
教科書 現代歯科薬理学／鈴木邦明 [ほか] 編 鈴木, 邦明, 戸苅, 彰史, 青木, 和広, 兼松, 隆, 筑波, 隆幸, 大谷, 啓一.: 医歯薬出版, 2018
参考書 薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編 川口充, 大浦清, 大谷啓一, 戸苅彰史, 加藤有三, 篠原光子 著.: 医歯薬出版, 2011 シンプル薬理学／野村隆英, 石川直久 編集.: 南江堂, 2014 現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編 加藤有三, 篠田壽 監修.: 医歯薬出版, 2012 コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ 編集.: 朝倉書店, 2012 現代歯科薬理学 第 6 版.: 医歯薬出版, 2018 最新薬理学 : 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清, 戸苅彰史 編集.: 学建書院, 2017 歯科衛生学辞典／眞木吉信ほか編 眞木, 吉信, 全国歯科衛生士教育協議会.: 永末書店, 2019
備考 TBL 方式の講義も取り入れる。

時間割番号	022222						
科目名	社会保障Ⅱ			科目ID	DH-241200-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 社会保障Ⅱ 時間数: 30 時間 授業形態: Zoom による同期型遠隔講義							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 SBOs 1. 現代社会における社会保障制度の位置づけと課題を説明できる。 2. 社会保障制度の概念・理念・対象を説明できる。 3. 社会保障制度の体系(各制度の概要)を説明できる。 4. 社会保障の財源と費用を説明できる。 5. 社会保険と公的扶助の関係を説明できる。 6. 社会保険制度と民間保険制度の関係を説明できる。 7. 諸外国における社会保障制度の概要を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	6/14	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	現代社会と社会保障・諸外国における社会保障	現代における社会保障制度の内容と意義、諸外国との比較 SBOs1,2,3,7	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
5-8	6/21	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度の構造	日本の社会保障制度の構造について学ぶ SBOs1,2,3	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
9-13	6/28	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	社会保障制度の財源と費用・社会保障制度の歴史	社会保障の財源、費用負担等、歴史的展開 SBOs1,2,3,4	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
14-18	7/5	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	社会保障と民間保険・年金保険制度 1	民間保険と社会保障の異同について、年金保険制度について SBOs6	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
19-22	7/12	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	医療保険制度・介護保険制度 1	医療保険制度、介護保険制度について SBOs3,4,5	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
23-26	7/19	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	労働保険制度・社会福祉制度 1	労働保険制度(雇用保険、労災保険)、社会福祉制度(生活保護、社会手当等) SBOs1,2,3,4	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。
27-30	7/26	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	社会保障が当面する課題	社会保障の抱える課題について SBOs1	遠藤 康裕 樺沢 勇司	講義中は討論・演習を適宜実施する。

授業方法 遠隔授業（Zoom による同期型遠隔講義）を原則とする。講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員（樺沢）までメールにて連絡すること。
授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 ・授業内での演習、リアクションペーパー、レポートなどで総合的に評価する。 ・授業内容について十分に理解できていること、授業内容と身の周りの出来事や私たちの社会で問題とされている事柄を関連付けて考えられているものをより評価する。
成績評価の基準 ・「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 教科書、WebClass に事前にアップロードされた資料を用いて関連する単元について予習してくること。
試験の受験資格 本科目は定期試験は実施せず、講義中の演習等への取り組み、講義後に実施されるレポートや課題において総合的に評価を行う。成績評価のため全講義 15 時間の 2/3 以上出席することを原則とする。 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者（樺沢）までメールで必ず連絡をすること。
教科書 新・社会福祉士養成講座 12 社会保障／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2019
参考書 ・随時、授業中に紹介する。

時間割番号	022223						
科目名	保健医療サービス			科目ID	DH-241300-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
保健医療サービス（樺沢勇司） 科目番号: 2014 授業形態: 遠隔授業(同期型・非同期型講義) コマ数: 30 コマ							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 一般目標 保健医療サービスに関連する法律や衛生行政、医療保険制度、政策動向を理解し、保健医療の専門職の役割や実際、多職種連携やチーム医療を理解する。							
授業の到達目標 到達目標 SBOs 1.保健医療サービスに関連する法律(医療法、地域保健法、健康増進法など)の概要を説明できる。 2.保健医療サービスに関連する政策動向を説明できる 3.衛生行政の概要と政策動向を説明できる。 4.医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)の特徴や仕組みを説明できる。 5.保健医療サービスにおける専門職(医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカー、他の医療技術職)の役割を説明できる。 6.保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 7.インフォームドコンセントの概要(関連制度、自己決定・自立尊重原理など)を説明できる。 8.災害時の保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/31	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 1、2	医療法など基本法規と保健医療制 度、保健医療サービスの制度・政 策 SBOs1	五十嵐 公、 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
2	10/31	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 1、2	医療法など基本法規と保健医療制 度、保健医療サービスの制度・政 策 SBOs1	五十嵐 公、 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
3	10/31	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 3	保健医療サービス関連の法・制度 3 SBOs1,2	品田 佳世子	課題、課題発表を 設ける
4	10/31	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 4	学校保健の関連法規、制度・政策 SBOs1,2	品田 佳世子	課題、課題発表を 設ける
5	11/28	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 1	保健医療サービスにおける専門 職の役割、多職種連携 SBOs5,6	伊藤 奏	課題、課題発表を 設ける
6	11/28	10:00-10:50	遠隔授業	保健医療サービス関連	高齢者福祉・介護と保険医療サー	伊藤 奏	課題、課題発表を

			(非同期型)	の政策動向 1	ビス SBOs1,2,5,6		設ける
7	11/28	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 5	高齢者福祉・介護と保険医療サー ビス SBOs1,2,5,6	伊藤 奏	課題、課題発表を 設ける
8	12/5	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 6	産業保健の概要と関連法規、制 度・政策 SBOs1,2	品田 佳世子	課題、課題発表を 設ける
9	12/22	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 1	医療保険の種類と仕組み 1 SBOs4	五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
10	12/22	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 2	医療保険の種類と仕組み 2 SBOs4	五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
11	12/22	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 3	診療報酬制度の概要 SBOs4	五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
12	1/17	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 4	医療保険の関連制度 SBOs4	五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
13	1/17	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 5	医療費の範囲と動向 SBOs4	五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
14	1/17	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	インフォームドコンセ ントの概要	関連制度、自己決定、自立尊重の 原理について SBOs7	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
15	1/23	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 1	病院における MSW の役割 SBOs5, 6	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける 病院 MSW による講義
16	1/23	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策 SBOs1	岡田 幸之	課題、課題発表を 設ける
17	1/23	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策 SBOs1	岡田 幸之	課題、課題発表を 設ける
18	1/24	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 2	がん相談支援における MSW の役 割 SBOs5, 6	山田 麻記子, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
19-21	1/27	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生士にとっての 保健医療サービス 1	地域行政における保健医療サー ビス SBOs5, 6	日高 玲奈, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
22	1/30	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 11	障害者福祉・児童福祉と保健医療 サービス SBOs1, 2, 5	岡光 基子	課題、課題発表を 設ける
23	1/30	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 11	障害者福祉・児童福祉と保健医療 サービス SBOs1, 2, 5	岡光 基子	課題、課題発表を 設ける
24	1/30	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 3	災害時における MSW の役割 1 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける

			型)				
25-27	1/31	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生士にとっての 保健医療サービス2	病院における保健医療サービス SBOs5, 6 ミーティング ID: 951 7017 1497 パスコード: 090230	日高 玲奈 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
28	2/6	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	保健医療サービスにお ける専門職4	災害時におけるMSWの役割2 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける
29	2/6	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	保健医療サービスにお ける専門職5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける
30	2/6	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	保健医療サービスにお ける専門職5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける

授業方法

遠隔授業(Webclassによる非同期型遠隔講義)を原則とする。指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答する。

WebClass上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

講義に課されるレポートや、期末の筆記試験で総合的評価を行う。

授業内容について十分に理解できていること、授業内容と歯科衛生士としての働きを関連付けて考えられているものをより評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合はBより上とする。

準備学習等についての具体的な指示

非同期型の遠隔講義であるので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業については、授業への出席状況は成績付与の参考とするが、定期試験の受験要件には用いない。

遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

歯科衛生士のための衛生行政社会福祉社会保険／末高武彦著,末高, 武彦,: 医歯薬出版, 2021

参考書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み／石井, 拓男,全国歯科衛生士教育協議会,: 医歯薬出版, 2018

履修上の注意事項

遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。講義内容等の質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022225					
科目名	歯科保存学		科目ID	DH-251401-L		
担当教員						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名:臨床歯科医学 時間数:30 時間 必要自習時間:40 時間 授業形態:演習・講義 下記、教科書(教本)2 冊は、必ず購入すること。 コロナウイルス対策により、歯周病学は WebClass に全 10 章分の講義動画をアップしましたので、各自勉強しておいてください。現在のところ、6/4、7/1 15:00-16:50 は、演習、小テストを行う予定です。成績に加味しますので、頑張ってください。						
主な講義場所 ZOOM 形式(同期・非同期)						
授業の目的、概要等 保存系歯科医学の内容を理解し、保存系歯科医療におけるチームアプローチを実践するために必要な知識を修得する。						
授業の到達目標 ・歯の硬組織疾患を説明する。 ・う蝕のリスクファクターと診断法、病理と処置法を説明する。 ・窩洞の分類と修復物の理想的臨床形態を説明する。 ・コンポジットレジン修復を説明する。 ・歯科用セメントの種類と使用目的を説明する。 ・アマルガム修復を説明する。 ・メタルインレー修復を説明する。 ・審美的間接法修復を説明する。 ・う蝕の保存修復治療に必要な器具、器材、前準備、ならびに術後管理を説明する。 ・歯髄保存療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯髄除去療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・感染根管治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・根管充填法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯内治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯周基本治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯周治療の種類、目的、器具、器材、前準備を説明する。 ・歯周治療におけるメンテナンスの内容、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/19	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周病の概説及び病因 歯周組織の構造、歯周組織検査と診断	歯周病とはどのような疾患か(正常歯周組織との相違)、またその原因やリスクファクターについて学ぶ 歯周組織検査の種類、目的、必要な器具・機材について学ぶ	荒川 真一
3-4	5/26	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	スケーリング・ルートプレーニング 1、2	スケーリングとルートプレーニングの目的、手技の相違点について学ぶ スケーリングとルートプレーニングに必要な器具・器材について学ぶ	荒川 真一

5	5/27	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患 う蝕のリスクファクターと診断	井上 剛
6	5/27	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	保存修復治療	う蝕の病理と処置法 窩洞の分類、修復物の形態学	井上 剛
7	6/2	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周外科	歯周外科の種類、それぞれの目的、必要な器具・機材について学ぶ	荒川 真一
8	6/2	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周外科	歯周外科の種類、それぞれの目的、必要な器具・機材について学ぶ	荒川 真一
9-10	6/2	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周外科	歯周外科の種類、それぞれの目的、必要な器具・機材について学ぶ 再生療法について学ぶ	荒川 真一
11	6/3	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	成形充填修復 1	成形充填修復の流れ コンポジットレジン修復	井上 剛
12	6/3	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	成形充填修復 2	歯科用セメント	井上 剛
13	6/9	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	咬合性外傷 咬合調整・固定	咬合性外傷の原因と症状 咬合調整・固定のそれぞれの目的、必要な器具・器材について学ぶ	荒川 真一
14	6/9	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	根分岐部病変 習癖 メインテナンスと SPT	根分岐部病変の分類、習癖の種類とその為害作用 メインテナンスと SPT の違い、それぞれの処置内容について学ぶ	荒川 真一
15	6/9	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯内治療	歯内治療概説 歯髄保存治療法の種類・目的 器具・器材の準備	興地 隆史
16	6/10	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	成形充填修復 3	歯科用セメント、アマルガム修復	井上 剛
17	6/10	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	鑄造修復 1	間接法修復治療の流れ メタルインレー修復、審美的間接法修復	井上 剛
18-19	6/17	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	鑄造修復 2	間接法修復治療の流れ メタルインレー修復、審美的間接法修復	井上 剛
20-21	6/23	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類・目的 器具・器材の準備	興地 隆史
22	6/24	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	ケーススタディー	う蝕保存修復歯科治療における診療の流れと器材の準備 治療計画とメインテナンス	井上 剛
23	6/24	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	ケーススタディー	う蝕保存修復歯科治療における診療の流れと器材の準備 治療計画とメインテナンス	井上 剛
24-25	7/7	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	感染根管治療	感染根管治療の種類・目的 器具・器材の準備	興地 隆史
26	7/14	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	根管充填法	根管充填法および外科的歯内治療の種類・目的 器具・器材の準備	興地 隆史
27	7/14	13:50-14:40	遠隔授業	根管充填法	根管充填法および外科的歯内治	興地 隆史

			(非同期型)		療の種類・目的 器具・器材の準備		
28	7/14	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	ケーススタディ	歯内治療における診療の流れと 器材準備	興地 隆史	
29	7/14	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	ケーススタディ	歯内治療における診療の流れと 器材準備	興地 隆史	
授業方法 ZOOM 形式(同期・非同期)							
授業内容 授業日程を参照のこと。							
成績評価の方法 ・出席状況、討論内容・態度、定期試験結果で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。							
成績評価の基準 ・出席状況(10%)、討論内容・態度(10%)、定期試験結果(80%)を以って成績判定を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 教本、事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 規定の出席日数(2/3 以上)を満たす。							
構成ユニット 保存修復学、歯周病学、歯内療法学							
モジュールの単位判定 期末試験結果および出席状況を勘案して決定する。							
教科書 歯周病学／申基結ほか著, 申 基結, 医歯薬出版, 2021 保存修復・歯内療法：歯の硬組織・歯髄疾患／千田彰, 中村洋 [ほか]著, 千田 彰, 中村, 洋(歯学), 医歯薬出版, 2021 歯周病学／沼部幸博, 齋藤淳, 梅田誠編集委員, 沼部 幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 永末書店, 2019							
参考書 PMI ペリオドンタルモチベーションインタビュー：患者さんのやる気が変わる！ スタッフも楽しくなる！ 歯周治療を成功に導く 世界標準のコミュニケーション技法／新田 浩 著・文・その他, 新田 浩 監修, 礪波健一 著・文・その他, 礪波健一 監修, 土岡弘明 著・文・その他, 土岡弘明 監修, 齋田寛之 著・文・その他, 酒井和人 著・文・その他, 関根 聡 著・文・その他, 竹内祥吾 著・文・その他, 武田浩平 著・文・その他, 中村一寿 著・文・その他, 奈良嘉峰 著・文・その他, 福場駿介 著・文・その他, 新田 浩, 礪波健一, 土岡弘明, 齋田寛之, 酒井和人, 関根 聡, 竹内祥吾, 武田浩平, 中村一寿, 奈良嘉峰, 福場駿介, クインテッセンス出版, 2020-02-10 歯周基本治療のレベルアップ POINT：臨床記録の読み方、症例の見方、骨欠損の治し方／片山奈美, 齋田寛之 著, 片山 奈美, 齋田 寛之, デンタルダイヤモンド社, 2019 ザ・ペリオドントロジー = The periodontology／沼部幸博, 梅田誠, 齋藤淳, 山本松男 編集主幹, 沼部 幸博, 1958-, 梅田 誠, 齋藤 淳, 永末書店, 2019 歯科衛生学辞典 = Dictionary of Dental Hygiene Science／全国歯科衛生士教育協議会 監修, 眞木吉信 ほか 編集, 眞木 吉信, 1954-, 全国歯科衛生士教育協議会, 永末書店, 2019 第五版 保存修復学 21 田上順次(監修), 奈良陽一郎(監修), 山本一世(監修), 齋藤隆史(監修)子 永末書店							
履修上の注意事項 教本、Webclass 上のスライドを用い事前学習をし、また講義終了後復習を行うこと。							
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。 ・講義内容について、演習、課題発表を行う。							

時間割番号	022226						
科目名	小児歯科学	科目ID	DH-251402-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床歯科学 ユニット名:小児歯科学 単位数:1(15 時間) 授業形態:遠隔講義(非同期、同期併用)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。							
授業の到達目標 SBOs 1.出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 2.小児の情緒と社会性の発達を理解する。 3.小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。 4.歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 5.顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 6.歯列咬合の発育過程を理解する。 7.小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。 8.歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 9.小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/26	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	小児歯科学概論 小児の成長・発達 1	小児歯科学とは。発育段階と口腔の変化。発育の概念、特徴。生理的年齢、器官の発育について。	岩本 勉	SBOs1,2
3	9/30	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の成長・発達 2	言語、情動、運動機能、哺乳・摂食・嚥下、社会性の発達、生理的特徴	岩本 勉	SBOs1,2,3
4	9/30	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面の発育	脳頭蓋、顔面頭蓋、上顎・下顎の発育	岩本 勉	SBOs4,5,6
5	10/4	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	歯の発育とその異常	乳歯、永久歯の特徴、歯の発生と形成異常	岩本 勉	SBOs4,5,6
6	10/4	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯列・咬合の発育と異常	歯の萌出、無歯期・乳歯列期・混合歯列期・永久歯列の特徴	岩本 勉	SBOs4,5,6
7	10/26	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	小児齲蝕の特徴	齲蝕の原因、特徴、為害作用	岩本 勉	SBOs4,5,6,7
8	11/1	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯冠修復、歯内療法	小児の歯冠修復の特徴と種類、乳歯および幼若永久歯の歯内療法	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8

9	11/1	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯周疾患、軟組織疾患	小児の歯周疾患の特徴、口腔軟組織の異常と疾患	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8
10	11/4	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	咬合誘導概論	咬合誘導とは、概念と種類	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8
11	11/4	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	保険+動的咬合誘導	保険装置の種類、目的、適応、動的咬合誘導装置の種類、目的、適応	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8
12	11/8	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	口腔習癖と筋機能療法	習癖の特徴と除去装置、筋機能療法	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8
13	11/8	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯の外傷	乳歯および永久歯外傷の問題点、処置法、予防法	岩本 勉	SBOs2,4,7,8,9
14	11/9	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	小児への歯科的対応法、小児歯科疾患の予防法と障害児への歯科治療	年齢別対応法、障害児への対応、フッ化ジアンミン銀、フッ素、シーラント、リコール	岩本 勉	SBOs1,2,3,4,7,8,9
15	11/29	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	小児の口腔健康管理	診療補助、チーム医療と役割、食生活指導	岩本 勉	SBOs1-9

授業方法

遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢、岩本より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢、岩本)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

学期末に定期試験を実施する。

各講義後に課題提出を求める。

同期型講義における演習時の評価や各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業は在宅学習によるため、教科書と講義資料を参照しながら授業に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。ただし、定期試験の受験要件には用いない。ただし、成績評価のためにも、同期型講義の日程はできる限り出席することが望ましい。

遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書 小児歯科／大嶋隆ほか著,大嶋, 隆,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2021
参考書 小児歯科学／白川哲夫, 飯沼光生, 福本敏編 ; 白川哲夫 [ほか] 執筆,白川, 哲夫,飯沼, 光生,福本, 敏,:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 遠隔授業に関して、周知されている注意事項に留意すること。 授業に関する質問は、科目責任者(樺沢・岩本)まで、メールにて遠慮なく行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 岩本 勉 小児歯科学・障害者歯科学分野 随時 iwamoto.dohs@tmd.ac.jp

時間割番号	022227						
科目名	歯科補綴学		科目ID	DH-251403-L			
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位							
授業形態: 講義							
担当教員: 金澤学、駒田亘、高草木謙介、猪原健、日高玲奈、松尾浩一郎							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型、非同期型)							
授業の目的、概要等							
・補綴歯科医療と補綴装置の特徴を理解し、補綴装置の予後管理に必要な口腔健康管理の知識を有する							
授業の到達目標							
・補綴歯科治療の意義と目的、種類と特徴を説明する。							
・補綴歯科治療に関連する顎口腔系の機能と形態を説明する。							
・冠橋義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。							
・有床義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。							
・補綴装置使用時における口腔の健康管理法を説明する。							
・超高齢社会の補綴歯科治療の特徴や現状を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と歯列の欠損、補綴装置の役割、種類と特徴	金澤 学	動画視聴後に Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2
2	10/11	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウンとその特徴 1	駒田 亘	動画視聴後に Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3
3	10/18	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴 2、冠橋義歯の材質	駒田 亘	動画視聴後に Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3
4	10/25	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特徴	駒田 亘	動画視聴後に Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3
5	10/25	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯による治療 1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、テンポラリークラウン、冠橋義歯の装着、仮着と合着	駒田 亘	動画視聴後に Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3
6	11/1	14:50-15:40	遠隔授業	冠橋義歯による治療 2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジ	駒田 亘	動画視聴後に

			(非同期型)		の失敗症例と対応方法、冠橋義歯のメンテナンス		Webclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3,5
7	11/1	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯による治療3	全部床義歯のケア、クラウンブリッジの失敗症例と対応方法	駒田 亘	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,3,5
8	11/8	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療1	全部床義歯の印象採得と咬合採得、筋圧形成による最終印象と咬合床による咬合採得	金澤 学	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
9	11/8	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療2	全部床義歯の咬合採得、咬合床による咬合採得	金澤 学	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
10	11/15	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療1	部分床義歯の印象採得と咬合採得の特徴、歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	高草木 謙介	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
11	11/15	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療2	歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	高草木 謙介	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
12	12/2	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療3	ゴシックアーチ、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、義歯安定剤とは	金澤 学	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
13	12/2	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療3	有床義歯の試適・装着・調整・患者指導、短期予後と長期予後、義歯の管理と支台歯のメンテナンス	高草木 謙介	動画視聴後にWebclass 上にて多肢選択式問題に回答 SBOs1,2,4,5
14	12/20	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	超高齢社会の補綴歯科治療1	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	日高 玲奈、 猪原 健	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,6
15	12/20	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	超高齢社会の補綴歯科治療2	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	猪原 健、 日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,6

授業方法

非同期型授業で実施する。Webclass 上に動画や講義資料等を掲載し、講義動画は復習に使用できるよう一定期間、閲覧可能な状態に置

いておくので、活用してほしい。 講義に関する質問等は、掲示板に記載していただければ、担当教員から回答する。講義の出欠状況については閲覧履歴で代替する。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 1) 出欠状況(動画の閲覧状況)を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の小テスト 15 点 3) 期末試験(多肢選択問題、応用記述問題含む) 85 点 応用記述問題で複数の意見や独自の考察がなされている場合に加点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／松村英雄: 永松書店, 2020
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022228		
科目名	口腔外科・歯科麻酔学	科目ID	DH-251404-L
担当教員			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する		
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:口腔外科・歯科麻酔学 単位数:1(15 時間) 授業形態:遠隔授業(Zoom またはウェビークラス遠隔講義併用)			
主な講義場所 在宅学習			
授業の目的、概要等 GIO 1. チーム医療を行なうにあたって、口腔外科学、歯科麻酔科学における必要な基礎的知識を習得する。 2. 患者急変時の対応についても必要な基礎的知識を習得する。			
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。 3. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。 4. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を説明できる。 5. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を説明できる。 6. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。 7. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を説明できる。 8. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を説明できる。 9. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を説明できる。 10. 唾液腺疾患の病因と病態について説明できる。 11. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。 12. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について説明できる。 13. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 14. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 15. 口腔外科を受診する患者、口腔がん患者の口腔保健管理について説明できる。 歯科麻酔 16. 麻酔の目的について説明できる。 17. 局所麻酔薬の薬理学作用と局所麻酔法の施術時の注意点を説明できる。 18. 全身麻酔の適応症と種類について説明できる。 19. 精神鎮静法の適応症と種類について説明できる。 20. バイタルサインの項目や、測定法を説明できる。 21. バイタルサインの測定を実施できる。 22. 安全で快適な歯科治療のための各種方法を説明できる。 23. 歯科治療時の偶発症とその対策について説明できる。 救命救急処置 24. 一次救命処置の手順を説明できる。 25. 一次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 26. 二次救命処置の手順を説明できる。			

27. 二次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。
28. AED の取り扱いを実施できる。
29. 神経性ショックを説明し、患者対応ができる。
30. 過換気症候群を説明し、患者対応ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/26	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	総論、先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標: 1, 2, 3
3	10/5	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標: 4, 5, 6
4-6	10/11	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾患 口腔粘膜疾患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司	到達目標: 7, 8
7	10/12	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	顎関節疾患、薬剤関連顎骨壊死	顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療、薬剤関連顎骨壊死について理解する	樺沢 勇司	到達目標: 14
8-10	10/18	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標: 9, 10, 11, 12
11	10/19	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科麻酔1、2	精神鎮静法、全身麻酔、局所麻酔、急変時対応、歯科治療時の偶発症への対応	樺沢 勇司	到達目標: 16, 17, 18, 19, 20-30
12-14	10/25	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理の実践と歯科衛生士の果たす役割について	樺沢 勇司、 関谷 秀樹	討論・演習を行う 到達目標: 15
15	12/21	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	口腔外科の診療補助について	拔牙や小手術について	樺沢 勇司	討論・演習を行う 到達目標: 1-15

授業方法

遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義(10月26日)においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。 講義動画は原則学期末まで公開する。
授業内容 授業スケジュールを参照
成績評価の方法 学期末に定期試験を実施する。 各講義後に課題提出を求める。 同期型講義における演習時の評価や、期末に定期試験を行い、各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 オンデマンドの遠隔講義が中心であるため、授業範囲について事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。
試験の受験資格 遠隔授業については、授業への出席状況は成績付与の参考とするが、受験要件には用いない。 ただし、Zoom による同期型講義には成績評価のためにも出席することが望ましい。 遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之 [ほか]執筆；松井恭平 [ほか]編集全国歯科衛生士教育協議会山根 源之,松井 恭平,:医歯薬出版, 2011
参考書 口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎, 升井一朗, 吉増秀實, 伊賀弘起 編池邊 哲郎, 1959-,升井 一朗,吉増 秀實, 1949-,:クインテッセンス出版, 2013 最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修榎本 昭二, 1936-,道 健一, 1936-,天笠 光雄, 1946-,:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022230						
科目名	臨床医学Ⅰ	科目ID	DH-251501-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床医学 ユニット名:臨床医学1 単位数:2(30 時間) 授業形態:遠隔授業(ウェブクラスによる非同期型遠隔講義)							
本講義は 3 年前期で行なわれる臨床医学Ⅱと併せて、基礎疾患をもつ患者に対しての適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の修得を目指している。							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働について考える。							
授業の到達目標 SBOs 1. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な呼吸器内科疾患の基本的知識を習得する。 2. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な循環器内科疾患の基本的知識を習得する。 3. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な内分泌・代謝内科疾患の基本的知識を習得する。 4. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器内科疾患の基本的知識を習得する。 5. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な神経変性疾患の基本的知識を習得する。 6. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な腎臓内科疾患の基本的知識を習得する。 7. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な血液内科疾患の基本的知識を習得する。 8. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な膠原病・リウマチ内科疾患の基本的知識を習得する。 9. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な脳神経外科疾患の基本的知識を習得する。 10. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な乳腺外科疾患の基本的知識を習得する。 11. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な整形外科疾患の基本的知識を習得する。 12. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器外科疾患の基本的知識を習得する。 13. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な婦人科、産科疾患の基本的知識を習得する。 14. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な精神科疾患の基本的知識を習得する。 15. 臨床医学を学び、患者さんの全身的疾患を理解した上で、適切な口腔健康管理について検討することができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/21	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	整形外科(神経系)疾患について	整形外科(神経系)の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	平井 高志 樺沢 勇司	到達目標:11 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
2-3	1/11	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	精神科疾患について1	精神科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	杉原 玄一 樺沢 勇司	到達目標:14 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
4	1/18	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	精神科疾患について2	精神科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司 杉原 玄一	到達目標:14 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う

							識の確認を行う
5	2/1	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	婦人科・産科疾患について	妊娠、出産の機序・診断・身体の変化や歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、 廣瀬 明日香	到達目標:13 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
6-7	2/1	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	婦人科・産科疾患について	不妊治療、異常妊娠、婦人科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、 中筋 貴史	到達目標:13 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
8	2/1	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	婦人科・産科疾患について	性感染症における歯科診療に必要な知識	増田 美香子、 樺沢 勇司	到達目標:13 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
9	2/2	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生士に必要な医学知識とは	歯科診療に必要な医学的知識について	沼沢 祥行、 樺沢 勇司	到達目標:15 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う。
10	9/26	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	神経変性疾患について	神経変性疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	桑原 宏哉、 樺沢 勇司	到達目標:5 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
11-12	10/5	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	呼吸器疾患について	呼吸器疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	立石 知也、 樺沢 勇司	到達目標:1 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
13-14	10/5	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	循環器疾患について	循環器系疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、 笹野 哲郎	到達目標:2 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
15-16	10/12	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	腎臓疾患について	腎臓疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	安藤 史顕、 樺沢 勇司	到達目標:6 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
17-18	10/19	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	内分泌疾患・代謝疾患について	内分泌疾患・代謝疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	村上 正憲、 樺沢 勇司	到達目標:3 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
19	10/19	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	血液内科疾患について	血液疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	山本 正英、 樺沢 勇司	到達目標:7 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
20-21	10/26	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	消化管疾患について	消化管疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、 清水 寛路、 北畑 富貴子	到達目標:4 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
22-23	11/2	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	脳神経外科疾患について	脳神経外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、 阿部 大数	到達目標:9 適 時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う

24-25	11/9	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	整形外科(関節系)疾患について	整形外科(関節系)疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 片倉 麻衣	到達目標:11 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
26	11/16	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	自己免疫疾患について	自己免疫疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 岩井 秀之	到達目標:8 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
27	11/16	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	食道外科疾患について	食道外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司	到達目標:12 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う 山口和哉先生の講義
28	12/7	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	胃外科疾患について	胃外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 谷岡 利朗	到達目標:12 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
29	12/7	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	大腸・肛門外科疾患について	大腸・肛門外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 花岡 まりえ	到達目標:12 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
30	12/14	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	肝・胆・膵外科疾患について	肝・胆・膵外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	石川 喜也, 樺沢 勇司	到達目標:12 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う
31	12/14	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	乳腺外科疾患について	乳腺外科疾患の発症機序・症状・診断・治療における歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司	到達目標:10 適時講義中、講義後に質問や知識の確認を行う 熊本裕一先生の講義

授業方法

遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心となる(同期型講義が実施される場合もあり、その場合には事前に連絡を行う)
2022 年 1 月 27 日午前 9 時～9 時 50 分は同期型遠隔講義を行います(可能な限り出席すること)。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

2 学年後期末に試験を行なう。

課題の提出状況と試験結果等をもって総合的に評価を行う。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 今年度は授業への出席状況は成績付与の参考とするが、受験要件には用いない。
モジュールの単位判定 学期末に筆記試験を行なう。 課題の提出状況と試験結果を総括的評価に加味する。
参考書 有病者歯科学：歯科衛生士必須／日本有病者歯科医療学会 編 今井裕 監修 今井 裕 日本有病者歯科医療学会：永末書店，2020 歯科衛生士のための口腔内科 = Oral Medicine for Dental Hygienist：全身と口腔をつなぐオーラルメディスン／山根源之，酒巻裕之，里村一人，野村武史 編著 山根 源之，1946-，酒巻 裕之，里村 一人，：医歯薬出版，2019 メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、 看護、医科臨床系教科書など
履修上の注意事項 遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022232						
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅰ	科目ID	DH-251601-L				
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
ユニット名:口腔疾患予防基礎学Ⅰ 科目名:口腔疾患予防学 時間数:2 単位 30 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業(Zoom による)							
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識を修得する。 ・地域保健、母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、国際保健等における口腔保健の関わりとその推進について理解する。							
授業の到達目標 1.歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 2.歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 3.セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 4.歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 5.う蝕発生のメカニズム、う蝕の発生要因とう蝕活動性試験について説明できる。 6.プラークコントロール、口腔清掃について説明できる。 7.歯科疾患の疫学および歯科保健関連指標について説明できる。 8.歯周疾患の予防について説明できる。 9.フッ化物の応用とう蝕予防について説明できる。 10.フッ化物の代謝と毒性について説明できる。 11.地域保健、母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、国際保健等における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。 12. 歯質損耗(tooth wear)、口臭症、その他の口腔領域の疾患・異常について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	保健生態学Ⅱ編 1章 ①歯・口腔の健康と予防、③歯・口腔の付着物・沈着物	保健生態学Ⅱ編 1章 ①歯・口腔の健康と予防、③歯・口腔の付着物・沈着物	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
3-4	4/18	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	2章 口腔清掃、1章③の小テスト・解説、演習(AL)	2章 口腔清掃、1章③の小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
5-6	4/25	15:50-17:40	遠隔授業	4章 う蝕の予防、3章の	4章 う蝕の予防、3章の小テスト・	品田 佳世子	WebClass の OH2

			(非同期型)	小テスト・解説、演習 (AL)	解説、演習(AL)		年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
7-8	5/2	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	5章 フッ化物によるう蝕予防 ①フッ化物応用～⑥フッ化物の毒性、4章の小テスト・解説、演習 (AL)	5章 フッ化物によるう蝕予防 ①フッ化物応用～⑥フッ化物の毒性、4章の小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
9-10	5/9	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	5章 ⑦フッ化物応用によるう蝕予防方法～⑨ライフステージに応じたフッ化物応用法、5章①～⑥の小テスト・解説、演習 (AL)	5章 ⑦フッ化物応用によるう蝕予防方法～⑨ライフステージに応じたフッ化物応用法、5章①～⑥の小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
11-12	5/10	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	6章 歯周疾患の予防 3章 歯科疾患の疫学(口腔保健に関する指標・インデックス含む)、5章⑦～⑨6章の小テスト・解説、演習 (AL)	6章 歯周疾患の予防 3章 歯科疾患の疫学(口腔保健に関する指標・インデックス含む)、5章⑦～⑨6章の小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
13-15	5/16	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編 1章地域保健・公衆衛生 ②地域保健の組織、③地域保健の新たな概念、Ⅱ編6章、3章、インデックスの小テスト・解説、演習 (AL)	Ⅲ編 1章地域保健・公衆衛生 ②地域保健の組織、③地域保健の新たな概念、Ⅱ編6章、3章、インデックスの小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
16-17	5/17	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編1章④地域保健活動の進め方、④地域保健活動の進め方、⑤健康づくり対策と地域歯科保健	Ⅲ編1章④地域保健活動の進め方、④地域保健活動の進め方、⑤健康づくり対策と地域歯科保健	品田 佳世子	非常勤講師の静間夕香(1時間)講義(Zoomによる講義の場合は掲示板に連絡)
18-20	5/20	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	2章 母子保健、1章②～⑤の小テスト・解説、演習 (AL)	2章 母子保健、1章②～⑤の小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
21-22	5/24	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	3章 学校保健、2章の小テスト・解説、演習 (AL)	3章 学校保健、2章の小テスト・解説、演習 (AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品

							田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
23-25	5/30	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	4章 成人保健、5章 産業保健	4章 成人保健、5章 産業保健 3章小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ。
26-27	5/31	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	Ⅱ編 7章 その他の疾患・異常の予防(特に口臭について)Ⅱ編 8章 ライフステージごとの口腔保健管理	Ⅱ編 7章 その他の疾患・異常の予防(特に口臭について)Ⅱ編 8章 ライフステージごとの口腔保健管理 Ⅲ編4章・5章の小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
28-30	7/4	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	6章 老人保健 7章 精神保健、8章 災害時の歯科保健 9章国際保健	6章 老人保健 7章 精神保健、8章 災害時の歯科保健 9章国際保健	品田 佳世子、 田中 健一、 戸田 花奈子	非常勤講師の田中健一(1時間)、戸田花奈子(1時間)講義
授業方法 非同期授業が主であり、WebClass のコース上に授業がアップされる。ただし、同期授業もあるので、その際は、WebClass の掲示板にて連絡する。小テスト、グループによる課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。							
授業内容 授業は到達目標が達成でき、知識を修得し、それに関して説明できるようにする。小テスト・解説を適宜行い、知識が確実に修得できるようにする。演習を行ったり、課題を課すことがあり、その際は、発表、ディスカッションを行う。さらに、演習をととして、基礎知識を応用する力を養う。							
成績評価の方法 課題レポート・小テスト、出席状況は 10%、期末の客観試験、記述試験 90%で総合的評価を行う。							
成績評価の基準 授業に関する知識が修得されていること(筆記試験 60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は課題内容と筆記試験の合計が 70 点以上とし、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 ・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業:同期 Zoom および非同期は WebClass にアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。							
教科書 保健生態学／可児徳子ほか著、可児 徳子、:医歯薬出版、2019 歯科予防処置論・歯科保健指導論／高阪利美ほか著、高阪 利美、:医歯薬出版、2020							
参考書 知って得した!う蝕予防に活かせるエビデンス／鶴本明久監著；荒川浩久 [ほか] 解説、鶴本 明久、荒川 浩久、岸 光男、品田 佳世子、田村 達二郎、文元 基宝、前田 伸子、:クインテッセンス出版、2009 このまま使える Dr.も DH も!歯科医院で患者さんにしっかり説明できる本：患者教育に重要なトピック 14／朝波惣一郎、伊藤加代子、井上 誠、北迫勇一、倉治ななえ、児玉実穂、小牧令二、品田佳世子、下野正基、代田あづさ、杉田典子、須崎明、関野愉、高木景子、高橋治、高橋未哉子、浪越建男、柳井智恵、吉江弘正 著、朝波 惣一郎、1941-、伊藤、加代子、井上 誠、1963-、:クインテッセンス出版、2017 ・フッ化物応用の科学/日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会 編 ・ずっとずっとじぶんの歯:児童・生徒向/丸森英史、竹内博朗 監修:少年写真新聞社、2007 ・歯が溶ける!:エロージョンの診断から予防まで/小林賢一 著:医歯薬出版、2009							
備考 田中健一(非常勤講師)1 時間:国際保健							

静間夕香(非常勤講師)1 時間: 地域保健、保健所について 戸田花奈子(非常勤講師)1 時間: 口腔疾患と全身疾患との関連 責任者: 品田佳世子 オフィスアワー: 随時、連絡先: shinada.pvoh@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 品田 佳世子: shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室

時間割番号	022233					
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅱ		科目ID	DH-251602-L		
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子[KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, SHINADA KAYOKO]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 口腔疾患予防学 ユニット名: 口腔疾患予防基礎学Ⅱ 時間数: 1 単位 30 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 講義・実習						
主な講義場所 臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業 (Zoom、WebClass)						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/14	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 実習の基 本 1	(AL) 実習の目的と基本事項 実 習使用器材の準備 実習室の使 い方	安達 奈穂子
3-4	4/21	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 実習の基 本 2	(AL) インストルメントの種類 位置と姿勢 インストルメント(診 査・検査器具、スケーラー)の基本 操作	安達 奈穂子
5-6	4/28	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インストル メンテーション 1	(AL) プローピング	安達 奈穂子
7-8	5/12	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床	講義・実習 インストル メンテーション 2	(AL) スケーラーについて スケ ーリングの基本操作	安達 奈穂子

			基礎実習 室			
9-10	5/19	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 3	(AL) 前歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
11-12	5/26	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 4	(AL) 前歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
13	6/6	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 5	(AL) スケーリング基本技術の評 価 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
14	6/9	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 6	(AL) スケーリング・ルートプレー ニングの基本操作 前歯部のス ケーリング・ルートプレーニング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
15	6/16	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 7	(AL) 前歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
16	6/23	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツル メンテーション 8	(AL) スケーリング基本技術の評 価 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
17	7/7	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 9	(AL) 臼歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
18	7/14	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 10	(AL) 臼歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
19	7/15	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 11	(AL) スケーリング基本技術の評 価 3	近藤 圭子, 安達 奈穂子
20	7/21	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 12	(AL) 臼歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
21	7/22	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 13	(AL) 臼歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
22	7/25	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	講義・実習 インスツ ルメンテーション 14	(AL) スケーリング基本技術の評 価 4	近藤 圭子, 安達 奈穂子

			室			
23	10/6	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 シヤープ ニング	(AL) シヤープニングの基本 シ ツクルスケーラー・グレーシーキ ュレットスケーラーのシヤープニン グ	近藤 圭子, 安達 奈穂子
24	10/12	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 歯面研磨 1	(AL) 歯面研磨に使用する器材と 取扱、方法	近藤 圭子, 安達 奈穂子
25-26	10/13	12:50-14:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 歯面研磨 2	(AL) 歯面研磨の実際 マネキン 実習	近藤 圭子, 安達 奈穂子
27	11/14	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 リスク評 価 1	(AL) う蝕、歯周病のリスクテスト	安達 奈穂子, 品田 佳世子
28	12/1	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	演習 リスク評価 2	(AL) リスクテスト結果に基づい たリスク評価	安達 奈穂子
29	1/11	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 15	(AL) 超音波スケーラーでのスケ ーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
30	1/17	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	講義・実習 インスツ ルメンテーション 16	(AL) 超音波スケーラーでのスケ ーリング 2	安達 奈穂子

授業方法

この科目は、実践的な実技に関わる講義を行う。基礎的な講義と実技実習を組み合わせた時間割構成となっており、講義と実習を別々には実施しない。

実技は積み重ねの特技修得のため、欠席があった場合、次の講義や実習ができないこともある。

授業内容

口腔疾患予防における実践的な技術に関わる基礎知識、方法、操作、応用についてレクチャーする。並行して口腔疾患予防基礎学Ⅰにおける知識が必要である。

本授業は、「口腔疾患予防基礎学実習」と連動している。

成績評価の方法

- ・定期試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。
- ・出席状況、実習態度などを総括的評価に加味する。

成績評価の基準

筆記試験については、試験毎に 60 点未満は不合格とする。

提出物の内容が不十分な場合は再提出を指示する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

課題を提出すること。

特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。 なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。 連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。 以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて補講等の対応を行うこととする。
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著：医歯薬出版、2020 ：医歯薬出版
参考書 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡアセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著、遠藤圭子、中垣晴男、西真紀子、眞木吉信、松井恭平、山根瞳、若林則幸 監訳：医歯薬出版、2015
他科目との関連 口腔疾患予防基礎学Ⅰ、口腔疾患予防基礎学実習と連動している。
履修上の注意事項 ・実習の際は身だしなみを整え、指定の白衣を着用すること。 ・授業毎に使用する器材を確認し、準備すること。 ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 実習およびAL(グループディスカッション、ケース演習など)を行う。 質問がある場合、 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。 遠隔授業(非同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。
連絡先(メールアドレス) 安達 奈穂子 adachi.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安達 奈穂子 メールで事前連絡してから訪問することを推奨 1号館8階814A研究室

時間割番号	022234					
科目名	口腔疾患予防基礎学実習		科目ID DH-251603-E			
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子, 塚本 恵 [KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, SHINADA KAYOKO, TSUKAMOTO Megumi]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 口腔疾患予防学 ユニット名: 口腔疾患予防基礎学実習 時間数: 45 時間×2 単位 90 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 講義・実習						
主な講義場所 臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業 (Zoom、WebClass)						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態を把握するためのアセスメント方法を修得する。 ・口腔疾患予防に必要なアセスメント、スケーリング、歯面清掃に必要な技術を修得する。						
授業の到達目標 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 実習の基本 1	(AL) 実習の目的と基本事項 実 習使用器材の準備	安達 奈穂子
2	4/21	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 実習の基本 2	(AL) 実習使用器材の取扱方法マ ネキンの取扱方法 インストルメ ントの基本操作 位置と姿勢	安達 奈穂子
3	4/28	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 1	(AL) プロービング	安達 奈穂子
4	5/12	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 2	(AL) スケーリングの基本操作	安達 奈穂子
5	5/19	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 3	(AL) 前歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子

6	5/26	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 4	(AL) 前歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
7-8	6/6	13:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 5	(AL) スケーリング基本技術の評 価1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
9-10	6/9	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 6	(AL) スケーリング・ルートプレー ニングの基本操作 前歯部のス ケーリング・ルートプレーニング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
11-12	6/16	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 7	(AL) 前歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
13-14	6/23	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 8	(AL) スケーリング基本技術の評 価 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
15-16	7/7	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 9	(AL) 臼歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
17-18	7/14	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 10	(AL) 臼歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
19-20	7/15	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 11	(AL) スケーリング基本技術の評 価 3	近藤 圭子, 安達 奈穂子
21-22	7/21	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 12	(AL) 臼歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
23-24	7/22	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 13	(AL) 臼歯部のスケーリング・ル ートプレーニング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子
25-26	7/25	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテ ーション 14	(AL) スケーリング基本技術の評 価 4	近藤 圭子, 安達 奈穂子
27-29	10/6	13:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 シャープニング	(AL) シャープニングの基本 シ ツクルスケーラー・グレーシーキ ュレットスケーラーのシャープニン グ	近藤 圭子, 安達 奈穂子
30-31	10/12	13:50-15:40	口腔保健	実習 歯面研磨 1	(AL) 歯面研磨に使用する器材と	近藤 圭子,

			学科臨床 基礎実習 室		取扱、方法	安達 奈穂子
32-33	10/13	14:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 歯面研磨 2	(AL) 歯面研磨の実際 マネキン 実習	近藤 圭子, 安達 奈穂子
34-37	11/14	13:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 リスク評価 1 相 互実習の準備	(AL) う蝕、歯周病のリスクテスト 相互実習について 実習で使用する 器材の準備	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子
38-42	11/21	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 1	(AL) アセスメント 1 (医療面 接・口腔内診査検査)	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子
43-47	11/28	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 2	(AL) アセスメント 2 (プラーク の付着・歯石の沈着状態の評価)	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子
48-49	12/1	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 リスク評価 2	(AL) リスクテスト結果に基づい たリスク評価の実践	安達 奈穂子
50-54	12/8	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 3	(AL) ハンドスケーリング上顎前 歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
55-59	12/15	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 4	(AL) ハンドスケーリング下顎前 歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
60-61	1/11	13:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 15	(AL) 超音波スケーラーでのスケ ーリング 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
62-66	1/12	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 5	(AL) ハンドスケーリング下顎臼 歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
67-69	1/17	13:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 16	(AL) 超音波スケーラーでのスケ ーリング 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子

70-74	1/19	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 6	(AL) ハンドスケーリング上顎臼 歯	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
75-79	1/23	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 7	(AL) 歯面研磨 1	近藤 圭子, 安達 奈穂子
80-84	1/26	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 8	(AL) 歯面研磨 2	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
85-89	2/2	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習 9	(AL) 処置後の評価(医療面接、 口腔内観察、検査)	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 塚本 恵
90	2/7	16:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 まとめ	(AL)実習の振り返り	近藤 圭子, 安達 奈穂子

授業方法

この科目は、実践的な実技に関わる講義をベースに実技を行う。基礎の講義の後、実技の実習を組み合わせた時間割構成となっているので、講義と実習を別々には実施しない。

実技は積み重ねの手法修得のため、欠席があった場合、次の講義や実習ができないこともある。

必ず、事前に連絡し、指示を仰ぐこと。

授業内容

口腔疾患予防における実践的な技術に関わる基礎知識、方法、操作、応用について基本的な知識をもとに実技の実習を行う。口腔疾患予防基礎学Ⅰ、口腔疾患予防基礎学Ⅱにおける知識が必要である。

成績評価の方法

- ・定期試験、実技試験及び提出レポート・課題により総合的に評価する。
実技試験を実施する場合もある
- ・出席状況、実習態度などを総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

実技試験をする場合は、80 点以上を合格とする。

試験の可否は試験毎に行い、不合格の者は 1 回の再試験を受けることができる。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義・実習の 3/4 以上出席すること。

各技術ステップを全て履修すること。

特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。

なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。

連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。

以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて補講等の対応を行うこととする。

教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2020 ：医歯薬出版
参考書 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳：医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡアセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳：医歯薬出版, 2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳：医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳：医歯薬出版, 2010 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳：医歯薬出版, 2015
履修上の注意事項 ・実習の際は身だしなみを整え、所定の白衣およびユニフォームを着用すること。 ・授業毎の使用器材を確認し、準備すること。 ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 AL(実習、演習) 質問がある場合、 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。 遠隔授業(非同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。
連絡先(メールアドレス) 安達 奈穂子 adachi.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨 1 号館 8 階 814A 研究室

時間割番号	022236						
科目名	健康教育の基礎 I	科目 ID	DH-231701-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
コマ数:15 必要自習時間:1 コマにつき 1~3 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 Webclass、Zoom 臨床基礎実習室							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な基本的知識・技術を修得する。							
授業の到達目標 1.歯科保健指導・健康教育の概念を説明する 2.行動変容に関する理論を説明する 3.歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する 4.地域保健活動の概要を説明する。 5.小学校や幼稚園における健康教育の実際について見学し、課題と対応策を討議する。 6.患者医療者関係を理解する 7.医療現場で働く他職種のメンバーを尊重する姿勢を有する 8.議論において必要な情報を共有し、協調し、また場合に応じてリーダーシップを発揮し、建設的な議論を促進する 9.歯科衛生的問題だけにとらわれず、患者中心の医療を行うための全人的視点を身に着ける							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	09:00-09:50	遠隔授業(同期型)	健康教育の基礎 1	ガイダンス	吉田 直美	到達目標 1 https://zoom.us/j/97298834249 ミーティング ID: 972 9883 4249 パスコード: 176252
2	4/12	09:00-09:50	遠隔授業(非同同期型)	健康教育の基礎 2	歯科保健指導・健康教育の定義、発達段階について	吉田 直美	到達目標 1
3	4/19	09:00-09:50	遠隔授業(非同同期型)	健康教育の基礎 3	学童期の特徴と健康教育	吉田 直美	到達目標 5
4	5/10	10:00-10:50	遠隔授業(非同同期型)	健康教育の基礎 4	保健行動にかかわる理論1	吉田 直美	到達目標 2
5	5/17	10:00-10:50	遠隔授業(非同同期型)	健康教育の基礎 5	保健行動にかかわる理論2	吉田 直美	到達目標 2
6	5/24	10:00-10:50	遠隔授業(非同同期型)	健康教育の基礎 6	地域保健活動の概要	吉田 直美	到達目標 4
7	5/24	11:00-11:50	遠隔授業	健康教育の基礎 7	①口腔清掃法 ②口腔清掃	吉田 直美	到達目標 3

			業(非同 期型)		用具		
8	6/7	13:00-13:50	遠隔授 業(同期 型)	健康教育の基礎 8 AL	歯ブラシと歯磨剤および歯垢 染色についてL	吉田 直美	到達目標 3 https://zoom.us/j/91421754152 ミーティング ID: 914 2175 4152 パスコード: 577555
9-11	6/14	09:00-11:50	遠隔授 業(同期 型)	チーム医療の導入 AL	医歯看護との合同授業	吉田 直美 樺沢 勇司	到達目標 7, 8, 9
12-13	6/22	10:00-11:50	遠隔授 業(同期 型)	健康教育の基礎 9	まとめ	吉田 直美	到達目標 3 https://zoom.us/j/97696266257 ミーティング ID: 976 9626 6257 パスコード: 544178
成績評価の方法 ・授業内での課題 80%および小テスト 20%で総括的評価を行う ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 2/3 以上の出席							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, 医歯薬出版, 2020							
備考 演習、実習							

時間割番号	022237						
科目名	健康教育の基礎Ⅱ	科目ID	DH-231702-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
コマ数:45 コマ 必要自習時間数:1 コマ当たり1 時間程度 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所 臨床基礎実習室、相互実習室、情報検索室など							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業の到達目標 1. 上級生とコミュニケーションをとり、わからないことを質問する。 2. 小学校における健康教育の実践の流れを説明する。 3. 日本の歯磨剤の概要を説明する 4. 電動歯ブラシの仕組みを説明し、適切に使用する。 5. メーカーによる電動歯ブラシの特徴、使用感の違いを説明する 6. 日本語並びに英語の科学的根拠となる文献を検索する。 7. ライフステージ別の口腔健康課題への解決方法を説明する。 8. 生活と健康行動の関連を説明する。 9. 対象をアセスメントするために必要な基本的知識を説明する。 10. 口腔内写真を撮影する。 11.口腔内写真から読み取れる情報を述べる。 12.効果的に健康教育をおこなうためのポイントを説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/23	14:50-16:40	口腔保健 学科第3 講義室	健康教育の実践	3年生との交流 T 小学校健康教育準備	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 1、2
3-5	6/2	09:00-11:50	その他	健康教育の実践	T 小学校健康教育実習見学	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 2
6-7	10/11	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	電動歯ブラシ1実習(GC)	吉田 直美	目標 4.5
8	10/11	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	ライフステージ別健康課題の進め方 今後の予定	吉田 直美	
9-10	10/13	10:00-11:50	情報検索 室	文献検索	医中誌	吉田 直美	目標 6 渋川氏 木下先生については確認中
11-12	10/20	10:00-11:50	情報検索 室	文献検索	PubMed	吉田 直美	目標 6 渋川
13-14	10/20	12:50-14:40	情報検索 室	健康教育の基礎	ライフステージ別健康課題についての文献検索	吉田 直美	目標 6, 7, 8, 9, 12
15-16	11/8	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	歯磨剤について 歯磨き工業会 市橋透講師	吉田 直美	目標 3 h
17-19	11/10	09:00-11:50	遠隔授業	健康教育の基礎	ライフステージ別健康課題発表	吉田 直美	目標 6, 7, 8, 9,

			(同期型)				12
20-23	11/10	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	ライフステージ別健康課題発表	吉田 直美	目標 6, 7, 8, 9, 12
24-25	11/18	10:00-11:50	その他	健康教育の基礎	口腔衛生用具の選択	吉田 直美	GC
26-28	11/22	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	口腔内写真撮影	鈴木 瞳 吉田 直美 安達 奈穂子	目標 10, 11
29-31	11/24	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	健康教育の基礎	電動ブラシ2 実習(ソニックケア)	吉田 直美	目標 4.5
32-36	12/1	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	健康教育の基礎	口腔内写真撮影 写真整理	鈴木 瞳 吉田 直美 安達 奈穂子	目標 10, 11
37-38	12/15	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	健康教育の基礎	口腔内写真撮影 写真整理	鈴木 瞳 吉田 直美	目標 10, 11
39-40	12/16	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	健康教育の基礎	卒業研究発表会	吉田 直美	
41-43	1/18	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	健康教育の実践	健康教育の計画(過去のビデオと媒体の確認 グループ・役割決め)	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 2, 7, 8, 12
44-45	1/25	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	健康教育の実践	健康教育の計画(テーマ/調査)	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 2, 7, 8, 12

成績評価の方法

課題 20%、期末の試験 80%で総合的評価を行う。受講態度、出席状況、TOFLE の結果等を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

4 分の 3 以上の出席

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2020

備考

実習、演習

時間割番号	022239						
科目名	食生活教育		科目ID	DH-231800-L			
担当教員	品田 佳世子, 豊島 瑞枝[SHINADA KAYOKO, TOYOSHIMA MIZUE]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:食生活教育 時間数:30 時間 1 単位 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所 遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業(Zoom による)							
授業の目的、概要等 栄養と代謝の知識を基に、健康を維持するための栄養と食生活について、国民健康・栄養調査、食事摂取基準等を理解し、食育・食生活教育に必要な知識と技能を修得する。							
授業の到達目標 1.栄養や食生活に関する国の取り組み(健康日本 21 第 2 次栄養・食生活)について説明できる。 2.日本人の食事摂取基準について説明できる。 3.健康づくりのための食育の必要性を説明できる。 4.日本人の食生活の現状(国民健康・栄養調査)について説明できる。 5.ライフステージに適した食生活について説明できる。 6.各 6. 7.口腔保健における食生活指導の意義を理解できる。 8.歯科疾患と栄養のと口腔保健の関連を説明できる。 10.う蝕と発酵性糖質、代用甘味料との関係について説明できる。 保健機能食品等について説明できる。 11.全身及び口腔の疾病と食生活指導の必要性を理解できる。 12.個人の栄養・食事バランスを分析できる。 13.自らの食生活の現状を知り問題および課題を発見し、改善方法を説明できる。 14.事例検討を通し、口腔健康教育のひとつとして食生活教育を企画立案する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/10	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	食生活に関する総論	食生活に関する総論	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこ と。出席は視聴記録で確認する。
2	5/17	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	国民健康・栄養調査	国民健康・栄養調査	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこ と。出席は視聴記録で確認する。

3-4	5/25	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	健康日本21(第2次)栄養・食生活、食事摂取基準	健康日本21(第2次)栄養・食生活、食事摂取基準、国民健康栄養調査に関する小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
5-6	6/13	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	食生活指針、食事バランスガイド	食生活指針、食事場バランスガイド、健康日本21(第2次)栄養・食生活、食事摂取基準に関する小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
7-8	6/15	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	食育、食育基本法、食育推進計画	食育、食育基本法、食育推進計画	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
9-10	6/20	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	食育、各ライフステージ別食育と口腔保健について	食育、各ライフステージ別食育と口腔保健について	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
11-12	6/27	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	う蝕と食生活、う蝕の発生要因の中で食餌要因(発酵性糖質)	う蝕と食生活、う蝕の発生要因の中で食餌要因(発酵性糖質)、食育に関する小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
13-14	7/11	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	う蝕予防に関する食品、代用甘味料、健康食品：特別用途食品、特定保健用食品、保健機能食品、栄養機能食品、機能性表示食品	う蝕予防に関する食品、代用甘味料、健康食品：特別用途食品、特定保健用食品、保健機能食品、栄養機能食品、機能性表示食品、う蝕と糖質の小テスト・解説、演習	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
15-16	7/20	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科疾患と食生活・栄養、前期のまとめ	歯科疾患と食生活・栄養、前期のまとめの小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年前期のコースにアップ、質問は掲示板または品田へメールのこと。出席は視聴記録で確認する。
17-19	11/21	09:00-11:50	遠隔授業	前期の復習、病態栄養、	前期の復習、病態栄養、病院にお	品田 佳世子	大病院管理栄養

			(非同期型)	病院における食事、栄養について	ける食事、栄養について	豊島 瑞枝	養士の豊島瑞枝(2時間)講義。 WebClass の OH2 年後期のコースに資料・ビデオ授業アップ。
20-22	12/5	13:50-16:40	遠隔授業(非同期型)	病態栄養(続き)、食形態と咀嚼・嚥下	病態栄養(続き)、食形態と咀嚼・嚥下、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年後期のコースに資料・ビデオ授業アップ。
23	12/12	13:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	食事調査、課題説明	食事調査、課題、病態栄養および食形態等に関する小テスト・解説、演習(AL)	品田 佳世子	WebClass の OH2 年後期のコースに資料、課題説明をアップ。
24-26	1/10	12:50-15:40	遠隔授業(同期型)	地域の伝承料理や代々家庭に受け継がれてきた献立についての発表	地域の伝承料理や代々家庭に受け継がれてきた献立についての発表	品田 佳世子	Zoom 情報は WebClass の OH2 年後期のコースに資料と Zoom 情報をアップする。
27-28	1/12	10:00-11:50	遠隔授業(非同期型)	食品成分分析、食生活指導の課題	食品成分分析、食生活指導の課題	品田 佳世子	課題の自習
29-30	2/8	12:50-14:40	遠隔授業(非同期型)	食生活教育のまとめ	食生活教育のまとめ	品田 佳世子	WebClass の OH2 年後期のコースに資料・ビデオ授業アップ。

授業方法

非同期授業は WebClass のコース上に授業がアップされる。同期授業はシラバスまたは WebClass の掲示板で連絡する。小テスト、演習、レポート提出、課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。

授業内容

授業は到達目標が達成でき、知識を修得し、それに関して説明できるようにする。小テスト・解説を適宜行い、知識が確実に修得できるようにする。演習を行ったり、課題を課し、課題発表やレポートを評価する。さらに、演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。

成績評価の方法

演習の課題レポートおよび前期・後期の期末客観試験・記述試験で総合的評価を行う。
出席状況、グループ討論、発表の態度等を総合的評価に加味する。

成績評価の基準

前期・後期末の客観試験、論述試験は 80%、出席状況・課題提出・発表は 20%とし、総合的に評価し 100 点とする。60 点以上を合格、70 点以上(知識の修得ほぼ到達)を GPA の B 以上とする。GPA 以上は 80 点以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業・同期 Zoom および非同期は WebClass にアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。

教科書

人体の構造と機能 2 栄養と代謝／高橋信博、江指隆年 ほか著、医歯薬出版、2016
保健生態学／可児徳子ほか著、可児 徳子、医歯薬出版、2019

参考書

八訂食品成分表 2022／香川 明夫 監修,香川 明夫:女子栄養大学出版部, 2022-02-24
腎臓病食品交換表：治療食の基準／黒川清 監修,中尾俊之 編集代表,:医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

1 年生の栄養と代謝を復習しておくこと。

備考

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

後期に大学病院管理栄養士(豊島瑞穂)講義(2 時間)あり。

責任者:品田佳世子、オフィスアワー:随時、連絡先:shinada.pvoh@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室

時間割番号	022240					
科目名	生体材料学			科目ID	DH-231900-L	
担当教員						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 生体材料学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 WebClass						
授業の目的、概要等 顎口腔歯科領域の治療に使用される歯科生体材料の種類と使用法について学習する。						
授業の到達目標 1. 歯科生体材料の一般的性質を理解する。 2. 歯科生体材料の安全性について理解する。 3. 印象材の種類と使用方法について理解する。 4. 石膏の種類と使用方法を理解する。 5. セメント(合着用セメント、成形修復用セメント)の種類と使用方法について説明する。 6. 成形修復材料の種類と使用方法を説明する。 7. 歯科補綴装置(義歯、金属冠、セラミックス、インプラントを含む)に使用する材料の種類とその製法を概説する。 8. 矯正装置に用いる材料を理解する。 9. その他の歯科材料・器械について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/13	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	材料の基礎	・材料の物性評価 ・歯科衛生に関わる材料・器具	宇尾 基弘 伊藤 奏
4-5	4/15	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	印象材等	・印象材 ・模型材	宇尾 基弘 伊藤 奏
6-9	4/21	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	合着材、成形修復材、仮封材等	・合着材 ・成形修復材 ・仮封材 ・暫間修復材	宇尾 基弘 伊藤 奏
10-11	4/22	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	ワックス・レジン	・ワックス ・レジン	宇尾 基弘 伊藤 奏
12-13	4/28	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用合金等	・歯科用合金 ・セラミックス	宇尾 基弘 伊藤 奏
14-15	5/6	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	その他の材料	その他の材料	宇尾 基弘 伊藤 奏
授業方法 本授業は、原則非同期授業とする。指定された動画等を視聴し、指示にあるようにレポート課題を提出すること。						
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容を示している。						
成績評価の方法						

レポートおよび期末試験にて評価する。
成績評価の基準 レポート 20 点、期末試験 80 点で評価する。期末試験で得点が 6 割未満の場合は再試験を行う。
準備学習等についての具体的な指示 Webclass に講義資料等をアップするので、疑問点があれば質問すること。
試験の受験資格 原則、WebClass にてすべての講義動画の視聴およびレポート提出により試験の受験を認める。 明らかに教材の視聴が認められない場合は受験資格を満たさない。
教科書 歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
参考書 スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料／中畠裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事,中畠 裕,宮崎 隆, 1953-,米山 隆之,:学建書院, 2019
備考 授業担当教員:先端材料評価学分野 宇尾 基弘(uo.abm@tmd.ac.jp) ※原則質問はメールにて受け付ける。直接訪問する場合はメールでアポイントメントを取ること。

時間割番号	022241						
科目名	臨床検査			科目ID	DH-252000-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床検査 ユニット名:臨床検査 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(ウェブクラスによる非同期型遠隔授業)							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 口腔保健の実践に必要な臨床検査についての理論と実際を理解し、個々の対象者に応用できる問題解決能力を身につける。							
授業の到達目標 SBOs 1. 臨床検査の目的および意義を理解する。 2. 血液検査について理解する。 3. 口腔領域の検査について理解する。 4. 口腔病理検査について理解する。 5. 口腔領域のエックス線写真を読影できる。 6. 歯科金属アレルギー検査を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	12/21	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用金属アレルギー検査	歯科用金属アレルギー検査	三浦 宏之	到達目標:6 講義中に演習を行う
3-4	2/2	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	唾液腺および唾液の検査 口腔の検査	唾液腺および唾液の検査 口腔の検査	樺沢 勇司	到達目標:1-6 講義中に演習を行う
5-6	12/2	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	臨床検査概論、血液検査その1	臨床検査概論、血液検査その1	樺沢 勇司	到達目標:1, 2 講義中に演習を行う
7-9	12/6	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯と歯周組織の X 線診断 X 線写真の読影法等	歯と歯周組織の X 線診断 X 線写真の読影法等	中村 伸	到達目標:5 講義中に演習を行う
10-11	12/13	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	血液検査その2 肝機能検査、腎機能検査	血液検査その2 肝機能検査、腎機能検査	樺沢 勇司	到達目標:1, 2 講義中に演習を行う
12	12/20	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	血液検査その3 感染症検査	血液検査その3 感染症検査	樺沢 勇司	到達目標:1, 2 講義中に演習を行う
13	12/20	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	咀嚼機能検査	咀嚼機能検査	濱 洋平	到達目標:2 講義中に演習を行う
14-15	12/20	11:00-13:50	遠隔授業 (非同期型)	病理検査	病理検査	栢森 高	到達目標:4 講義中に演習を行う

授業方法 遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心となる(同期型講義が実施される場合もあり、その場合には事前に連絡を行う) 非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。 WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は榊沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。 講義についての質問も含めて担当教員(榊沢)までメールでも受け付ける。 講義動画は原則学期末まで公開する。
授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 学期末に定期試験を実施する。 講義後の課題レポートおよび定期試験結果を総合的評価に加味する。
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(榊沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 遠隔講義への出席状況は成績付与の参考とするが、定期試験の受験要件には用いない。 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(榊沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 臨床検査／井上孝ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,井上 孝,:医歯薬出版, 2012
参考書 :医歯薬出版
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(榊沢)までメールにて適時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 榊沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kbasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022243						
科目名	歯科診療補助論 I		科目 ID	DH-252101-Z			
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科診療補助論 I 時間数: 60 時間 授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所							
Zoom、WebClass、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
- 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 - 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 - 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。							
授業の到達目標							
- 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 - 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 - 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 - 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 - 印象材の種類とその特徴を説明する。 - 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療補助の概要	三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義	伊藤 奏	Zoom(講義・演習) WebClass: FOS22006 口腔保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 前期
3-4	4/6	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	感染予防 I	感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生	伊藤 奏	Zoom(講義・演習) WebClass: FOS22006 口腔保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 前期
5-6	4/11	15:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	感染予防 II	手指衛生、グローブ、エプロン、マスクの装着方法	伊藤 奏 鈴木 瞳	実習
7-8	4/12	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療における医療安全	医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理	伊藤 奏	Zoom(講義・演習・グループワーク) WebClass: FOS22006 口腔保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年

							前期
9-10	4/19	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	滅菌と消毒、医療廃棄物の 取り扱い	滅菌、消毒、洗浄の概念 歯科用 器材の滅菌と管理 医療廃棄物 の取り扱い	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
11-12	4/27	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療室の基礎知識	歯科診療室の環境、設備と構造	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習・グループワー ク) WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
13-15	4/27	14:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	歯科診療における患者 対応	歯科診療の流れと患者の接遇 医療者としての心構え	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習・グループワー ク) WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
16-19	5/11	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	医療面接	主訴、現病歴、既往歴について 医療コミュニケーション(良い例、 悪い例)	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習・グループワー ク) WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
20-23	5/18	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	診療器具の基本操作	講義と実習(マネキン) バキュー ム、ライティング、3way シリンジの 操作	伊藤 奏、鈴 木 瞳	実習
24-28	5/20	12:50-17:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習①:石膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱	塩沢 真穂 伊藤 奏	実習
29-32	5/27	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習②:石膏	練和溶液が石膏の効果に及ぼす 影響	塩沢 真穂 伊藤 奏	実習
33-36	6/3	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習③:印象	ハイドロコロイド印象材と模型の 再現性	塩沢 真穂 伊藤 奏	実習
37-39	6/8	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期)	歯科材料の取り扱いと 管理について	石膏、印象材、薬品等の管理と取 り扱い	伊藤 奏	WebClass: FOS22006 口腔

			型)				保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
40-43	6/10	12:50-16:40	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習④:印象	ゴム質印象材と模型の再現性	塩沢 真穂 伊藤 奏	実習
44-45	6/15	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	教材演習	シミュレーション教材の実施	伊藤 奏	WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
46-48	6/15	14:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	診療室の環境整備①	下拭き、中拭き、清拭の違い	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習・グループワー ク) WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
49-52	6/29	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	診療室の環境整備②	下拭き、中拭き、清拭について 考察	伊藤 奏	WebClass: FOS22006 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 前期
53-55	7/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室 外部病院 等	歯科用セメントの取り扱い①	グラスアイオノマーセメントの取 扱い実習(株式会社 GC)	伊藤 奏	実習
56-58	7/13	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科用セメントの取り扱い②	各セメントの特徴、違い、練和方法 等	伊藤 奏	実習
59-61	7/25	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	スキル評価(OSCE 方 式)	トレーセッティングから患者の導 入、位置と姿勢	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【同期授業】

同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を WebClass へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。

授業中、質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。

授業内で演習としグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 その他、「感染予防のための大学生活マニュアル」を参考に感染対策を徹底して臨むこと。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・筆記試験、提出課題の結果により総括的評価を行う。 ・出席状況および平常学習態度等を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 ・筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。 ・筆記試験と提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者は筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。 ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 1) 3 分の 2 以上の出席を満たしていることが条件である。 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3) Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 4) 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著,合場, 千佳子,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 2017 デンタルスタッフのクリニカルマナー : 歯科医院における受付・患者対応と事務／合場千佳子, 品田和美, 水木さとみ, 山根暉 編,合場, 千佳子,品田, 和美,水木, さとみ.: 医歯薬出版, 2018 歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬, 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会.: 医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022244						
科目名	歯科診療補助論Ⅱ	科目ID	DH-252102-Z				
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科診療補助論Ⅱ 時間数: 60 時間 授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所 Zoom、WebClass、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 - 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 - 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 - 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。							
授業の到達目標 - 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 - 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 - 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 - 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 - 印象材の種類とその特徴を説明する。 - 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	2/7	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	スキルチェック	各自練習	伊藤 奏	実習(基礎)
5-7	10/3	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施①	各種機器材の準備実習(リネン包み、滅菌パック)	伊藤 奏 日 高 玲奈	実習(基礎)
8-10	10/4	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実際②	診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)	伊藤 奏 日 高 玲奈	実習(基礎)
11-13	10/7	12:50-15:40	口腔保健	滅菌と消毒の実際③	相互実習シミュレーション 診療	伊藤 奏 安	実習(基礎)

			学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室		室の管理(トラップ清掃等)	達 奈穂子	
14-17	10/18	12:50-16:40	口腔保健 学科第4 講義室 その他	概形印象採得(マネキン)	アルジネート印象材と石膏の取り扱い	伊藤 奏	実習 (株)GC
18-20	10/21	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	医療安全管理	危険予知トレーニング、医療安全管理 相互実習マニュアル配布	伊藤 奏	Zoom(演習・グループワーク) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 後期
21-23	10/25	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(保存修復)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 後期
24-26	10/28	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	歯科疾患と全身疾患	課題演習	伊藤 奏	Zoom(演習・グループワーク)
27-29	11/1	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	バイタルサイン	バイタルサイン関連実習	樺沢 勇司、 伊藤 奏	実習(基礎) 秒 付き砂時計持参 (あれば)
30-32	11/7	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(歯内療法)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 後期
33-34	11/24	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯周疾患と全身疾患	課題発表	伊藤 奏	Zoom(課題発表)
35-38	11/29	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(歯周治療)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2022 年 後期
39-42	12/6	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習	器材試験 1	保存、歯内、歯周	伊藤 奏	実習(基礎)

			室 口腔 保健学科 第4講義 室				
43-45	1/10	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(歯科補綴 1)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 後期
46-48	1/18	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(歯科補綴 2・口腔外科 1)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 後期
49	1/20	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	障害者口腔保健センタ ーの予習	課題演習	伊藤 奏	WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 後期
50-52	1/24	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(口腔外科 2)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22010 口腔 保健衛生学専攻 2年授業 2022年 後期
53-57	1/25	12:50-17:40	外部病院 等	見学実習	障害者口腔保健センターの見学	伊藤 奏	実習(現地集合) 東京都立心身障 害者口腔保健セ ンター
58-60	1/26	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	器材試験 2(歯科補綴・ 口腔外科)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	実習(基礎)

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【同期授業】

同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を WebClass へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。

授業中、質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。

授業内でグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 その他、「感染予防のための大学生活マニュアル」を参考に感染対策を徹底して臨むこと。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 - 筆記試験の結果、器材試験の結果、提出課題により総括的評価を行う。 - 出席状況および平常学習態度等を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 - 筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。 - 筆記試験、器材試験、提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。 - 最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 - e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 - 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 - 欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席を満たしていることが条件である。 - 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 - Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 - 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 - 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著、:医歯薬出版, 2017 デンタルスタッフのクリニカルマナー : 歯科医院における受付・患者対応と事務／合場千佳子, 品田和美, 水木さとみ, 山根瞳 編,合場千佳子,品田, 和美,水木, さとみ,:医歯薬出版, 2018 歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義, 三浦英司 著,宮田, 孝義, 1946-,三浦, 英司, 1957-,:学建書院, 2018 歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／【編集委員】松村英雄 大久保力廣 二川浩樹 吉田直美:永末書店, 2020
履修上の注意事項 教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022246						
科目名	臨床口腔保健衛生実習 I			科目 ID	DH-252201-E		
担当教員							
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床口腔保健衛生実習 I 時間数:45 時間 授業形態:実習・演習							
主な講義場所 WebClass、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室、歯学科補綴実習室、スキルスラボ I・II							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理方法を説明する。 ・患者を安全に誘導する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/1	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	衛生材料の作製	綿球、ロールワッテ、小折ガーゼ 等作製実習	伊藤 奏	実習(基礎)
4-7	6/8	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	フォーハンドシステム	講義と実習(マネキン)、 トランス ファーゾーン、デンジャラスゾーン	伊藤 奏、安 達 奈穂子	実習(基礎)
8-11	7/6	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌物の取り扱い	リネン、滅菌パックの準備と取扱 い カスト、ピンセット、鉗子の取 り扱い	伊藤 奏、鈴 木 瞳	実習(基礎)
12-14	7/22	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	診療室の管理	ユニットの整備(トラップ、パキュ ーム装置の管理)	伊藤 奏、日 高 玲奈	実習(基礎)
15-19	10/17	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習	共同動作(相互実習 1)	姿勢と位置の確認、ライティング、 バキューム、3way シリンジの操作	伊藤 奏、鈴 木 瞳、松田 悠平	実習(相互)

			室 口腔保健学科相互実習室				
20-24	10/24	12:50-17:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 口腔保健学科第4講義室	共同動作(相互実習2)	フォーハンドテクニックの実際、器具の受け渡し	伊藤 奏 鈴木 瞳 松田 悠平	実習
25-29	11/4	12:50-17:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 口腔保健学科第4講義室	概形印象採得(相互実習・下顎)	アルジネート印象材と石膏の取り扱い	伊藤 奏 安達 奈穂子 鈴木 瞳 松田 悠平	実習
30-34	11/18	12:50-17:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	概形印象採得(相互実習・上顎)	アルジネート印象材と石膏の取り扱い	伊藤 奏 安達 奈穂子 鈴木 瞳 松田 悠平	実習
35-37	11/25	12:50-15:40	口腔保健学科第4講義室 その他(医学科)	頭頸部、顎関節、軟組織の評価	シミュレーターを用いた実習	樺沢 勇司、伊藤 奏	実習 M&DタワーB1 スキルラボ1
38-40	11/30	14:50-17:40	遠隔授業(非同期型)	課題演習	スキルラボの利用	伊藤 奏	WebClass: FOS22016 OH2-3 18期生 臨床基礎実習 2022-2024年度
41-42	12/19	10:00-11:50	口腔保健学科第4講義室 補綴実習室 口腔保健学科臨床基礎実習室	平行模型の作製	平行模型の作製実習	伊藤 奏 上條 真吾	持ち物: 上下顎模型、ワックスパイト、ゴーグル、マスク、筆記用具
43-45	12/19	12:50-15:40	口腔保健	平行模型の作製	平行模型の作製実習	伊藤 奏 上	持ち物: 上下顎模

			学科第4 講義室 補綴実習 室 口腔 保健学科 臨床基礎 実習室			條 真吾	型、ワックスパイ ト、ゴーグル、マ スク、筆記用具	
授業方法 非同期授業】 指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。 質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 その他、「感染予防のための大学生活マニュアル」を参考に感染対策を徹底して臨むこと。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。								
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。								
成績評価の方法 ・筆記試験、実技試験及び提出課題により総括的評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。								
成績評価の基準 ・筆記試験(歯科診療補助論Ⅰ・Ⅱに含む)により60点を超すことで試験は合格とする。60点以下の場合、再試験の対象となる。 ・必要に応じて実技試験を課す。 ・筆記試験、実技試験及び提出課題を適宜重み付けし、100点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は60点が最高点となるため注意すること。 ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。								
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learningに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learningへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。								
試験の受験資格 1)4分の3以上の出席を満たしていることが条件である。 2)非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3)実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5)授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。								
教科書 歯科診療補助論(第2版)/合場千佳子 ほか 著、医歯薬出版、2017								
参考書								

・ 器材準備マニュアル第 5 版 全国歯科衛生士教育協議会編 財団法人 口腔保健協会

履修上の注意事項

・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等を積極的に活用し、技術習得のため自己学習に励むこと。

時間割番号	022248						
科目名	歯科衛生過程の基礎	科目ID	DH-252301-L				
担当教員	吉田 直美[YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科衛生過程の基礎 時間数: 15 時間 授業形態: 講義 演習							
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 人々の健康ニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯科衛生過程の概念を説明する。 2. 歯科衛生過程の構成要素を説明する。 3. 歯科衛生過程の必要性と重要性を説明する。 4. 対象者の情報を分類・整理する。 5. 対象者の歯科衛生分野における問題を明確化し、優先順位をつける。 6. 明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 7. 歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 8. 歯科衛生評価を説明する。 9・ 下級生とコミュニケーションを通じて関係構築を行う 10. 歯科衛生活動と研究との関連性を説明する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/30	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生過程の概念 歯科衛生アセスメント	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程の構成要素、情報収集、情報処理(分類・整理・解釈・分析)	吉田 直美	目標1〜4 課題
3-4	11/15	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生アセスメントから評価まで AL	情報の統合・歯科衛生診断文 計画立案 業務記録 評価 課題の説明	吉田 直美	目標1〜8 課題
5-6	11/15	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生アセスメントから評価まで AL	情報の統合・歯科衛生診断文 計画立案 業務記録 評価 課題	吉田 直美	目標1〜8 課題
7-9	11/24	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生アセスメントから歯科衛生計画 AL	演習	吉田 直美	目標1〜7
10-12	12/13	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	1,2 年生合同授業 AL 歯科衛生過程まとめ	GW FB	吉田 直美	目標9
13-15	12/16	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究発表会	卒業研究発表会	吉田 直美	目標10 課題
成績評価の方法 課題レポート 80%、小テスト 20%で総括的評価を行う。受講態度・出席状況を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書							

歯科衛生過程 HAND BOOK : 歯科衛生士教育サブテキスト : やさしく学べる・これならわかる / 吉田直美, 遠藤圭子, 渡邊麻理, 鈴木純子 著, 吉田, 直美, 遠藤, 圭子, 渡邊, 麻理 : クインテッセンス出版, 2015
参考書 歯科衛生ケアプロセス / 下野正基 監修, 佐藤陽子, 齋藤淳 編著, 下野正基, 保坂誠, Ginny Cathcart 著, : 医歯薬出版, 2007 よくわかる歯科衛生過程 / 全国歯科衛生士教育協議会 編, : 医歯薬出版, 2015 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド / 佐藤陽子, 齋藤淳 : 医歯薬出版株式会社, 2015
備考 演習

時間割番号	022249						
科目名	児童・家庭福祉Ⅰ			科目ID	DH-292400-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 児童・家庭福祉Ⅰ 時間数: 15 時間 授業形態: 遠隔講義 (Zoom による同期型遠隔講義)							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。							
授業の到達目標 SBOs 1. 現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 2. ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 3. 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 4. 現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 5. 児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 6. 児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 7. 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 8. 児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の機序について説明できる。 9. 児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 10. 少年非行や社会的養護について説明できる。 11. 母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 12. 子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/17	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	現代社会と子ども、家庭	現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。到達目標:1,2	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
4-6	6/24	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。到達目標:3,4	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
7-9	7/1	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の機序について説明できる。 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 到達目標:5,6,7,8	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。

10-12	7/8	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと青少年育成保育	母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。障害・難病のある子どもと家庭への福祉サービスの種類やあり方について説明できる。到達目標: 9,10,11,12	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
13-15	7/15	13:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	子育て支援 ひとり親家庭の福祉	子育て支援に関する福祉サービスの種類やあり方について説明できる。ひとり親家庭への福祉サービスの種類やあり方について説明できる。到達目標: 5,6,9,11	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。

授業方法

遠隔授業 (Zoom による同期型遠隔講義) を原則とする。講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。
 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。
 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。
 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。
 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員 (樺沢) までメールにて連絡すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。

成績評価の基準

・「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。
 講義に関する質問については、科目責任者 (樺沢) までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格

本科目は定期試験は実施せず、講義中の演習等への取り組み、講義後に実施されるレポートや課題において総合的に評価を行う。成績評価のため全講義 15 時間の 2/3 以上出席することを原則とする。
 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者 (樺沢) までメールで必ず連絡をすること。

教科書

児童・家庭福祉／社会福祉士養成講座編集委員会編 社会福祉士養成講座編集委員会：中央法規出版、2019

履修上の注意事項

事前に指示した教材、事前に WebClass にアップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。講義に関する質問については、科目責任者 (樺沢) までメールにて適時行うこと。

備考

担当教員 (非常勤)
 雨宮由紀枝 日本女子体育大学

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022250						
科目名	障害児・者福祉Ⅰ			科目ID	DH-292500-L		
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子[NAKAYAMA Rena, YAMADA MIYOKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 山田美代子(西片医療福祉研究会)、日高玲奈、ほか							
主な講義場所 同期型(ZOOM)							
授業の目的、概要等 ・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。 ・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。							
授業の到達目標 ・医療従事者に必要な障害児・者福祉について理解できる。 ・国際的な障害の概念と障害者福祉制度の変遷と現代社会における障害者の福祉課題を理解できる。 ・障害者と家族の生き方や社会的役割、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理との関連を説明できる。 ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念を説明できる。 ・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方を理解できる。 ・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について(フィールドワークを通じて理解し)説明できる。 ・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/7	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	山田 美代子, 日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
4-6	6/21	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	山田 美代子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
7-9	6/28	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の理念1 障害者福祉の理念2	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH,ICF モデル 自立 生活運動と当事者活動 優生保 護法と障害者観	山田 美代子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,5,7
10-12	7/5	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の理念3 障害者福祉の理念4	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インク ルージョン理念と多様性の尊重	山田 美代子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,4,5,6
13-15	7/12	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ	障害者福祉制度の現状、改革 グ ループディスカッション	山田 美代子, 日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5,6,7

授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座8 障害者福祉／日本ソーシャルワーク教育学校連盟、: 中央法規出版, 2021
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022251						
科目名	地域福祉Ⅰ			科目ID	DH-292600-L		
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之, 小山 宰[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki, OYAMA Tsukasa]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 藤高直之(立正大学)、小山宰、日高玲奈、ほか							
主な講義場所 同期型、非同期型含む							
授業の目的、概要等 ・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。 ・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。							
授業の到達目標 ・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。 ・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。 ・地域福祉の歴史と発展に寄与した人物について説明できる。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂	藤高 直之 日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2
4-6	4/15	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の歴史的展開 とコミュニティケアの展 開	地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉、地域コミュニティ視点の登場	藤高 直之	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs3,4
7-9	4/22	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域福祉を支える組織	行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際	藤高 直之	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs4
10-12	5/6	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域連携	地域包括システム、地域住民を支える地域ネットワーク、地域福祉計画	小山 宰	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs5
13-15	5/13	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の現状と課題、まとめ	地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題	小山 宰	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs5
授業方法 各講義内で小テストやワークシートを用いた演習を実施する。 質問等は講義内、振り返りシート、メールにて随時対応します。							

授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加算対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制／日本ソーシャルワーク教育学校連盟：中央法規出版, 2021
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022252						
科目名	高齢者福祉Ⅰ				科目ID	DH-292700-L	
担当教員	日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 竹内 周平[NAKAYAMA Rena, MATSUO Kouichirou, Shuhei Takeuchi]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位							
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)							
担当教員: 松尾浩一郎、日高玲奈、清水行栄、竹内周平(竹内歯科医療院)ほか							
主な講義場所							
遠隔授業(非同期型)							
授業の目的、概要等							
・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者の特徴や社会情勢、高齢者の生活支援に必要な医療・保健・福祉の知識、生活機能や栄養など生活支援に必要な評価法を理解する。							
授業の到達目標							
・超高齢社会について説明できる。							
・高齢者の身体的・精神的特徴や高齢者に多い全身疾患や口腔の変化を説明できる。							
・高齢者の生活支援に必要な生活機能評価や栄養評価を説明できる。							
・包括的な高齢者支援を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	超高齢社会とは	高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義	日高 玲奈	SBOs1
2	4/11	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者医療保険福祉に関する法律 1	高齢者医療保険福祉の法体系と関連法規	日高 玲奈	SBOs1,4
3	4/11	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者医療保険福祉に関する法律 2	老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法	日高 玲奈	動画視聴後、振り返りシートを作成し提出すること SBOs1,4
4	4/18	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の居住と生活	高齢者の居住環境、生活環境	日高 玲奈	SBOs3
5	4/18	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	介護サービス 1	居宅サービス、施設サービス、介護予防サービス	日高 玲奈	SBOs3
6	4/18	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	介護サービス 2	居宅サービス、施設サービス、介護予防サービス	日高 玲奈	動画視聴後、振り返りシートを作成し提出すること SBOs3
7	4/25	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の栄養ケア	栄養ケアの実際	日高 玲奈	臨床栄養部 清水 行栄 先生 SBOs2
8	4/25	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の栄養管理	栄養評価法、必要栄養量、高齢者で不足しやすい栄養	日高 玲奈	臨床栄養部 清水 行栄 先生 SBOs2

9	4/25	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の食事・栄養と口腔機能	栄養サポートチーム(NST)と歯科医療	日高 玲奈	動画視聴後、振り返りシートを作成し提出すること SBOs2
10	5/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者の生活機能、認知機能の評価	ADL、IADL、ICF、ICIDH MMSE、HSDR、ウェクスラー知能検査、ADAS	松尾 浩一郎	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs2
11	5/9	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者の特性 1	身体・精神機能の変化 口腔機能の変化、高齢者の総合的理解	松尾 浩一郎	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs2
12	5/9	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者に多い全身疾患	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	松尾 浩一郎	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs2
13	6/29	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者福祉の実際 1	高齢者福祉の実際例	竹内 周平	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs4
14	6/29	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者福祉の実際 2	高齢者福祉の実際例	竹内 周平	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs4
15	6/29	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs4

授業方法

指定された動画ならびに講義資料等を閲覧し、振り返りシートを作成し提出してください。

質問等については振り返りシート及び担当教員へのメールにて随時対応する。講義動画は復習に使用できるよう一定期間 Webclass 上に閲覧可能な状態に置いておくので活用してほしい。出欠状況については全ての講義が修了する 5 月末までの講義閲覧記録をもとに評価を行う。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

成績評価の基準

- 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
 - 2) 各回授業終了後の振り返りシート、授業態度等 20 点
 - 3) 筆記試験(多肢選択問題、応用記述式問題含む) 80 点
- 振り返りシートや応用記述式問題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。

・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉／日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集,日本ソーシャルワーク教育学校連盟:中央法規出版, 2021 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著,:医歯薬出版, 2015
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022253						
科目名	介護福祉 I			科目 ID	DH-292800-L		
担当教員	日高 玲奈, 早田 雅美, 古屋 純一, 中澤 栄理[NAKAYAMA Rena, Masami Hayata, Junichi Furuya, NAKAZAWA Eri]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 古屋純一、日高玲奈、早田雅美(NPO 法人ハート・リング運動)、野村恭子、中澤栄理(特別養護老人ホームベタニアホーム)、ほか							
主な講義場所 遠隔授業(同期、非同期)、介護実習(相互実習室)							
授業の目的、概要等 ・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。							
授業の到達目標 ・介護と介護予防の概念、対象について説明できる。 ・生活支援に必要な介護の技術について説明できる。 ・認知症とその生活支援について説明できる。 ・介護の実例から社会における介護の問題点を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/23	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生活支援と介護 1	自宅での介護の実際	日高 玲奈, 早田 雅美	振り返りシートを作成し提出すること SBOs2, 3, 4
2	5/23	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生活支援と介護 2	自宅での介護の実際	日高 玲奈, 早田 雅美	SBOs1, 2, 3, 4
3	5/23	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生活支援と介護 3	介護に関わる多職種と連携の重要性	日高 玲奈, 早田 雅美	SBOs1, 2, 3, 4
4	5/30	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	介護の概念と対象	介護と介護予防の概念・理念と対象	日高 玲奈, 中澤 栄理	ケアプランを作成し提出すること SBOs1, 2, 3
5	5/30	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	ケアプランと自立支援	自立支援と介護過程	中澤 栄理	SBOs1, 2, 3
6	5/30	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	介護の実際	介護の実践	中澤 栄理	SBOs1, 2, 3
7	6/6	09:00-09:50	口腔保健 学科相互 実習室	生活支援技術 4	車いすの操作・介助方法、杖の種類および使用・介助方法	日高 玲奈	実習記録用紙とレポート課題を作成し提出すること SBOs2
8	6/6	10:00-10:50	口腔保健 学科相互 実習室	生活支援技術 5	車いすの操作・介助方法、杖の種類および使用・介助方法	日高 玲奈	SBOs2
9	6/6	11:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室	生活支援技術 6	車いすの操作・介助方法、杖の種類および使用・介助方法	日高 玲奈	SBOs2
10	6/13	09:00-09:50	遠隔授業	生活支援技術 1	口腔衛生・食事の看護と介護	日高 玲奈	振り返りシートを

			(同期型)				作成し提出すること SBOs1
11	6/13	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生活支援技術 2	身支度・移動・睡眠の看護と介護	日高 玲奈	看護部 野村恭子 先生 SBOs1,2
12	6/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生活支援技術 3	入浴・清潔・排泄の看護と介護	日高 玲奈	看護部 野村恭子 先生 SBOs1,2
13	6/20	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	介護の場における食支援 1	介護の場における食支援の実際	古屋 純一	振り返りシートを 作成し提出すること SBOs2,3
14	6/20	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	介護の場における食支援 2	介護の場における食支援の実際	古屋 純一	SBOs2,3
15	6/20	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	介護の場における食支援 3	介護の場における食支援の実際	古屋 純一	SBOs2,3

授業方法

6月6日は実習にて実施する。講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。

質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

- 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
- 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 20 点
- 3) 期末試験(多肢選択問題、応用記述問題含む) 60 点

振り返りシートやレポート課題、応用記述問題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉／日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集、日本ソーシャルワーク教育学校連盟：中央法規出版、2021

高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版、2015

履修上の注意事項

6月6日の介護実習は、相互実習室で実施する。ネームプレート、ユニフォームとナースシューズを着用し、実習時の身だしなみで集合すること。フェイスシールド持参すること。

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022254						
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅰ			科目ID	DH-242900-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
コマ数:15コマ 必要自習時間:1コマにつき1時間程度 授業形式:演習							
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室							
授業の目的、概要等 保健・医療・福祉に携わる専門職として、対象との信頼関係を構築するためにコミュニケーションスキルの基本知識、基本技術、基本的態度を修得する							
授業の到達目標 1 保健・医療・福祉サービスの専門職としての基本的態度・基本姿勢を説明する 2 保健・医療・福祉サービスの専門職としてのコミュニケーションにおける基本スキルを説明する 3 保健・医療・福祉サービスの専門職として有効なコミュニケーション方法を概説する。 4 保健・医療・福祉サービスの専門職として有効なコミュニケーションをとる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/11	1250-15:40	口腔保健学科 第3講義室	基本演習1	AL カウンセリング概説、基本スキル①	吉田 直美	目標1～4
4-6	4/18	1250-15:40	口腔保健学科 第3講義室	基本演習2	AL 基本スキル②	吉田 直美	目標1～4
7-9	4/25	1250-15:40	口腔保健学科 第3講義室	基本演習3	AL 基本スキル③	吉田 直美	目標1～4
10-12	5/9	1250-15:40	遠隔授業(同期型)	基本演習4	AL 基本スキル④	吉田 直美	目標1～4 https://zoom.us/j/99232865103 ミーティングID: 992 3286 5103 パスコード: 423471
13-15	5/16	1250-15:40	口腔保健学科 第3講義室	基本演習5	AL コーチング動機づけ面接	吉田 直美	目標1～4
成績評価の方法 ・授業内でのレポート 70%および小テスト 30%で総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							

試験の受験資格 2/3 以上の出席
教科書 みるみる身につく歯科衛生士のコミュニケーション力／中村千賀子, 吉田直美 著,,: 口腔保健協会, 2014
備考 演習

時間割番号	022255						
科目名	相談援助演習 I			科目 ID	DH-293000-S		
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30 時間 1 単位 授業形態: 演習 担当教員: 日高玲奈							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 ・対人援助職として社会福祉分野の相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							
授業の到達目標 ・相談援助の特徴を説明することができる。 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。 ・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べる事ができる。 ・相談援助と口腔保健における実践の関連性について関心をもち、調べ考えることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/21	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション 対人援助職に求められる相談援助技術とは	相談援助技術とは 演習の進め方についてのグループワーク	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1
3-4	10/28	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	専門職としての価値・倫理と自己覚知	事例検討、ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
5-9	11/11	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の基礎 I	言語・非言語コミュニケーション	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
10-11	12/9	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の基礎 II	面接技法について	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
12-14	12/13	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実際 I	グループワーク	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
15-17	1/20	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実際 I	グループワーク(アセスメント)	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
18-22	1/31	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実際 II	グループワーク	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび

							個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
23-27	2/3	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	グループワーク	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
28-30	2/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	まとめ	これまでのまとめ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
参考書 ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ／川村隆彦: 中央法規, 2011							
履修上の注意事項 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。							
備考 課題発表、グループワーク含む							

第 3 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022263						
科目名	歯科薬理・薬剤学	科目ID	DH-331105-L				
担当教員	田村 幸彦, 青木 和広, 大槻 昌幸, 小林 英文[TAMURA YUKIHIKO, AOKI KAZUHIRO, OTSUKI MASAYUKI, KOBAYASHI HIDEFUMI]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科薬理・薬剤学 ユニット番号: 3001 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・田村 幸彦							
主な講義場所 口腔保健学科 WebClass・Zoom 講義							
授業の目的、概要等 前半は 2 年生からの各論の続きを講義する。特に、呼吸器系薬、消化器系薬、内分泌系薬、悪性腫瘍治療薬、血液系薬、免疫系薬、歯科関連薬、漢方薬について学ぶ。 後半は総論的内容を講義する。 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得するが、特に、医薬品の剤形、処方箋や薬剤の保管方法、また、医薬品の関連法規および薬害について学び演習によるアクティブラーニングの実施をする。							
授業の到達目標 ・呼吸器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・消化器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・内分泌系薬物、ホルモン剤の種類と作用について概説できる。 ・悪性腫瘍治療薬の種類と作用について概説できる。 ・血液・造血系に作用する薬物について概説できる。 ・免疫系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・歯科用医薬品の特徴および使用の留意点について概説できる。 ・歯内療法薬、歯周疾患治療薬の種類と作用について概説できる。 ・病原微生物作用薬(消毒薬・化学療法薬)の種類と作用について概説できる。 ・漢方薬物療法について概説できる。 ・医薬品の剤形、処方箋および保管方法について概説できる。 ・薬事関連法規について概説できる。 ・臨床試験と薬害について概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/26	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬	青木 和広	FOS22002 OH3 歯科薬理・薬剤学 2022 の小テストを行うこと。
2	5/10	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦	
3	5/10	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	血液と薬物	局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広	FOS22002 OH3 歯科薬理・薬剤学 2022 の小テストを行うこと。。
4	5/17	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作	田村 幸彦	

					用薬		
5	5/17	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	局所麻酔薬	局所麻酔薬	青木 和広	FOS22002 OH3 歯科薬理・薬剤学 2022 の小テストを 行うこと。
6	5/24	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	漢方薬物療法	漢方薬	田村 幸彦	FOS22002 OH3 歯科薬理・薬剤学 2022 の小テスト を行うこと。
7-8	5/31	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療 悪性腫瘍治 療薬	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬 化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬	田村 幸彦	
9-10	6/7	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	感染と薬物 1, 2	消毒薬、抗菌薬(抗生物質、抗真 菌薬、抗結核薬、抗ウィルス薬)	田村 幸彦	FOS22002 OH3 歯科薬理・薬剤学 2022 の小テストを 行うこと。
11-12	6/14	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	医薬品の分類・薬事関 連法規	薬機法、日本薬局方及び局方薬、 毒薬劇薬、麻薬、向精神薬、覚せ い剤、医薬部外品、化粧品	小林 英文	
13-14	6/28	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	薬物の取り扱い・服薬指 導 医薬品の特徴と使 用	処方箋、調剤と製剤、配合変化、 保存方法、剤形 医薬品の特徴と 剤形、医薬品の使用方法と留意点	小林 英文	
15	6/28	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	歯科用医薬品の特徴と 使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾 患治療薬	大槻 昌幸	

成績評価の方法

- ・授業終了時の小テスト(30 点)、期末の客観試験(70 点)で総括的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総括的評価に加味する。
- ・Zoom 講義で授業終了時に小テストを実施した場合は、このテストを講義出欠とする。
- ・期末テストで 6 割の正答率が得られない場合は、再試験となる。
- ・また、再試験で再び 6 割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

- ・小テストを平常点の評価基準とする。
- ・A+の評価は、CBT 形式のテストで深い理解を試す問題に対する正解を一つの評価基準とする。
実習においては、深い理解の上に考察がなされているレポートに対して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席(ドリームキャンパスで確認すること)

なお、同期・非同期授業 1 コマ 50 分のうち、30 分以上参加記録が残らない場合は、欠席扱いとする。

やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡も無く欠席した場合、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。

連絡があり、正当な理由と認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2018

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2015

現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広他編:医歯薬出版, 2018

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2013

最新薬理学: 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清, 戸苅彰史 編集:学建書院, 2017

コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ編集, 渡邊 泰秀, 樋口, マキエ, 朝倉書店, 2012 ラング・デール薬理学：電子書籍(日本語・英語版)付／渡邊 直樹 監修, 渡邊 直樹 翻訳: 丸善出版, 2018-12-17 今日の治療薬 2022：解説と便覧／浦部 晶夫 編集, 島田 和幸 編集, 川合 眞一 編集, 伊豆津 宏二 編集, 浦部 晶夫, 島田 和幸, 川合 眞一, 伊豆津 宏二, 南江堂
履修上の注意事項 ・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線 LAN につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末をクリックカー代わりに用いて回答および出欠確認を求める場合がある
備考 演習によるアクティブラーニングの実施。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 田村幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp (メールにて面談の日程を調整すること)

時間割番号	022315						
科目名	歯科矯正学		科目ID	DH-351405-L			
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:歯科矯正学 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(非同期、同期併用)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 ・顎口腔機能の発達過程および不正咬合との関連を理解し、顎口腔機能の育成および個性正常咬合獲得を、口腔保健の立場から支援するための知識を修得する。							
授業の到達目標 SBOs 1.正常な歯列咬合の状態を理解する。 2.不正咬合の種類とその影響を理解する。 3.不正咬合の診断に必要な資料・情報を理解する。 4.不正咬合の診断・治療法を概説できる。 5.歯科矯正器材と装置の種類・取り扱い方を概説できる。 6.歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 7.歯科矯正治療中の患者の口腔保健指導を理解する。 8.歯科矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。 9.顎口腔機能の育成を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/7	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科矯正学概論/成長発育/咬合	不正咬合の生理的・心理的障害、矯正治療の目的とその必要性、矯正歯科治療の歴史、矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割、成長発育曲線、顎・顔面・頭蓋の成長発育歯列の成長発育(乳歯列、混合歯列、永久歯列、歯年齢)、	辻 美千子	SBOs1,2,3,4
3-4	10/21	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔習癖/歯の移動	口腔習癖の種類と頻度、咬合・咀嚼・発音・嚥下への影響、口腔筋機能療法、矯正力、歯の移動・組織反応、歯の移動様式	辻 美千子	SBOs1,2,3,4
5-7	10/28	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	矯正診断 1,2	診査と情報の収集(相談・問診・写真・口腔模型・パノラマエックス線写真・頭部エックス線規格写真、口腔機能検査等)、症例分析法、治療方針の立て方	辻 美千子	SBOs1,2,3,4
8-9	11/4	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	矯正器具/矯正材料	矯正用器具の種類とその取り扱い、矯正材料の種類と取り扱い	辻 美千子	SBOs5
10-11	11/11	09:00-10:50	遠隔授業	矯正装置/不正咬合の	舌側弧線装置、マルチブラケット	辻 美千子	SBOs4,5

			(同期型)	治療法と保定	装置、床矯正装置、機能的競矯正装置、側方拡大装置、顎外固定装置、保定装置など、各装置の説明と注意事項、前後の関係・垂直的関係の不調和に対する治療法とその保定		
12	11/18	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	チーム医療/矯正歯科 関連実習説明	先天異常疾患・顎変形症に対する チーム医療、矯正歯科関連実習説明	辻 美千子	SBOs6,7,8
13	11/18	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 1	診査の補助、歯科矯正治療の補助、各種装置の取扱い、矯正治療中の口腔保健管理等	伊藤 奏	SBOs6,7,8
14	11/25	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	まとめ、国試対策	まとめ、国試対策	辻 美千子	SBOs9
15	12/9	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 2	矯正歯科外来における歯科衛生士の役割	辻 美千子	SBOs6,7,8

授業方法

遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

学期末に定期試験を実施する。

各講義後に課題提出を求める。

同期型講義における演習時の評価や、期末に定期試験を行い、各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料、教科書に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格

遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。ただし、定期試験の受験要件には用いない。

ただし、成績評価のためにも、同期型講義の日程はできる限り出席することが望ましい。

遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修、氷室利彦 ほか著、氷室 利彦, 1953-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版,

2011
参考書 歯科矯正学／相馬 邦道／編集,飯田 順一郎／編集,山本 照子／編集,葛西 一貴／編集,後藤 滋巳／編集,相馬 邦道／〔ほか〕執筆,相馬 邦道,飯田 順一郎,山本 照子,葛西 一貴,後藤 滋巳,相馬 邦道:医歯薬出版, 2011 歯科矯正学(新・歯科衛生士教育マニュアル)／葛西一貴, 新井一仁, 須田直人, 三浦廣行 編集,:クインテッセンス出版, 2015 歯科矯正学と診療補助／遠藤敏哉 著,:クインテッセンス出版, 2001 矯正歯科治療とオーラルハイジーン・コントロール／高田健治 監修,保田好隆, 日高修 著,:クインテッセンス出版, 2000
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022265						
科目名	歯科放射線学		科目ID	DH-351406-L			
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床歯科医学 ユニット名: 歯科放射線学 時間数: 15 時間(1 単位) 講義形式: 遠隔講義(ウェブクラスによる非同期型講義と Zoom による同期型遠隔授業)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 歯科診療の診断に必要な放射線に関して、チーム医療に必要な知識、基本の手技を習得する。							
授業の到達目標 1. 放射線物理の基本的な内容を説明できる。 2. 歯科放射線の撮影方法について説明できる。 3. 放射線撮影にあたり、撮影の意味とその被爆の程度や適切な防護について説明できる。 4. 放射線治療の概要について説明できる。 5. CT や MRI などの画像診断法について概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/12	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	放射線物理	放射線と放射能って何？ X 線の性質、X 線の発生、物質との相互作用	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:1 講義中に演習を行う。
3-4	4/19	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影法と画像形成	X 線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
5-6	4/26	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影の補助 1	パノラマ X 線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
7-8	5/10	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影の補助 2	パノラマ X 線写真の撮影と読影、デジタル X 線撮影法の仕組み	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
9-10	5/17	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	放射線治療-腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:4 講義中に演習を行う。
11-12	5/24	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:3 講義中に演習を行う。
13	5/31	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	顎口腔領域の放射線診断1	画像診断1	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
14	6/7	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	顎口腔領域の放射線診断2	画像診断2	大林 尚人 樺沢 勇司	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
15	6/14	13:50-14:40	遠隔授業	画像診断機器	CT,MRI,PET/CT,RI 検査、超音波画	大林 尚人	到達目標:2、5

			(同期型)		像	樺沢 勇司	講義中に演習を行う。
授業方法 第1回から6回までは非同期型遠隔授業とする。7回-9回は同期型講義となるため、できる限り出席すること。 遠隔授業の講義前に配布資料をWebClass上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則WebClass上で提出を行う。 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールにて連絡すること。							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 必要に応じてレポートの提出を課すとともに、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。出席状況、授業態度を総括評価に加味する。							
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合はBより上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。							
試験の受験資格 本科目では学期末に筆記試験を実施する。試験の受験のためには全授業の2/3以上の出席を原則とする。遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。							
教科書 歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会監修；岡野友宏〔ほか〕執筆、岡野、友宏：医歯薬出版、2009							
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。							
備考 科目責任者 樺沢勇司 kbasawa.ocsh@tmd.ac.jp 随時メールでの質問を受け付ける。							

時間割番号	022266						
科目名	チーム医療の基礎			科目ID	DH-353800-Z		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 同期型授業(ZOOM)							
授業の目的、概要等 ・チーム医療の重要性を理解し、歯科衛生活動の実践に生かすために必要な知識・技能・態度を修得する。							
授業の到達目標 1.医科歯科連携の重要性を説明する。 2.多職種連携によるチーム医療の意義目的を説明する。 3.多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/30	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	チーム医療における歯科衛生士の役割	多職種連携の実際/急性期病院における歯科衛生士の役	鈴木 瞳	目標 1-3
3	9/30	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 1	歯学部附属病院の口腔ケア、有病者に対する口腔ケアと医科歯科連携	鈴木 瞳	目標 1-3 歯科衛生保健部:
4-5	10/7	13:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 2	周術期等口腔機能管理の実際	鈴木 瞳	目標 1-3
6-7	10/28	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 3	病院歯科におけるチーム医療の実際	鈴木 瞳	目標 1-3 山中紗都先生
8	11/11	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 4	歯科を標榜しない急性期病院における活動	鈴木 瞳 西川 利恵	目標 1-3
9-10	11/11	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際	在宅における歯科衛生士の活動	鈴木 瞳 篠原 弓月	目標 1-3
11	11/18	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 5	在宅療養者の口腔健康管理	鈴木 瞳	目標 1-3 久保山裕子先生
12-13	11/18	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 5	緩和ケア	鈴木 瞳 本松 裕子	目標 1-3
14-15	11/25	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携の実際 5	歯科診療所における周術期口腔機能管理	鈴木 瞳 河野 章江	目標 1-3
成績評価の方法 ・レポート課題(80 点)および授業時のグループ発表の内容(20 点)で総合的評価を行う ・受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 ・講義において必要な資料があれば、e-learning にアップしておくので、事前に確認の上、講義に出席すること。 ・高齢者歯科学で使用した講義資料をもとに、高齢者に対する基本知識を事前に確認をしておくこと。							
試験の受験資格 ・定期試験はないが、3 分の 2 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。							

履修上の注意事項

講義中に行う演習に対する取り組み状況、提出物等を成績評価に加味する。

備考

担当教員のオフィスアワー

鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022267						
科目名	チーム医療の実践				科目ID	DH-353900-Z	
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 ・多職種連携実践に必要な知識・技術・態度を修得する。							
授業の到達目標 1.医科歯科連携の重要性を説明する。 2.口腔衛生管理の観点から、多職種連携実践の意義を説明する。 3.有病者および高齢者における口腔衛生上の問題を抽出し、必要な支援方法を計画・立案できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/13	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生計画の立案	AL グループディスカッション 歯科衛生計画の立案と発表	鈴木 瞳	目標 1-3
4-6	1/20	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔機能評価実習	AL 口腔機能評価実習	鈴木 瞳	目標 1-3 TA 高澤
7-9	1/27	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者の口腔健康 管理 指導計画の立案	AL 指導計画の立案	鈴木 瞳	目標 1-3
10-12	1/30	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	要介護高齢者の栄養管理 と食支援	要介護高齢者の栄養管理と食支援	鈴木 瞳 豊 島 瑞枝	目標 1-2
13-15	2/3	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者の口腔健康 管理 指導計画の立案	AL 指導計画の立案	鈴木 瞳	目標 1-3
成績評価の方法 ・演習における作成物(歯科衛生計画・指導案等)の内容(60 点)、出席状況(20 点)、授業態度(20 点)にて総合的に評価する。 ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。							
準備学習等についての具体的な指示 ・指定された教科書の内容を確認しておくこと。 ・事前に e-learning に資料がアップされている場合は、事前に内容を確認しておくこと。							
試験の受験資格 ・定期試験はないが、3 分の 2 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・遠隔授業(同期型)あるいは対面実習に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							

教科書

歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists／日本歯科衛生士会 監修、植田耕一郎
編集代表 植田 耕一郎, 1959-, 日本歯科衛生士会, : 医歯薬出版, 2019

履修上の注意事項

・講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。 ・2/3 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

演習、実習

担当教員のオフィスアワー

鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022268						
科目名	口腔機能管理実習			科目ID	DH-354000-E		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
歯学部附属病院内、学外施設他							
授業の目的、概要等							
加齢や障害に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者・障害者の疾病の特徴を理解し、高齢者・障害者の医療・歯科医療に関する知識や技能の基礎を修得する。							
授業の到達目標							
1. 加齢や障害に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する							
2. 高齢者や障害者の疾病の特徴を理解する							
3. 高齢者や障害者の医療・歯科医療の留意点を理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/25	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	有病者・高齢者への口腔衛生管理の実際 合同実習のオリエンテーション	AL 授業のスケジュール 要介護高齢者への口腔衛生管理の実際	鈴木 瞳	目標 1-3
3-5	12/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	高齢者疑似体験	AL 高齢者疑似体験実習	吉田 直美 鈴木 瞳 本 村 一朗	目標 1-3 TA 高澤
6-8	1/13	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	要介護高齢者の口腔内 アセスメント	AL 口腔ケアシミュレータを用いたアセスメント実習	鈴木 瞳 吉 田 直美	目標 1-3 TA 高澤
9-11	1/16	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者の口腔衛生 管理	AL 各種口腔ケア用品の特徴 専門的口腔衛生管理の実際(口腔ケアシミュレータを用いた実習)	日高 玲奈 鈴木 瞳 吉 田 直美 安 達 奈穂子	目標 1-3
12-13	1/16	12:50-14:40	口腔保健 学科第3 講義室	有病高齢者の口腔衛生 管理	AL 専門的口腔衛生管理の実際(相互実習)	鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平 伊 藤 奏	目標 1-3
14-15	1/20	12:50-14:40	口腔保健 学科臨床	摂食嚥下リハビリテーシ ョン	AL 口腔機能管理実習 間接訓練	鈴木 瞳	目標 1-3

			基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室				
16-18	1/27	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	食事介助／直接訓練	AL 食事介助／直接訓練	鈴木 瞳	目標 1-3
19-21	1/30	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	有病者・要介護高齢者 の口腔健康管理に關する 指導の展開	AL 指導案検討	鈴木 瞳	目標 1-3
22-24	2/3	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室	口腔吸引実習	AL 吸引実習(相互・シミュレータ ー)	鈴木 瞳, 樺 沢 勇司	目標 1-3
25-26	2/6	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	合同実習リハーサル	AL 合同実習リハーサル	鈴木 瞳	目標 1-3
27-29	2/6	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	合同実習	医学科・歯学科との合同実習①	鈴木 瞳, 吉 田 直美, 松 田 悠平, 伊 藤 奏, 安達 奈穂子, 日高 玲奈	目標 1-3 TA 高 澤
30-32	2/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	合同実習の振り返り	実習のフィードバック、修正	鈴木 瞳	目標 1-3
33-35	2/9	09:00-11:50	遠隔授業 (同期 型), そ の他	施設見学実習	AL 施設見学実習	鈴木 瞳	目標 1-3
36-38	2/9	12:50-15:40	遠隔授業 (同期 型), そ の他	施設見学実習	AL 施設見学実習	鈴木 瞳	目標 1-3
39-41	2/13	12:50-15:40	遠隔授業 (同期 型), 遠 隔授業 (非同期 型)	合同実習	AL 医学科・歯学科との合同実習 ②	鈴木 瞳, 吉 田 直美, 日 高 玲奈, 伊 藤 奏, 松田 悠平, 安達 奈穂子	目標 1-3 TA 高 澤
42-44	2/14	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	施設実習の振り返り、報 告	施設実習の報告会、まとめ	鈴木 瞳	目標 1-3

成績評価の方法

- ・出席状況(10 点)、期末の客観試験・論述試験(60 点)、課題レポートの内容(30 点)にて総括的評価を行う
- ・授業態度、実習への取り組み姿勢を総括的評価に加味する。
- ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・高齢者の生理的特徴、口腔清掃用具の使用方法を復習しておくこと。

試験の受験資格 3/4 以上出席のこと。
教科書 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists／日本歯科衛生士会 監修,植田耕一郎 編集代表,植田, 耕一郎, 1959-,日本歯科衛生士会,:医歯薬出版, 2019
参考書 食べる機能の障害：その考え方とリハビリテーション／金子芳洋 著；向井美恵 著；尾本和彦 著；金子芳洋 編,金子芳洋,向井美恵,尾本和彦,金子芳洋,:医歯薬出版, 2005
履修上の注意事項 ・施設見学の実習に際しては、事前のオリエンテーションを受けなければ実習に出席することはできない。
備考 演習、実習 担当教員のオフィスアワー 鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022269					
科目名	高齢者歯科学			科目ID	DH-354100-L	
担当教員						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 松尾浩一郎、日高玲奈、戸原玄、猪原光(猪原歯科・リハビリテーション科)他						
主な講義場所 同期型(ZOOM)						
授業の目的、概要等 ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者歯科学を理解する。特に、訪問診療による、入院や施設、在宅で療養する高齢者・要介護高齢者の口腔ケアや、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援を理解する。						
授業の到達目標 ・高齢者歯科学の概要を説明できる。 ・摂食嚥下のメカニズムと病態を説明できる。 ・摂食嚥下障害のスクリーニングテスト、VF、VE などの検査と診断を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションの目的と概要、間接訓練と直接訓練を説明できる。 ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアを理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療を理解できる。 ・オーラルフレイルと口腔機能低下症を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/7	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者歯科学概論	高齢者歯科学概論、超高齢社会での歯科医療	松尾 浩一郎
2	11/7	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下概論	摂食嚥下リハビリテーション概論	松尾 浩一郎
3	11/7	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下の解剖生理	摂食嚥下に関わる解剖と運動整理	松尾 浩一郎
4	11/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実 際 1	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄
5	11/14	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実 際 2	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄
6	11/14	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実 際 3	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄
7	11/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下障害の病態	摂食嚥下障害の原疾患、異常像	中根 綾子
8	11/28	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下障害の評価	スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価	中根 綾子
9	11/28	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下の訓練	間接訓練、直接訓練	泉田 陸 日 高 玲奈
10	12/5	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	誤嚥性肺炎と口腔ケア	多職種連携による口腔アセスメントと口腔ケア	松尾 浩一郎

11	12/5	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	周術期口腔管理 1	入院患者への口腔管理の実際	松尾 浩一郎
12	12/5	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	周術期口腔管理 2	入院患者への口腔管理の実際	松尾 浩一郎
13	1/23	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	訪問診療 1	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、食支援、低栄養改善、QOL 向上を目的とした訪問歯科診療	猪原 光 日 高 玲奈
14	1/23	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	訪問診療 2	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、食支援、低栄養改善、QOL 向上を目的とした訪問歯科診療	猪原 光 日 高 玲奈
15	1/23	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	オーラルフレイルと口腔機能低下症	オーラルフレイルと口腔機能低下症	松尾 浩一郎
授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。						
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。						
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 20 点 3) 期末試験(多肢選択問題、応用記述問題含む) 80 点 振り返りシートや応用記述問題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。						
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席						
教科書 高齢者歯科／植田耕一郎ほか著、植田 耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版、2013 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia Rehabilitation for Dental Hygienists／日本歯科衛生士会 監修、植田耕一郎 編集代表、植田 耕一郎、1959-、日本歯科衛生士会、: 医歯薬出版、2019						
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。						

時間割番号	022270						
科目名	障害者歯科学			科目ID	DH-354200-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:障害者歯科学 ユニット名:障害者歯科学 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(非同期、同期併用)、対面講義							
主な講義場所 在宅学習、対面講義は1号館西7階 第3講義室を予定する							
授業の目的、概要等 障害児・者に対して口腔保健の立場から支援する際に必要な知識、技術を習得する。							
授業の到達目標 1. 障害の概念を理解する。 2. 障害の種類と歯科的特徴について理解する。 3. 障害児・者の歯科治療における行動調整について理解する。 4. 障害児・者の歯科治療における健康支援と口腔管理について理解する。 5. 障害児・者のチーム医療における歯科衛生士の役割について理解する。 6. 障害児・者の歯科治療における医療体制(一次、二次、三次歯科医療体制)について理解する。 7. 障害児・者のリスク評価と安全管理について理解する。 8. 障害児・者の摂食嚥下障害とリハビリテーションの基本について理解する。 9. 発音機能の発達とその異常について理解し、構音障害の訓練法を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/7	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	障害と歯科医療1	障害の分類およびその特徴、歯科的特徴について、行動調整法について。	楠本 康香	到達目標:1, 2, 3 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
3-4	11/14	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	障害と歯科医療2	診療計画立案、予後管理、医療体制など。	楠本 康香	到達目標:1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
5	11/28	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	広汎性発達障害児・者への歯科治療	広汎性発達障害児・者への歯科治療の実際	岩本 勉	到達目標:1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
6	11/28	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	広汎性発達障害児・者への歯科治療	広汎性発達障害児・者への歯科治療の実際	岩本 勉	到達目標:1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
7	12/5	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下機能の遅滞、重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を助長する外部環境因子、異常パターンの定着、重症心身障害児の摂食訓練	綾野 理加 樺沢 勇司	到達目標:8 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う

8	12/5	13:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下機能の遅滞、 重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を 助長する外部環境因子、異常パタ ーンの定着、重症心身障害児の摂 食訓練	綾野 理加 樺沢 勇司	到達目標:8 講 義中、講義後に 学習の確認のた めの演習を行う
9	12/5	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	言語聴覚療法	構音発達、機能性構音障害、器質 性構音障害(口蓋裂、舌小帯短縮 症)について	正木 啓太	到達目標:9 講 義中、講義後に 学習の確認のた めの演習を行う
10	12/5	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	言語聴覚療法	構音発達、機能性構音障害、器質 性構音障害(口蓋裂、舌小帯短縮 症)について	正木 啓太	到達目標:9
11-12	1/23	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	発達障害児の食べる機 能、発達障害とその対 応	顎口腔の先天異常と摂食機能の 発達	岩本 勉 樺 沢 勇司	到達目標:1~8
13	2/13	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期 型)	2 次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり1	東京医科歯科大学病院での障害 児・者と歯科衛生士の関わり	樺沢 勇司	到達目標:1-8 歯科衛生保健部 佐川かおり先生 の講義
14	2/13	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	2 次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり1	東京医科歯科大学病院での障害 児・者と歯科衛生士の関わり	鈴木 瞳 樺 沢 勇司	到達目標:1-8 歯科衛生保健部 佐川かおり先生 の講義
15	2/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	2 次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり1	障害児センター等の対応、障害 児・者と歯科衛生士の関わり	鈴木 瞳 樺 沢 勇司	到達目標:1-8

授業方法

遠隔授業(WebClass による非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義、対面講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

学期末に定期試験を実施する。

各講義後に課題提出を求める。

同期型講義と対面講義における演習時の評価や各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格 遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。ただし、定期試験の受験要件には用いない。ただし、成績評価のためにも、同期型講義および対面講義はできる限り出席することが望ましい。 遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 障害者歯科／向井美恵 ほか 著、:医歯薬出版, 2013
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022271						
科目名	臨床医学Ⅱ	科目ID	DH-351502-L				
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床医学 ユニット名:臨床医学2 時間数:30 時間(2 単位) 授業形態:遠隔授業(非同期型・同期型講義 併用)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔健康管理(口腔ケア)のための多職種連携および多職種協働を検討する。							
授業の到達目標 SBOs 1. 感染の成り立ちおよび感染対策について学び、有病者に対して感染対策に配慮した口腔健康管理を検討できる。また、感染症患者および易感染患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 2. 小児科疾患について学び、小児患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 3. 遺伝性疾患、染色体異常および遺伝カウンセリングについて学び、それらの患者の心情に配慮して、適切な口腔健康管理を検討できる。 4. 皮膚科疾患について学び、皮膚科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 5. 耳鼻咽喉科、頭頸部外科であつかう疾患について学び、患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 6. 眼科疾患について学び、眼科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 7. 泌尿器科疾患について学び、泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 8. リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔健康管理を検討できる。 9. スポーツ関連外傷・障害・疾患について学び、それらの患者に対して適切な口腔健康管理を検討できる。 10. 救急災害医学について学び、被災者に対する災害フェーズに適した口腔健康管理を検討できる。 11. 緩和医療・緩和ケア・心療医療について学び、患者の心身を支えつつ QOL を向上させるために、適切な口腔健康管理を検討できる。 12. 総合診療医学について学び、有病者に対する適切な口腔健康管理について検討できる。 13. 遺伝医学について学び、口腔健康管理に活かすことができる。 14. 臨床医学を学び、基礎疾患をもつ患者に対して継続的な口腔健康管理を提供するための多職種連携と協働を検討する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/31	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	感染症学	感染症について歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 具 芳明	到達目標:1 講義において演習課題を行う
3-4	6/22	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科疾患について歯科診療に必要な知識	堤 剛, 樺沢 勇司	到達目標:5 講義において演習課題を行う
5	6/22	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	スポーツ医学	スポーツ医学について歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 星野 傑	到達目標:9 講義において演習課題を行う
6-7	6/28	13:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	小児科学	低出生体重児・先天性疾患などについて歯科診療に必要な知識	森丘 千夏子, 樺沢 勇司	到達目標:2 講義において演習課題を行う
8-9	6/29	12:50-14:40	遠隔授業	小児科学1	小児が罹患しやすい感染症、小児	樺沢 勇司,	到達目標:2 講

			(非同期型)		科疾患について歯科診療に必要な知識	森丘 千夏子	義において演習課題を行う
10-11	7/5	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	皮膚科学	皮膚科疾患について歯科診療に必要な知識	宇賀神 つかさ、樺沢 勇司	到達目標:4 講義において演習課題を行う
12-13	7/6	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	頭頸部外科学	頭頸部外科疾患について歯科診療に必要な知識	朝蔭 孝宏、樺沢 勇司	到達目標:5 講義において演習課題を行う
14	7/6	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	総合診療医学	総合診療医学について歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司	到達目標:11 講義において演習課題を行う 橋本正良先生の講義
15-16	7/12	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	眼科学	眼科疾患について歯科診療に必要な知識	浦本 賢吾、樺沢 勇司	到達目標:6 講義において演習課題を行う
17-18	7/13	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	腎泌尿器科学	腎泌尿器科疾患について歯科診療に必要な知識	福田 翔平、樺沢 勇司	到達目標:7 講義において演習課題を行う
19	7/13	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	遺伝性疾患	遺伝性疾患について歯科診療に必要な知識	江花 有亮、樺沢 勇司	到達目標:13 講義において演習課題を行う
20-21	7/20	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	救急災害医学	救急災害医学について歯科診療に必要な知識	植木 穰、樺沢 勇司	到達目標:10 講義において演習課題を行う
22-23	7/27	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	緩和医療・緩和ケア	緩和医療・緩和ケアについて歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司、佐藤 信吾、野里 洵子	到達目標:11 講義において演習課題を行う
24	7/27	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	本学医病での口腔健康管理について	本学医病での口腔健康管理について	樺沢 勇司	到達目標:14 講義において演習を行う
25-26	7/27	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	まとめ2	歯科衛生士にとって必要な医学知識について2、地域医療におけるチーム医療に向けて	沼沢 祥行、樺沢 勇司	到達目標:14 講義において演習、グループワークを行う
27-29	8/1	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	リハビリテーション医学	リハビリテーション医学について歯科診療に必要な知識	酒井 朋子、樺沢 勇司	到達目標:8 講義において演習課題を行う
30	8/1	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	心療・緩和医学	心療・緩和医学について歯科診療に必要な知識	宮島 美穂、樺沢 勇司	到達目標:11 講義において演習課題を行う

授業方法

遠隔授業(Webclassによる非同期型遠隔講義)を原則とする。指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答する。

同期型遠隔講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に

対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。 講義動画は原則学期末まで公開する。
授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 講義に課されるレポートや、期末の筆記試験で総括的評価を行う。 授業内容について十分に理解できていること、授業内容と歯科衛生士としての働きを関連付けて考えられているものをより評価する。
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して口腔健康管理に際しての医学的留意点などを具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 遠隔授業については、授業への出席状況は成績付与の参考とするが、定期試験の受験要件には用いない。 同期型講義については成績評価のため出席することが望ましい。 遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。
参考書 有病者歯科学： 歯科衛生士必須／日本有病者歯科医療学会 編今井裕 監修今井 裕,日本有病者歯科医療学会,:永末書店, 2020 歯科衛生士のための口腔内科 = Oral Medicine for Dental Hygienist : 全身と口腔をつなぐオーラルメディスン／山根源之, 酒巻裕之, 里村一人, 野村武史 編著山根 源之, 1946-,酒巻 裕之,里村 一人,:医歯薬出版, 2019 メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、 看護、医科臨床系教科書など
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
備考 科目責任者 樺沢勇司 kabsawa.ocsh@tmd.ac.jp メールでの相談は随時受け付ける

時間割番号	022272						
科目名	口腔疾患予防応用学		科目ID	DH-351604-L			
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 吉田 直美, 鈴木 瞳[KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, YOSHIDA Naomi, SUZUKI Hitomi]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 口腔疾患予防学 ユニット名: 口腔疾患予防応用学 時間数: 1 単位 15 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 講義・実習							
主な講義場所 口腔保健学科 第 3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業 (Zoom、WebClass)							
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。							
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、介入および歯科衛生業務記録を記載する。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	講義 実習のガイダンス	(AL) 試験ケースシミュレーション実習の進め方	安達 奈穂子	FOS21046 OH17 期生 臨床基礎実習 2021-2023
2-4	4/11	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室	演習 試験ケースの実際	(AL) 4 年生試験ケース発表聴講	安達 奈穂子	基礎実習の身だしなみ
5	4/14	12:50-13:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	実習 相互実習にむけて	(AL) 機械的歯面清掃の復習(マネキン実習) 相互実習使用器具の準備	安達 奈穂子	基礎実習の身だしなみ ※持ち物 スケーラー一式、シャープニングに使用する物品一式
6	5/18	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	演習 歯科衛生士の職業性障害	(AL) 作業関連性筋骨格系障害	安達 奈穂子	FOS21046 OH17 期生 臨床基礎実習 2021-2023 (動画内に演習あり)
7	5/23	11:00-11:50	口腔保健	演習 歯科衛生業務記	(AL) 情報の整理・解釈、業務記	吉田 直美	演習 ※持ち物:

			学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	録の作成、 実習準備	録の記載、 スケーラーの準備	鈴木 瞳 安 達 奈穂子	PC、USB
8-9	6/3	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	講義 試験ケースシミュ レーション実習のまとめ にむけて	(AL) リーフレット、プレゼンテ ーションの作成について	安達 奈穂子	FOS21046 OH17 期生 臨床基礎 実習 2021-2023
10	6/15	12:50-13:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 集団に対する口 腔疾患予防の実践1	(AL) 小児に対するフッ化物応用	安達 奈穂子、 近藤 圭子	※持ち物:歯ブラ シ
11	6/22	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	講義・演習 口腔健康管 理の応用1	(AL) セルフケアを主体とした口 腔健康管理の進め方 OE2 年生 との合同実習の概要	安達 奈穂子	FOS21046 OH17 期生 臨床基礎 実習 2021-2023
12	6/27	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	演習 歯科衛生業務記 録の作成、 実習準備	(AL) 情報の整理・解釈、業務記 録の記載、 スケーラーの準備	吉田 直美 鈴木 瞳 安 達 奈穂子	演習
13	7/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習 歯科衛生業務記 録の作成	(AL) 情報の整理・解釈、業務記 録の記載	吉田 直美 鈴木 瞳 安 達 奈穂子	演習
14	7/14	12:50-13:40	口腔保健 学科第3 講義室	演習 試験ケースシミュ レーション実習のまとめ	(AL) 終了報告書の作成・完成 ケースプレゼンテーションの準備	安達 奈穂子、 吉田 直美 鈴木 瞳	
15	7/20	12:50-13:40	口腔保健 学科第3 講義室	実習 根分岐部病変の 評価	(AL) ファーケーションプローブ の操作方法	安達 奈穂子	※持ち物:顎模型 (プロービング用 パーツ)、ミラー・ ピンセット・探針 等

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、演習、実習を、対面、非同期(WebClass)、同期(Zoom)で行う。

本授業は、「口腔疾患予防応用学実習」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。

質問がある場合、

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。

成績評価の方法

- ・定期試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。
- ・出席状況、実習態度などを総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・2 年次の歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席が必要 特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。 なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。 連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。 以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて対応を考えるが、原則として補講は行わない。
教科書 保健生態学 第 3 版／可児徳子ほか著、可児 徳子、:医歯薬出版, 2019 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版／高阪利美ほか著、高阪 利美、:医歯薬出版, 2020
参考書 口腔保健推進ハンドブック：地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稜博、池主憲夫、川口陽子、米山武義 編、:医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳、:医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、:医歯薬出版, 2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、:医歯薬出版, 2009 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス著；遠藤圭子〔ほか〕監訳、Wilkins, Esther M., 遠藤 圭子、中垣 晴男、西 真紀子、眞木 吉信、松井 恭平、山根 瞳、若林 則幸、:医歯薬出版, 2015 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣ／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、Nield-Gehrig, Jill Shiffer, 和泉 雄一、吉田 直美、小森 朋栄、村上 恵子、1959-、野村 正子、1957-、:医歯薬出版, 2010 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版, 2015 歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美、遠藤圭子、渡邊麻理、鈴木純子 著、吉田 直美、遠藤 圭子、渡邊 麻理、:クインテッセンス出版, 2015 事例でわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版, 2019
他科目との関連 本科目は、「口腔疾患予防応用学実習」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。
履修上の注意事項 ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 AL(演習、実習、課題発表)が含まれます。
連絡先(メールアドレス) 安達 奈穂子:adachi.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨 1 号館 8 階 814A 研究室

時間割番号	022273						
科目名	口腔疾患予防応用学実習	科目ID	DH-351605-E				
担当教員	吉田 直美, 品田 佳世子, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 塚本 恵, 近藤 圭子[YOSHIDA Naomi, SHINADA KAYOKO, ADACHI Naoko, SUZUKI Hitomi, TSUKAMOTO Megumi, KONDO KEIKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:口腔疾患予防学 ユニット名:口腔疾患予防基礎学Ⅱ 時間数:45 時間×2 単位 90 時間 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形態:講義・実習							
主な講義場所 口腔保健学科 第 3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。							
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、口腔ケアを実施できる。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	4/14	13:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習の準備	(AL)機械的歯面清掃の復習(マネ キン実習) 相互実習使用器具の 準備	安達 奈穂子	※スケーラー・シ ャーピング物品 一式 持参
5-9	4/18	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)1	(AL)アセスメント1 回目(口腔内写 真撮影)	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 近 藤 圭子	※PC、USB、2 年 次の口腔内写真 撮影の資料 持 参
10-14	4/28	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)2	(AL)アセスメント2 回目(主観情 報、歯周組織検査、ブランクチャ ート等)	安達 奈穂子, 品田 佳世子, 近藤 圭子	

15-19	5/9	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)3	(AL)アセスメント3回目(主観情 報、歯周組織検査、プラークチャ ート等)	安達 奈穂子, 品田 佳世子, 近藤 圭子	
20-24	5/11	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	演習 リスクアセスメント	(AL)う蝕、歯周病のリスクアセ スメントツールを使用した口腔疾患 予防の実際	安達 奈穂子	※PC 持参
25-29	5/19	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)4 臨 床体験実習 1	(AL)歯科衛生介入1 第1総合 診療室の見学1	安達 奈穂子, 近藤 圭子, 塚本 恵	
30-34	5/26	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)5 臨 床体験実習 2	(AL)歯科衛生介入2 第1総合診 療室の見学2	安達 奈穂子, 近藤 圭子, 塚本 恵	
35-39	6/9	12:50-17:40	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)6 臨 床体験実習 3	(AL)歯科衛生介入3 第1総合診 療室の見学3	安達 奈穂子, 近藤 圭子, 塚本 恵	
40-42	6/15	13:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 集団に対する口 腔疾患予防の実践 1	(AL)小児に対するフッ化物応用	安達 奈穂子, 近藤 圭子	* 歯ブラシ持参
43-47	6/16	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)7 臨 床体験実習 4	(AL)歯科衛生介入4 第1総合診 療室の見学4	安達 奈穂子, 近藤 圭子, 塚本 恵	
48-52	6/30	12:50-17:40	その他	実習 相互実習(ケース シミュレーション)8	(AL)歯科衛生介入5 第1総合診 療室の見学5	安達 奈穂子, 近藤 圭子	* 評価の学生 は、PC、USB 持 参
53-57	7/5	12:50-17:40	口腔保健	実習 相互実習(ケース	(AL)評価1	安達 奈穂子,	* 評価の学生

			学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	シミュレーション)9		近藤 圭子	は、PC、USB 持 参
58-60	7/6	12:50-15:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	演習 口腔健康管理の 応用2 OE2年生との合 同実習 準備	(AL)OE2年生との合同実習 実習 準備	安達 奈穂子	
61-65	7/7	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)10 臨 床体験実習 5	(AL)評価2	安達 奈穂子、 近藤 圭子、 塚本 恵	*評価の学生 は、PC、USB 持 参
66-70	7/13	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 口腔健康管理の 応用3 OE2年生との合 同実習	(AL)OE2年生との合同実習 業 務記録の作成 歯科衛生実地指 導報告書の作成	安達 奈穂子、 近藤 圭子	
71-74	7/14	13:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	演習 試験ケースシミュ レーション実習のまとめ	(AL)終了報告書の作成 ケース プレゼンテーションの準備	安達 奈穂子、 吉田 直美、 鈴木 瞳	*PC、USB 持参
75-77	7/20	13:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 根分岐部病変の 評価 他	(AL)フアーケーションブロープの 基本操作	安達 奈穂子	顎模型(ブロービ ング用パーツ、特 殊加工歯4本)、ミ ラー、探針等持参
78-82	7/21	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	演習 ケースプレゼンテ ーション 1	(AL)グループ発表	安達 奈穂子、 吉田 直美、 鈴木 瞳	
83-85	7/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習 ケースプレゼンテ ーション 2 まとめ	(AL)全体発表	安達 奈穂子	
86-90	7/28	12:50-17:40	口腔保健 学科第3 講義室	実習 スキル評価	(AL)OSCE にむけて	安達 奈穂子	
91-95	8/2	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健	OSCE		安達 奈穂子、 吉田 直美、 鈴木 瞳、伊 藤 奏、日高	

			学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、口腔 保健学科 第4講義 室			玲奈、河野 章江、富田 裕子、米倉 里枝、米倉 里枝、塚本 恵、荒川 真 一、樺沢 勇 司、品田 佳 世子、松尾 浩一郎、坂本 裕次郎		
授業方法 実習、演習、講義、グループワーク、課題発表を、対面、同期型遠隔授業（Zoom）で行う。 本授業は、「口腔疾患予防応用学実習」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。 質問がある場合、 遠隔授業（同期型）では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。								
成績評価の方法 ・期末の実技試験（臨床技能試験）及び提出レポート・課題により総括的評価する。 ・出席状況、実習態度などを総括的評価に加味する。								
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・2 年次の歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。								
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要 特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。 なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。 連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。 以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて対応を考えるが、原則として補講は行わない。								
教科書 保健生態学 第 3 版／可児徳子ほか著、可児 徳子、：医歯薬出版、2019 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版／高阪利美ほか著、高阪 利美、：医歯薬出版、2020								
参考書 口腔保健推進ハンドブック：地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稔博、池主憲夫、川口陽子、米山武義 編、：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳、：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、：医歯薬出版、2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳、：医歯薬出版、2009								
他科目との関連 本実習は「口腔疾患予防応用学」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。								
履修上の注意事項 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等の利用による技術に関わる自己学習を奨励する。 ・原則と								

して、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 AL(実習、グループディスカッション、ケース演習、発表など)を行う。
連絡先(メールアドレス) 安達 奈穂子:adachi.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨 1 号館 8 階 814A 研究室

時間割番号	022275						
科目名	健康教育の企画と実践 I	科目ID	DH-354301-Z				
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健学科 1 号館 7 階第 3 講義室、学外施設							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
・地域歯科保健活動を展開するために必要なアセスメント、ニーズ診断、企画立案能力を高めるとともに、介入後の変化を評価する手法を培う。							
・ライフステージごとの健康課題に応じた健康教育の計画立案、実践を行う。							
授業の到達目標							
1.ライフステージごとの健康課題を説明する。							
2.多様なライフステージの歯科衛生ニーズを把握する。							
3.小学生および幼稚園児対象の健康教育を企画立案し、実践する。							
4.健康教育実施後の健康行動の変容を評価する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/6	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育1	AL 授業スケジュール 小学校 1・2年生への口腔健康教育につ いて グループ編成、テーマおよ び概要決定、媒体の確認	鈴木 瞳	
4-5	4/6	12:50-14:40	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児への健康教育 1	AL 園児の口腔健康教育につい て グループごとにテーマおよび 概要決定、シナリオ検討 媒体の 確認	鈴木 瞳	
6-8	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育2	AL 指導案および指導用媒体と は グループディスカッション(パ ートごとに分かれての指導案検 討)	鈴木 瞳	
9-11	4/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 3	AL グループディスカッション (指導案の大枠完成、媒体案の決 定)	鈴木 瞳	
12-14	5/11	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 4	AL データの分析と解釈対象者 の理解 グループワーク(健診結 果およびアンケートの分析を通し た対象者への理解。健康教育へ の応用)	鈴木 瞳	
15-17	5/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 5	AL グループワーク(指導案の修 正と媒体作成)	鈴木 瞳	
18-21	5/23	12:50-16:40	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 6	AL シナリオ完成と媒体作成 OH2との合同授業(役割分担に関 しての情報共有)	鈴木 瞳	
22-24	5/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3	小学校低学年児童への 健康教育 7	AL 媒体の完成、実演による振り 返し、修正	鈴木 瞳	

			講義室				
25-27	6/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 8 幼稚園児 への健康教育 2	リハーサル、事前準備 グループ ワーク(園児への健康教育、シナ リオ作成)	鈴木 瞳	
28-30	6/2	09:00-11:50	その他	小学校における口腔健 康教育の実践	AL T小学校での口腔健康教育 実習	鈴木 瞳	
31-33	6/8	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児への健康教育 3	AL 園児の健康教育に向けての 準備(シナリオ作成)	鈴木 瞳	
34-36	6/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児への健康教育 4	AL 教育媒体の作成と実演 相 互評価によるシナリオ修正	鈴木 瞳	
37-39	6/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児への健康教育 5	AL リハーサル 事前準備	鈴木 瞳	
40-42	6/20	09:00-11:50	その他	幼稚園園児への健康教 育の実践	AL N 幼稚園における健康教育 の実践	鈴木 瞳 吉 田 直美	
43-45	7/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	健康教育実践後の評 価・まとめ	AL 健康教育実践の効果につい て振り返り(歯磨きカレンダーのフ ィードバック、グループディスカッ ション)	鈴木 瞳	

成績評価の方法

- ・期末試験(50 点)、実習における作成物(指導案、媒体、分析資料等)の内容(20 点)、実習態度(30 点)による総括的評価を行う。
- ・出席状況も総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・2 年次の健康教育にて使用した資料・教本を確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・3/4 以上の出席
- ・出席時間不足の場合は、受験することができない。
- ・特別に勘案すべき事情があるために授業に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／高阪利美ほか著、高阪 利美、: 医歯薬出版、2020

履修上の注意事項

演習および実習における取組み状況、課題等を成績評価に加味する

備考

演習 実習

担当教員のオフィスアワー

鈴木 瞳 メールにて日時を相談 suzuki.ohce@tmd.ac.jp

時間割番号	022276						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅱ					科目ID	DH-354302-Z
担当教員							
開講時期	2022 年度後期		対象年次		3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業の到達目標 1. 高齢期の口腔健康管理の意義と方法を概説する 2. 動機づけ面接の重要性を説明する。 3. 動機づけ面接の基本スキルを実演する。 4. 動機づけ面接演習において患者役に配慮する。 5. インプラントの特徴とセルフケアの重要性を説明する。 6. 職能団体の意義とその活動を説明する 7. 看護の視点について概説する。 8. 看護過程について概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/7	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	高齢期の口腔健康管理	高齢期の口腔健康管理の意義と方法	鈴木 瞳 吉田 直美	目標1
2	10/7	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	高齢期の口腔健康管理	高齢期の口腔健康管理の意義と方法	吉田 直美 鈴木 瞳	目標1
3-5	10/21	12:50-15:40	口腔保健 学科第3 講義室	医療コミュニケーション ①	医療コミュニケーションの重要性 禁煙指導	吉田 直美 渡邊 麻理	目標2～4
6-8	11/4	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	医療コミュニケーション ②	モチベーションインタビュー グの実際 医療面接の分析	吉田 直美 渡邊 麻理	目標2～4
9-11	12/2	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	インプラント患者への口 腔健康管理	インプラントの特徴とセルフケア の重要性 職能団体における活 動	吉田 直美 河野 章江	目標5
12-15	12/2	12:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	まとめ	まとめ	吉田 直美	調整中
成績評価の方法 期末試験 80%、課題 20%による総括的評価を行う。受講態度、出席状況、TOFLE の結果等を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 4 分の 3 以上の出席							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2 版／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2020							
備考 実習、演習							

時間割番号	022277						
科目名	歯科診療補助論Ⅲ	科目ID	DH-352103-Z				
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30 時間							
授業形態: 講義・演習・実習							
主な講義場所							
Zoom、WebClass、口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。							
・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標							
・ 器材の種類・特性・用途を理解する。							
・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。							
・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。							
・ 各科で必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。							
・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。							
・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。							
・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。							
・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。							
・ 歯科診療報酬について理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/13	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	歯科保険について1	社会保障制度の体系と医療保険	伊藤 奏	Zoom(講義・演習)WebClass: FOS22007 口腔保健衛生学専攻 3 年授業 2022 年 前期
4-6	4/21	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	歯科保険について2	歯科診療報酬の構成と各論	伊藤 奏	Zoom(講義・演習)WebClass: FOS22007 口腔保健衛生学専攻 3 年授業 2022 年 前期
7-10	5/16	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習	防湿法について ラバーダム防湿法(基礎実習)	伊藤 奏 安達 奈穂子	実習
11-12	5/18	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	歯科保険について3	事例演習	伊藤 奏	WebClass: FOS22007 口腔保健衛生学専攻 3 年授業 2022 年 前期
13-14	5/24	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期)	顎顔面補綴学 顎顔面補綴治療の実際1	顎顔面補綴学が対応する症例、補綴症例 顎顔面補綴治療におけ	隅田 由香、伊藤 奏	WebClass: FOS22007 口腔

			型)		る口腔衛生指導		保健衛生学専攻 3年授業 2022年 前期
15-16	5/30	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科保険について4	事例演習	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22007 口腔 保健衛生学専攻 3年授業 2022年 前期
17-18	5/30	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際2	顎顔面補綴治療の実際に求めら れる心理ケア 顎顔面補綴治療 におけるチーム医療	隅田 由香, 伊藤 奏	WebClass: FOS22007 口腔 保健衛生学専攻 3年授業 2022年 前期
19-22	6/6	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	診療補助各論(小児歯 科)	診療補助の概要、器材を扱う演習	伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22007 口腔 保健衛生学専攻 3年授業 2022年 前期
23-26	6/24	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	外科手術における診療 補助	手術用ガウンの着用方法 メス、 縫合針の取り扱い 手術用器材 の展開方法	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 伊藤 奏	実習
27-30	7/11	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの歴史、手技、管理 インプラントの埋入法、補綴法	立川 敬子, 伊藤 奏	Zoom(講義・演 習) WebClass: FOS22007 口腔 保健衛生学専攻 3年授業 2022年 前期

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【同期授業】

同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を WebClass へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。授業中、質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に言うことが望ましい。授業内でグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。

【実習】

原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。

ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示

に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 その他、「感染予防のための大学生活マニュアル」を参考に感染対策を徹底して臨むこと。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・筆記試験、提出課題により総括的評価する。 ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 ・筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。 ・筆記試験と提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。 ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 1) 3 分の 2 以上の出席を満たしていることが条件である。 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3) Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 4) 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著、:医歯薬出版、2017 歯科衛生士のための歯科診療報酬入門／日本歯科衛生士会 監修、鳥山佳則 ほか 編集、石井拓男 [ほか] 執筆、鳥山、佳則、石井、拓男、武井、典子、金澤、紀子、吉田、直美、日本歯科衛生士会、:医歯薬出版、2020 歯科衛生士のための成功へ導くインプラントアシスタント／塚原宏泰著、塚原、宏泰、:医歯薬出版、2020
参考書 歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修、末瀬一彦 ほか 著、末瀬、一彦、1951-、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2017 歯科機器／末瀬一彦 ほか 著、末瀬、一彦、1951-、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2017 口腔インプラント治療指針 = Treatment Guideline of Oral Implant／日本口腔インプラント学会 編、日本口腔インプラント学会、:医歯薬出版、2016
他科目との関連 ・2 年生の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。
履修上の注意事項 ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022278						
科目名	臨床口腔保健衛生実習Ⅱ	科目ID	DH-352202-E				
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床口腔保健衛生実習Ⅱ 時間数:45 時間 授業形態:実習・演習							
主な講義場所 WebClass、口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室、歯学科補綴実習室、ノイシュタットジャパンルーム							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理の方法を説明できる。 ・患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・各科に必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/11	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科用材料の取り扱い	各種材料など2年生に学んだ内容の復習を含むシミュレーション教材の演習	伊藤 奏	WebClass: FOS21046 OH17 期生 臨床基礎 実習 2021-2023
4-7	4/19	13:50-17:40	補綴実習室	歯科補綴関連実習1	暫間被覆冠の種類と作製の実際	大竹 志保 瀧田 美奈 佐藤 美穂 伊藤 奏 日高 玲奈	実習(基礎)
8-11	4/25	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科保存処置関連実習1	器材の取り扱いの実際(接着材)	井上 剛 伊藤 奏	実習(基礎)
12-15	5/13	12:50-16:40	ノイシュ タットジャ パンルー	歯科保存処置関連実習2	器材の取り扱いの実際(充填物)	井上 剛 伊藤 奏 日高 玲奈	実習(基礎)

			ム				
16-17	5/27	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	歯科診療補助演習	各分野の歯科診療補助について 演習	伊藤 奏	WebClass: FOS21046 OH17 期生 臨床基礎 実習 2021-2023
18-21	6/13	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	小児歯科関連実習	小児における診療補助の実際(相 互実習)	杉本 明日菜 伊藤 奏 安 達 奈穂子, 日高 玲奈	実習(相互)
22-24	6/21	14:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科材料の取り扱い	各種印象材の取り扱い	伊藤 奏 松 田 悠平	実習(基礎)
25-28	6/23	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科保存処置関連実習 3	防湿法の実際 ラバーダム防湿 法演習	飯野 由子, 伊藤 奏 安 達 奈穂子, 鈴木 瞳	実習(相互)
29-32	6/27	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔外科・歯科麻酔関連 実習	浸潤麻酔、静脈確保の実際	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習(基礎)
33-36	7/1	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インプラントの臨床と診 療補助	インプラント治療における歯科診 療補助の実際	立川 敬子, 伊藤 奏	実習(基礎)
37-40	7/4	12:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	救急蘇生法の実際	救急蘇生法実習	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	実習(基礎)
41-45	7/12	12:50-17:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科補綴関連実習 2	精密印象、硬石膏の取り扱い(相 互実習)	伊藤 奏 日 高 玲奈 鈴 木 瞳 松田 悠平	実習(相互)
授業方法							

【非同期授業】 指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。 質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 その他、「感染予防のための大学生活マニュアル」を参考に感染対策を徹底して臨むこと。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・筆記試験(歯科診療補助Ⅲを含む)、実技試験、実習評価、提出課題により総括的評価する。 ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 ・筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。 ・筆記試験、実技試験(3 年前期 OSCE の結果を反映)、実習評価および提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。 ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等を積極的に利用し、技術習得のため自己学習に励むこと。
試験の受験資格 1) 4 分の 3 以上の出席を満たしていることが条件である。 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3) 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 4) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著、合場 千佳子、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版, 2017 歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義、三浦英司 著、宮田 孝義, 1946-, 三浦 英司, 1957-, : 学建書院, 2018 歯科衛生士のための成功へ導くインプラントアシスタント／塚原宏泰著、塚原 宏泰、: 医歯薬出版, 2020
参考書 口腔インプラント治療指針 = Treatment Guideline of Oral Implant／日本口腔インプラント学会 編、日本口腔インプラント学会、: 医歯薬出版, 2016 ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 ・よくわかる口腔インプラント学 赤川安正、松浦正朗編 医歯薬出版 ・声と言葉のしくみ 亀田和夫 口腔保健協会

- ・口唇裂口蓋裂の補綴治療 大山喬史編 医歯薬出版社
- ・顎顔面補綴の臨床 大山喬史・谷口 尚著 医学情報社
- ・言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口 尚・片倉伸郎・大野友久・墨田由香著 インテルナ出版

履修上の注意事項

- ・2年生の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。

備考

- ・教科書「歯科診療補助論 第2版」を必携とする。
- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022280					
科目名	歯科衛生臨床実習 I		科目ID DH-374401-E			
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 伊藤 奏, 吉田 直美, 荒川 真一, 品田 佳世子, 松尾 浩一郎, 河野 章江, 富田 裕子, 米倉 里枝, 佐藤 未奈子, 佐々木 好幸[KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, SUZUKI Hitomi, ITOU Kanade, YOSHIDA Naomi, ARAKAWA SHINICHI, SHINADA KAYOKO, MATSUO Kouichirou, KONO FUMIE, TOMITA Hiroko, YONEKURA Rie, SATOU Minako, SASAKI YOSHIYUKI]					
開講時期	2022 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3			
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習 I 時間数: 45 時間×7 単位 315 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 実習						
主な講義場所 大学病院、学外施設						
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。						
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-7	9/28	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室 第1 総合	臨床実習ガイダンス I (3 年生)	3 年生後期 臨床実習ガイダンス1	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安

			診療室			達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 河 野 章江, 米 倉 里枝, 富 田 裕子, 佐 藤 未奈子	
8-14	9/29	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室 第1 総合 診療室	臨床実習ガイダンス I (3 年生)	3 年生後期 臨床実習ガイダンス 2	安達 奈穂子, 鈴木 瞳	
授業内容 ●3 年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -第1 総合診療室実習 歯周病科実習 口腔健康管理科実習 歯科総合診療部実習 ●4 年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -第1 総合診療室実習 歯周病科実習 病棟実習 歯科アレルギー外来実習 歯科心身医療外来実習 顎関節治療外来実習 スポーツ歯科外来実習 息さわやか外来実習 摂食嚥下リハビリテーション科 薬剤部実習							
成績評価の方法 ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。							
試験の受験資格 各科実習時間における 3/4 以上の出席							
履修上の注意事項 服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。							
備考 実習							

連絡先(メールアドレス)

安達 奈穂子:adachi.pvoh@tmd.ac.jp

鈴木 瞳:suzuki.ohce@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨

1 号館 8 階 814A 研究室

時間割番号	022283						
科目名	歯科衛生過程専門演習		科目ID	DH-352302-S			
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健学科 臨床系基礎実習室							
授業の目的、概要等 人々の歯科衛生ニーズにあった支援を提供するために活用する問題解決思考ツールの歯科衛生過程の概念と展開の方法を理解する。							
授業の到達目標 1. 対象に合わせたセルフケア用品を選択する。 2. 歯科衛生過程を概説する 3. 口腔疾患予防学実習で行う対象者からの情報収集の方法を確認する。 4. 収集した対象者の情報を分類・整理、統合し、記録する。 5. 対象者の歯科衛生関連の問題を明確化し、優先順位をつける。 6. 明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 7. 個別性の高い歯科衛生計画を立案(目標・介入方法・期待される結果)する。 8. 歯科衛生介入の経過記録を記載する。 9. 歯科衛生評価を行う。 10. 実施した全過程を振り返り、改善点をみつける							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生過程復習 SOPAP 形式の確認 (4/19PM 口疾: Assesment 写真)	吉田 直美	目標 2`9
4-6	5/9	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	口腔衛生用品選択② 傳坂氏	吉田 直美	目標1 身支度 をして参加すること
7-10	5/12	12:50-16:40	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生診断文作成・歯科衛 生計画の立案(5/6、10 PM 口疾: Assesment)	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 4-7 松田
11-13	5/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 臨床実践のための演習 5 歯 科衛生計画確定	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 4-7

14	5/23	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認1 (口疾: 5/20 介入①)	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 8
15-16	6/8	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認2 (口疾: 5/27 介入②)	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 8
17-18	6/13	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	歯科衛生評価	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 9
19	6/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認3 (口疾: 6/10 介入③)	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 8
20-21	7/4	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認4	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 8
22-23	7/11	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	歯科衛生業務記録の完成 振り返り	安達 奈穂子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 田 悠平	目標 9, 10 課 題提出締切 7/15
24-25	7/19	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	看護概論	吉田 直美	看護部田形朋子 先生
26-27	7/19	12:50-14:40	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	看護過程	吉田 直美	看護部佐藤若菜 先生
28-30	7/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3	臨床実践のための演習	行政における歯科衛生士の役割	吉田 直美	目標 11 長 調整中

			講義室				
成績評価の方法							
小テスト等課題 20%、レポート 80%で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示							
・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・2 年次の健康教育および歯科衛生過程の講義・実習で使用した資料・教本を確認しておくこと。							
試験の受験資格							
2/3 以上の出席							
教科書							
歯科衛生過程 HAND BOOK : 歯科衛生士教育サブテキスト : やさしく学べる・これならわかる／吉田直美, 遠藤圭子, 渡邊麻理, 鈴木純子 著,: クインテッセンス出版, 2015 事例でわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会,: 医歯薬出版, 2019							
参考書							
よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編,全国歯科衛生士教育協議会,: 医歯薬出版, 2015							
備考							
実習・演習							

時間割番号	022284						
科目名	社会調査の基礎			科目ID	DH-344500-L		
担当教員	品田 佳世子, 大山 篤, 安達 奈穂子, 大山 篤[SHINADA KAYOKO, Atsushi Ohyama, ADACHI Naoko, Atsushi Ohyama]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 社会調査の基礎 時間数: 30 時間 2 単位 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業(Zoom による)							
授業の目的、概要等 ・生命倫理、個人情報保護、研究倫理について理解する。 ・社会調査の意義と目的を理解する。 ・調査票の作成、集計・解析などを行うことができる。 ・社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して理解する。							
授業の到達目標 1.生命倫理について理解する。 2.個人情報保護、研究倫理について理解する。 3.社会調査の意義と目的、沿革の概要について説明できる。 4.調査票について基本を理解し、作成できる。 5.量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。 6.統計法の概要について説明できる。 7.医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生命倫理とは何か、インフォームドコンセントとその限界	生命倫理とは何か、インフォームドコンセントとその限界	藤井 達夫	同期授業 (Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」参照
3-4	4/12	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	優生思想と近代医療の関係	優生思想と近代医療の関係	藤井 達夫	同期授業 (Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」参照
5-6	4/19	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	ドイツと日本における優生的医療の具体例	ドイツと日本における優生的医療の具体例	藤井 達夫	同期授業 (Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」参照
7-8	4/22	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	質的研究、調査、分析方法(1)	質的研究、調査、分析方法(1)	品田 佳世子, 大山 篤 安	12:50-14:40: 同期 授業(Zoom)

						達 奈穂子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基 礎」資料アップ
9-10	4/26	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	新しい優生思想の登場 とその倫理的問題	新しい優生思想の登場とその倫理 的問題	藤井 達夫	同期授業 (Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基 礎」参照
11-12	5/6	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	質的研究、調査、分析方 法(2)	質的研究、調査、分析方法(2)	品田 佳世子、 大山 篤 安 達 奈穂子	12:50-14:40:同期 授業(Zoom) WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基 礎」資料アップ
13-14	5/10	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	研究倫理、倫理審 査について	研究倫理、倫理審査について	品田 佳世子、 甲畑 宏子	10:00-12:00 同期 授業(Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基 礎」資料アップ
15-16	5/17	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	個人情報保護につい て、	個人情報保護について、	品田 佳世子、 吉田 雅幸	10:00-12:00 同期 授業(Zoom)、 WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基 礎」資料アップ
17-18	5/20	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	質問紙調査	質問紙調査、演習(AL)	品田 佳世子、 安達 奈穂子	演習(AL) 質問 は安達へメール のこと。
19-20	5/24	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	量的調査・分析	量的調査・分析	品田 佳世子、 安達 奈穂子	WebClass の OH3 年前期のコース に資料およびに 動画アップ、質問 は安達へメール のこと。
21	5/31	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	研究倫理、個人情報保 護等、倫理審査に関す る知識確認試験	研究倫理、個人情報保護等、倫理 審査に関する知識確認試験	品田 佳世子	WebClass のコー ス上で時間指定 の研究倫理およ び個人情報保護 に関する知識確 認試験を行う。時 間内に必ず受験 すること。合格基 準をクリアするこ と。
22	6/7	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期 型)	スクリーニングテスト他	スクリーニングテスト他	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基

							礎」資料・動画アップ
23	6/14	12:50-13:40	遠隔授業 (非同期型)	社会調査の歴史と社会福祉	社会調査の歴史と社会福祉	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」資料・動画アップ
24-27	6/21	10:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	医療法、歯科医師法、歯科技工士法、その他の関連法規	医療法、歯科医師法、歯科技工士法、その他の関連法規	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」資料・動画アップ
28	7/5	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	関連法規の続き	関連法規の続き	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」資料・動画アップ
29	7/12	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	法規の練習問題	法規の練習問題	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」資料・動画アップ
30	7/19	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	知識確認試験: 質的・量的研究、スクリーニング調査、社会調査の歴史、医療法、歯科医師法、歯科技工士法その他関連法規他	知識確認試験: 質的・量的研究、スクリーニング調査、社会調査の歴史、医療法、歯科医師法、歯科技工士法その他関連法規他	品田 佳世子	WebClass のOH3 前期授業コース 「社会調査の基礎」で時間指定の知識確認試験を行う。時間内に必ず受験すること。

授業方法

非同期授業は WebClass のコース上に授業がアップされる。同期授業は Zoom 情報をシラバスおよび WebClass の掲示板にて連絡する。小テスト、演習、課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。

授業内容

到達目標に関する主として遠隔授業を行い、小テストや演習で知識を確実に修得できる内容とする。さらに、質問紙の作成などの演習をとおり、基礎知識を応用する力を養う。

成績評価の方法

- ・出欠状況と授業参加、課題発表、演習内容が 20%(AL)
- ・筆記試験(小テスト、確認テスト含む)(80%)を総合評価する。

成績評価の基準

授業に関する知識が修得されていること(筆記試験 60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は課題内容と筆記試験の合計が 70 点以上とし、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

統計の基礎を復習しておくこと。

試験の受験資格

・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業:同期 Zoom および非同期は WebClass にアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。

参考書

新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2015
 歯科衛生士のための衛生行政社会福祉社会保険／末高武彦著,末高, 武彦,:医歯薬出版, 2021

他科目との関連 1 年の公衆衛生学、2 年の口腔疾患予防学基礎 I、保健医療サービスとの関連あり。
備考 4 月 5 日(火)、4 月 12 日、4 月 19 日、4 月 26 日は 10:30—12:00 藤井達夫「医療人間学概論(倫理学)Zoom 4 月 22 日(金)、5 月 6 日(金)12:50—14:40 大山 篤「質的研究」(2 時間×2 回 神戸製鋼 歯科室) 5 月 10 日(火)、5 月 17 日(火) 吉田雅幸「個人情報保護」生命倫理研究センター 甲畑宏子「研究倫理、倫理審査」生命倫理研究センター 責任者:品田佳世子、オフィスアワー:随時、連絡先:shinada.pvoh@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 品田 佳世子:shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室

時間割番号	022285						
科目名	卒業研究			科目ID	DH-464600-Z		
担当教員	松尾 浩一郎[MATSUO Kouichirou]						
開講時期	2022 年度2年通年	対象年次	3～4	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 73 時間、4 学年 107 時間 授業形態:遠隔講義(同期・非同期併用)等							
主な講義場所 講義は遠隔講義が中心となるため自宅学習が中心となるが、研究発表会や研究指導において対面で行う可能性もある。適時、科目責任者(樺沢)や研究指導担当教員からの指示に従う事。							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	松尾 浩一郎	講義中に演習を行う FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
2	5/11	13:50-14:40	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	松尾 浩一郎	講義中に演習を行う FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
3	5/27	15:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	各教員からの研究例に関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎 坂本 裕次郎	講義中に演習を行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
4	5/30	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	各教員からの研究例に関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子,	講義中に演習を行う » FOS21025 OH3 卒業研究

						近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	2021-2022
5-6	6/1	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期 型)	各教員からの研究例に 関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレ ゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
7	6/15	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	坂本裕次郎からの研究 例に関するプレゼン	坂本裕次郎からの研究例に関す るプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	原則として、講義 録画は行わない ので、できる限り 参加すること。
8-9	6/22	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	各教員からの研究例に 関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレ ゼン(ウェブクラス)	樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 尾 浩一郎 安達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 坂 本 裕次郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
10-11	6/28	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	松尾 浩一郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
12-14	7/27	14:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	松尾 浩一郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022

15-17	8/8	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究のテーマ候補 と研究内容についての 相談	卒業研究のテーマ候補と研究内 容についての相談	松尾 浩一郎	講義中に討論、 演習を行う
18	10/5	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
19	10/6	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
20	10/26	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
21	11/2	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
22	11/9	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
23	11/10	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
24	11/16	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
25	11/17	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
26	11/24	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
27	11/30	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
28	12/1	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
29	12/6	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
30	12/7	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
31	12/8	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
32	12/12	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
33	12/13	16:50-17:40	遠隔授業	テーマ候補と研究内容	テーマ候補と研究内容に関する準	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3

			(非同期型)	に関する準備	備		卒業研究 2021-2022
34	12/14	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
35	12/15	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
36	12/20	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
37	12/21	16:50-17:40	未定	衛生学専攻4年生の卒業研究発表会	衛生学専攻4年生の卒業研究発表会	松尾 浩一郎	発表会に参加し、質問を行う。参加形式は未定。
38	12/22	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	松尾 浩一郎	
39	1/11	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
40	1/12	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
41	1/19	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	工学専攻の卒業研究発表会	工学専攻の卒業研究発表会	松尾 浩一郎	研究発表会に参加して質問をする。
42	1/26	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
43	2/2	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
44	2/7	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
45-46	2/7	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	面談
47-48	2/8	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
49-50	2/9	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容の決定	卒業研究テーマと内容の決定	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
51-54	2/14	13:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容の決定	卒業研究テーマと内容の決定	松尾 浩一郎	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
55-56	2/15	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	松尾 浩一郎	担当分野との打ち合わせ
57	2/16	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	松尾 浩一郎	担当分野との打ち合わせ
58-62	3/6	12:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	松尾 浩一郎	担当分野との打ち合わせ

			型)	野との打ち合わせ			
63-67	3/7	12:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	担当教員とのディスカ ッション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	松尾 浩一郎	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
68-71	3/8	13:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)	担当教員とのディスカ ッション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	松尾 浩一郎	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
授業方法 授業方法は遠隔講義を中心とする。具体的な講義内容は責任者(樺沢)から通知する場合があるため連絡に留意すること。							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。 ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイ ル、卒業研究論文ファイル)の期限内提 出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文について の総括的評価により行う。							
準備学習等についての具体的な指示 研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。							
試験の受験資格 第4学年において卒業研究の発表および卒業論文を提出すること							
参考書 卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子 著、クインテッセンス出 版、2011 SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫、謝承泰、久保田基夫 著、東京図書、2011 SPSSで学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著、東京図書、2008 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子 [ほか] 編、武井、典子、金澤、紀子(歯科衛生士)、合場、千佳子、石井、拓男、岩久、正明、日 本歯科衛生学会、医歯薬出版、2015 ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂							
備考 ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。							

時間割番号	022286						
科目名	相談援助演習Ⅱ			科目ID	DH-394700-S		
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子, 金原 明子, 長谷川 洋昭, 小山 幸, 横地 厚, 國見 真理子[NAKAYAMA Rena, YAMADA MIYOKO, KANEHARA Akiko, HASEGAWA HIROAKI, OYAMA Tsukasa, Atsushi Yokochi, KUNIMI MARIKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 60 時間 2 単位 授業形態: 演習 担当教員: 小山幸、金原明子(東京大学)、國見真理子(田園調布学園大学)、長谷川洋昭(田園調布学園大学)、山田美代子(西片医療福祉研究会)、横地厚、日高玲奈							
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、専門的な相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							
授業の到達目標 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明できる。 ・相談援助の実際について、事例を通じて理解できる。 ・ロールプレイを通じて相談援助の実践を理解できる。 ・様々な事例を通して、医療と福祉の連携や、現状・課題について説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション 対人援助職における相談援助技術	面接技術	日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,3
4-6	4/15	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	相談の技法を身に付けるⅠ	生活を視る視点、様々な理論やアプローチ	山田 美代子	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2
7-9	4/22	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	相談の技法を身に付けるⅡ	事例に基づくロールプレイ、事例検討	日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2,3
10-12	5/6	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	医療と福祉に関わる専門職	精神保健福祉士の役割	金原 明子	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,4
13-15	5/13	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	司法福祉	更生保護制度の概要と社会復帰に向けて	長谷川 洋昭	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2,4
16-18	5/20	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域における多職種連携	医療ソーシャルワーカーの役割	小山 幸	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,4

19-21	5/27	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域の社会資源Ⅰ	神奈川県共同募金会の見学	横地 厚 日 高 玲奈	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,4
22-24	6/3	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	憲法と医療・福祉サービ ス	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	國見 真理子	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,3,4
25-27	6/10	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域の社会資源Ⅱ	障害者就労支援施設の見学	横地 厚 日 高 玲奈	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,4
28-30	6/17	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	まとめ 相談援助技法 の応用	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子、 日高 玲奈	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,3,4

授業方法

ZOOM を用いた同期型および対面で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

- 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
- 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点
- 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点

振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

社会福祉士相談援助演習／長谷川匡俊[ほか]編集、長谷川、匡俊、上野谷、加代子、白沢、政和、中谷、陽明、日本社会福祉士養成校協会、：中央法規出版、2015

他科目との関連

高齢者福祉、介護福祉、障害児者福祉、地域福祉、相談援助演習 1 などの関連科目の資料にも十分に目を通してから望むこと。

備考

課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022287						
科目名	口腔保健と国際協力			科目ID	DH-334800-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 口腔保健と国際協力 ユニット名: 口腔保健と国際協力 時間数: 15 時間(1 単位) 講義: 遠隔講義(非同期、同期併用)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 国際保健医療福祉の現状を知り、国際的な視点から、歯科衛生士として活躍できる人材になるための基礎を学習する。							
授業の到達目標 SBOs 1 国際保健医療とは何かを説明できる。 2 それぞれの国の歯科保健医療福祉を説明できる。 3 国際保健医療の場で、活躍するために必要な基礎的事項・思考・学習方法を説明できる。 4 海外での口腔保健活動について、自分の関心のあることをまとめ、説明できる。 5 海外での口腔保健活動の目標、計画、実施を立案し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際保健医療1	グローバルヘルスの歴史と基本概念	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
2	4/19	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際保健医療2	国際保健の目指すもの 到達目標	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
3-4	4/20	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	国際口腔保健医療1、2	海外医療援助の実際	吉津 智慧 樺沢 勇司 安達 奈穂子	到達目標:3, 4 講義中に演習を行う
5	4/26	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際保健医療3	国際保健の戦略と理論	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
6	5/10	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際保健医療4	国際保健医療の実際: 大きな枠組み	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
7	5/31	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際保健医療5	口腔保健分野における国際協力: WHO Oral Health Programme	安達 奈穂子	到達目標:2, 3 講義中に演習を行う
8	6/6	09:00-09:50	遠隔授業 (非同期型)	国際口腔保健医療4	歯科衛生士の海外歯科保健活動・研究にむけての英語学習	關 奈央子 樺沢 勇司	到達目標:3, 4, 5 講義中に演習を行う
9	6/7	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	国際口腔保健医療5	世界の歯科衛生士の活動について(グループ発表)	安達 奈穂子	到達目標:2, 3 グループ発表を行う
10	6/14	09:00-09:50	遠隔授業	国際口腔保健医療5	歯科衛生士の海外歯科保健活動	關 奈央子	到達目標:2, 3

			(同期型)		に向けて・Critical appraisal の思考	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	講義中に演習を 行う
11	6/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	国際口腔保健医療6	世界の歯科衛生士の活動について(グループ発表)	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標:2, 3 講義中に演習を 行う
12-13	6/29	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	国際口腔保健医療9	歯科衛生士の海外歯科保健活動・研究について	木野 志保 安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標4, 5 講義中に演習を 行う
14-15	7/26	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	国際口腔保健医療7	海外での多職種との活動連携2 (タイとのライブ講義)	ポーンボット・ ファンターンシ ップ, 安達 奈 穂子, 樺沢 勇司	到達目標3, 4, 5 講義中に演習を 行う

授業方法

非同期型、同期型遠隔講義の併用で実施される。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢あるいは安達より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢、安達)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

学期末に筆記試験は実施しない。提出レポートで総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。

出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。定期試験は実施しないため、受験要件には用いない。成績評価のためにも、同期型講義の日程はできる限り出席することが望ましい。

参考書

講義中に指示する。

履修上の注意事項

遠隔授業に関して、周知されている注意事項に留意すること。 授業に関する質問は、科目責任者(樺沢・安達)まで、メールにて遠慮なく行うこと。

備考

担当教員の Office hour メールにて随時うけつける。

樺沢勇司	健康支援口腔保健衛生学分野	随時	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
安達奈穂子	口腔疾患予防学分野	随時	adachi.pvoh@tmd.ac.jp

時間割番号	022288				
科目名	歯科衛生研究			科目ID	DH-494900-L
担当教員					
開講時期	2022 年度通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
コマ数:15 コマ 日程は別途知らせる 必要自習時間:1 コマにつき 1 時間程度 授業形態:講義・演習(AL)					
主な講義場所 遠隔授業					
授業の目的、概要等 歯科衛生関連分野の研究に必要な知識を理解する。					
授業の到達目標 ・学術論文の文献検索を行う。 ・文献検索した論文を読む。 ・読んだ論文を抄読会形式でプレゼンテーションを行う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1	10/4	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
2	10/7	15:50-16:40			
3	10/24	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
4	10/31	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
5	11/15	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)		
6	11/29	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)		
7-11	12/19	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
12	1/10	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
13	1/17	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)		
14	1/18	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)		
15	1/24	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
16	1/31	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
成績評価の方法 課題レポート 80%で総括的評価を行う。授業態度 20%を総括的評価に加味する。					

準備学習等についての具体的な指示 ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。
試験の受験資格 課題レポートで総括的評価を行う。出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
備考 演習

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目ID	DH-495000-Z
担当教員					
開講時期	2022 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					

- ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。
(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
- ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022281						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅱ	科目ID	DH-474402-E				
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 松尾 浩一郎, 吉田 直美, 荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 鈴木 瞳, 伊藤 奏, 河野 章江, 米倉 里枝, 富田 裕子, 佐藤 未奈子[KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, MATSUO Kouichirou, YOSHIDA Naomi, ARAKAWA SHINICHI, SHINADA KAYOKO, SASAKI YOSHIYUKI, SUZUKI Hitomi, ITOU Kanade, KONO FUMIE, YONEKURA Rie, TOMITA Hiroko, SATOU Minako]						
開講時期	2022 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習Ⅱ 時間数: 45 時間×3 単位 135 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 実習							
授業の目的、概要等							
・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標							
・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。							
・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。							
・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。							
・診療に必要な器材を説明する。							
・診療室への患者の誘導を適切にできる。							
・対象者に挨拶して自己紹介できる。							
・対象者との信頼関係を築くことができる。							
・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。							
・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。							
・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。							
・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。							
・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。							
・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。							
・インフォームドコンセントを行うことができる。							
・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。							
・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。							
・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	4/4	10:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実習ガイダンスⅡ (4年生)	4年生前期 臨床実習ガイダンス	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一 品田 佳世子 佐々木 好幸 近藤 圭子 鈴木 瞳 安 達 奈穂子 安達 奈穂子 伊藤 奏 河	

						野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	
7-8	4/8	14:50-16:40	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	【15:30～16:30】臨床実習 ガイダンスⅡ(4年生) (D6OH4 連携実習につ いて)	4 年生前期 臨床実習ガイダンス (D6OH4 連携実習について)	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳 則 武 加奈子	【注意！15:30 開 始！】
9-15	5/30	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	試験ケース発表会1(4 年生)	試験ケース終了報告	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	詳細については WebClass より資 料を配布する

授業内容

●3 年生

- ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習
- ・臨床実習(本実習)
- むし歯科実習
- 口腔外科実習
- 義歯科実習
- 歯科放射線科実習
- 中央器材室実習

●4 年生

- ・臨床実習ガイダンス
- ・臨床実習(本実習)
- ・歯科麻酔科実習

成績評価の基準

- ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。
- ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。
- ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。

実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。

試験の受験資格

各科実習時間における 3/4 以上の出席

履修上の注意事項

各科実習時間における 3/4 以上の出席

備考

実習

連絡先(メールアドレス)

安達 奈穂子:adachi.pvoh@tmd.ac.jp

鈴木 瞳:suzuki.ohce@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨

1 号館 8 階 814A 研究室

時間割番号	022282						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅲ	科目ID	DH-474403-E				
担当教員	近藤 圭子, 安達 奈穂子, 松尾 浩一郎, 吉田 直美, 荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 鈴木 瞳, 伊藤 奏, 河野 章江, 米倉 里枝, 富田 裕子, 佐藤 未奈子[KONDO KEIKO, ADACHI Naoko, MATSUO Kouichirou, YOSHIDA Naomi, ARAKAWA SHINICHI, SHINADA KAYOKO, SASAKI YOSHIYUKI, SUZUKI Hitomi, ITOU Kanade, KONO FUMIE, YONEKURA Rie, TOMITA Hiroko, SATOU Minako]						
開講時期	2022 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習Ⅲ 時間数: 45 時間×3 単位 135 時間 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 実習							
授業の目的、概要等							
・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標							
・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。							
・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。							
・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。							
・診療に必要な器材を説明する。							
・診療室への患者の誘導を適切にできる。							
・対象者に挨拶して自己紹介できる。							
・対象者との信頼関係を築くことができる。							
・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。							
・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。							
・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。							
・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。							
・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。							
・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。							
・インフォームドコンセントを行うことができる。							
・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。							
・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。							
・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実習ガイダンスⅢ (4年生)	4年生後期 臨床実習ガイダンス	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一 品田 佳世子 佐々木 好幸 近藤 圭子 鈴木 瞳 安 達 奈穂子 安達 奈穂子 伊藤 奏 河	

						野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	
4-10	10/3	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	試験ケース発表会2-2 (4年生)	リコール報告	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一 品田 佳世子 佐々木 好幸 近藤 圭子 鈴木 瞳 安 達 奈穂子 安達 奈穂子 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	
授業内容 ●3 年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -小児歯科実習 インプラント科実習 ●4 年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) 矯正歯科実習 顎顔面補綴外来実習 高齢者歯科外来実習 障害者歯科外来実習							
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。							
試験の受験資格 各科実習時間の 3/4 以上の出席							
履修上の注意事項 服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。							
備考 実習							
連絡先(メールアドレス) 安達 奈穂子:adachi.pvoh@tmd.ac.jp 鈴木 瞳:suzuki.ohce@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							

安達 奈穂子:メールで事前連絡してから訪問することを推奨
1 号館 8 階 814A 研究室

第 4 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022305						
科目名	臨床口腔保健応用学			科目ID	DH-456600-L		
担当教員							
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:臨床口腔保健応用学 ユニット名:臨床口腔保健応用学 時間数:15 時間(1 単位) 講義形式:遠隔講義(Zoom による同期型遠隔授業)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 多様な患者に対して、その医療・歯科医療内容を理解し、歯科衛生過程に基づいて、歯科衛生活動を展開できる知識と応用力を修得する。							
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔がん患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 2. 顎関節症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 3. 地域医療における多職種連携を理解し、その概要を説明できる。 4. 地域医療(訪問診療)において患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 6. 臨床医学における研究倫理について理解し、その概要を説明できる。 7. 歯科心身症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 8. 周術期における口腔健康管理について、その概要を説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/13	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	顎関節症患者への対応	顎関節症患者への対応	樺沢 勇司, 西山 暁	到達目標:2 講義中に演習・討論を行う
3-4	5/20	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	地域医療において必要なこと	地域医療において必要なこと	樺沢 勇司, 川越 正平	到達目標:3、4 講義中に演習・討論を行う
5-6	5/27	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科心身症患者への対応	歯科心身症患者への対応	樺沢 勇司, 豊福 明	到達目標:7 講義中に演習・討論を行う
7-8	6/3	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	睡眠時無呼吸症候群患者への対応	睡眠時無呼吸症候群患者への対応	樺沢 勇司, 秀島 雅之	到達目標:5 講義中に演習・討論を行う
9-10	6/10	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	臨床医学と研究倫理	臨床医学と研究倫理	樺沢 勇司, 飯田 香緒里	到達目標:6 講義中に演習・討論を行う
11-12	6/17	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	周術期における口腔健康管理	周術期における口腔健康管理	樺沢 勇司	到達目標:8 講義中に演習・討論を行う
13-14	6/24	12:50-14:40	遠隔授業	口腔がん患者への対応	口腔がん患者への対応	樺沢 勇司	到達目標:3、4

			(非同期型)			黒嶋 雄志	講義後に演習、課題解答を行う
15	7/8	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	地域医療における歯科衛生士の役割	地域医療における歯科衛生士の役割	樺沢 勇司, 山口 朱見	到達目標:3、4 講義中に演習・討論を行う
授業方法 遠隔授業(Zoom による同期型遠隔講義とウェブクラスによる非同期型遠隔講義)を原則とする。講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールにて連絡すること。							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 ・授業内での演習、リアクションペーパー、レポートなどで総合的に評価する。 ・授業内容について十分に理解できていること、授業内容と口腔健康管理を実施する上で臨床的に問題とされている事柄を関連付けて考えられているものをより評価する。							
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。							
試験の受験資格 本科目では学期末に筆記試験を実施しない。成績評価のためには全授業の 2/3 以上の出席を原則とする。遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。							
教科書 講義中に参考図書を指示する。							
参考書 有病者歯科学：歯科衛生士必須／日本有病者歯科医療学会 編、今井裕 監修、今井 裕、日本有病者歯科医療学会：永末書店、2020 歯科衛生士のための口腔内科 = Oral Medicine for Dental Hygienist：全身と口腔をつなぐオーラルメディスン／山根源之、酒巻裕之、里村一人、野村武史 編著、山根 源之、1946-、酒巻 裕之、里村 一人、：医歯薬出版、2019 講義中に参考図書を指示する。							
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。							
備考 科目責任者 樺沢勇司 kabsawa.ocsh@tmd.ac.jp メールでの相談は随時受け付ける							

時間割番号	022306						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅲ		科目ID	DH-454303-Z			
担当教員							
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業							
授業の目的、概要等 個別性を重視した健康教育を実践するために必要な知識・技術・態度を理解する。							
授業の到達目標 1. スポーツ歯学の基本を理解し、口腔保健との関係を説明する。 2. ライフステージ別の口腔健康教育について説明する。 3. 地域における歯科衛生士のセルフケア支援を説明する。 4. 歯科保健指導の今後の展開を考え、説明する。 5. 周術期口腔機能管理、在宅療養管理指導の意義目的を説明する。 6. 東洋医学の基本を理解し、口腔保健との関係を説明する。 7. 口腔健康の啓発活動の実際を説明する。 8. 産業保健における歯科衛生士の取組みを説明する。 9. 保健医療福祉専門職の生涯学習の重要性を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護者への口腔健康 管理	要介護者への口腔健康管理の実際(合同実習準備)	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 2, 3, 5
3-5	4/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護者への口腔健康 管理	要介護者への口腔健康管理の実際(合同実習準備)	吉田 直美 鈴木 瞳	対面参加が困難な方用の ZOOM (要事前連絡) 目標 2, 3, 5
6	4/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第1 講義室 口腔保健 学科第2 講義室	要介護者への口腔健康 管理	要介護者への口腔健康管理の実際(合同実習準備)	鈴木 瞳	目標 2, 3, 5
7-8	5/20	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔健康と東洋医学	歯科領域における漢方療法	吉田 直美 日高 玲奈 嶋田 昌彦	嶋田昌彦名誉教授 目標 2.4
9-10	5/27	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	スポーツと口腔健康	スポーツ歯学	上野 俊明	目標 1.4
11-13	6/3	09:00-11:50	遠隔授業 (非同同期型)	海外における歯科保健 医療活動	スウェーデンの歯科事情	吉田 直美	目標 2.4、7 小林亜子先生 確認中
14-16	6/10	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	地域歯科医療における 健康教育	地域歯科診療所におけるセルフ ケア支援	吉田 直美 渡邊 麻理	目標 3.4
17-19	6/17	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	全身疾患を有する患者 への歯科保健指導	口腔衛生管理と口腔機能管理	吉田 直美	亀田、森田 大津 目標 4.5 h

20-22	7/1	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔健康教育における 研究的視点	口腔健康教育における研究的視点と教育への活かし方	鈴木 瞳 吉田 直美 杉本 久美子, 久保田 絢子	杉本久美子名誉教授 目標 2,4
23-24	7/1	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	口腔健康教育における 研究的視点	GW	吉田 直美 鈴木 瞳 杉本 久美子, 久保田 絢子	杉本久美子名誉教授 目標 2,4
25-27	7/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	多様なライフステージにおける口腔健康教育	各ライフステージにおける口腔健康教育の実際	吉田 直美 鈴木 瞳 杉本 久美子, 久保田 絢子	目標 2,4
28-30	7/22	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	産業歯科保健における健康教育	禁煙支援 産業保健における歯科衛生士の取り組み	吉田 直美 茂木 美保	目標 4, 8, 10
成績評価の方法 課題レポートおよびフィードバックシート 80%で総括的評価を行う。 受講態度、出席状況等 20%を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。 ・2 年次、3 年次の健康教育の講義・実習で使用した資料を確認する。							
試験の受験資格 試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。							
備考 実習、演習、グループワーク							

時間割番号	022280		
科目名	歯科衛生臨床実習 I	科目 ID	DH-374401-E
担当教員			
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3
実務経験のある教員による授業	該当する		
主な講義場所 歯学部附属病院			
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。			
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。			
授業内容 ●3 年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -第 1 総合診療室実習 歯周病外来実習 口腔ケア外来実習 歯科総合診療部実習 ●4 年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -第 1 総合診療室実習 歯周病外来実習 病棟実習 歯科アレルギー外来実習 歯科心身医療外来実習 顎関節治療部実習			

スポーツ歯科外来実習 息さわやか外来実習 検査部実習 薬剤部実習
成績評価の方法 ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。
試験の受験資格 各科実習時間における 3/4 以上の出席
教科書 :医歯薬出版
参考書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,:医歯薬出版, 2007 歯周病学／申基喆ほか著,申, 基喆,:医歯薬出版, 2015 臨床検査／井上孝ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,井上, 孝,:医歯薬出版, 2012 :医歯薬出版 講義資料
履修上の注意事項 附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022281						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅱ	科目ID	DH-474402-E				
担当教員							
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 歯学部附属病院							
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	4/4	10:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実習ガイダンスⅡ (4年生)	4年生前期 臨床実習ガイダンス	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一、 品田 佳世子、 佐々木 好幸、 近藤 圭子、 鈴木 瞳 安 達 奈穂子、 安達 奈穂子、 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子、佐 藤 未奈子	
7-8	4/8	14:50-16:40	口腔保健 学科臨床	【15:30～16:30】臨床実習 ガイダンスⅡ(4年生)	4年生前期 臨床実習ガイダンス (D60H4 連携実習について)	近藤 圭子、 安達 奈穂子、	【注意！15:30 開 始！】：

			基礎実習 室	(D6OH4 連携実習につ いて)		鈴木 瞳 則 武 加奈子	
9-15	5/30	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	試験ケース発表会1(4 年生))	試験ケース終了報告	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	詳細については WebClass より資 料を配布する

授業内容

●3 年生

- ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習
- ・臨床実習(本実習)
 - むし歯外来実習
 - 口腔外科外来実習
 - 義歯外来実習
 - 歯科放射線外来実習
 - 中央器材室実習

●4 年生

- ・臨床実習ガイダンス
- ・臨床実習(本実習)
 - 歯科麻酔外来実習

成績評価の方法

- ・実習報告書・実習記録、出席状況、臨床実習指導者評価等により総合的評価を行う。
- ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総合的評価に加味する。
- ・提出レポート、課題発表等で総合的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。

実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。

試験の受験資格

各科実習時間における 3/4 以上の出席

教科書

保存修復・歯内療法：歯の硬組織・歯髄疾患
：医歯薬出版

参考書

口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之 [ほか]執筆；松井恭平 [ほか]編集全国歯科衛生士教育協議会山根 源之、松井 恭平：医歯薬出版、2011
 歯科診療補助論／可児徳子、合場千佳子、高阪利美 編：医歯薬出版、2007
 歯の硬組織・歯髄疾患-保存修復・歯内療法／千田彰、中村洋 [ほか]著：医歯薬出版、2010
 咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修、氷室利彦 [ほか]著、氷室 利彦、1953-、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、

2011

歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会監修；岡野友宏〔ほか〕執筆,岡野, 友宏,:医歯薬出版, 2009

, 2011

:医歯薬出版

／大嶋隆 ほか著,: 医歯薬出版, 2009

:医歯薬出版, 2013

各科講義資料

履修上の注意事項

附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022282						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅲ	科目ID	DH-474403-E				
担当教員							
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 歯学部附属病院							
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実習ガイダンスⅢ (4年生)	4年生後期 臨床実習ガイダンス	松尾 浩一郎 吉田 直美 荒川 真一、 品田 佳世子、 佐々木 好幸、 近藤 圭子、 鈴木 瞳 安 達 奈穂子、 安達 奈穂子、 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	
4-10	10/3	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	試験ケース発表会2-2 (4年生)	リコール報告	松尾 浩一郎 吉田 直美	

						荒川 真一, 品田 佳世子, 佐々木 好幸, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏 河 野 章江 米 倉 里枝 富 田 裕子 佐 藤 未奈子	
授業内容 ●3 年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) ー小児歯科外来実習 インプラント外来実習 ●4 年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) ー矯正歯科外来実習 顎義歯外来実習 スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習 スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習							
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。							
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。							
試験の受験資格 各科実習時間の 3/4 以上の出席							
教科書 :医歯薬出版							
参考書 小児歯科／大嶋隆ほか著,大嶋 隆,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2009 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,:医歯薬出版, 2007 障害者歯科／向井美恵ほか著,向井, 美恵,:医歯薬出版, 2013 高齢者歯科／植田耕一郎ほか著,植田, 耕一郎,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2013 , 2009 :医歯薬出版 各科講義資料							
履修上の注意事項 附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。							

時間割番号	022307				
科目名	歯科衛生臨地実習			科目ID	DH-476700-E
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	6
実務経験のある教員による授業	該当する				
科目名: 歯科衛生臨地実習 時間数 3 学年 45 時間、4 学年 225 時間 授業形態: 実習、演習					
主な講義場所 WebClass、Zoom、口腔保健学科 第3 講義室(3 年生)、第2 講義室(4 年生)、学外施設、病院 等					
授業の目的、概要等 歯科衛生活動を展開するために必要な知識、技術、態度を習得して、実践力を養う。					
授業の到達目標 ・地域、病院、企業における歯科衛生活動を説明する。 ・対象のニーズ判断に基づいた介入計画を立案する。 ・介入後の変化を評価する。					
授業方法 原則、学外実習であるが、感染状況を考慮し、実習内容を演習や課題提出に変更する。 【非同期授業】 指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。 質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。 【同期授業】 同期授業の場合、多くは事前に課題を WebClass へ掲示する。適宜確認の上、必ず課題を期限までに準備(必要に応じて提出)した上で授業に臨むこと。 授業中、質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。 授業内でグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、フェイスシールドの着用等が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 学外実習の場合、必ず報告書提出が課されるため、「臨床・臨地実習の手引き」を熟読し、提出期限を遵守し報告書提出を行うこと。報告書に不備があった場合、再提出となるため、必ず提出前に自己チェックを行い提出すること。					
授業内容 授業内容は「臨床・臨地実習の手引き」に記載している。また、実習日等の詳細については、直前の状況を踏まえて別途予定表として配布する。					
成績評価の方法 1)主に実習への出席状況と報告書提出により評価する。 2)学外実習については、指導者からの評価も評価へ考慮する。 3)演習や課題提出がある場合には、その結果も評価へ考慮する。					
成績評価の基準 ・成績評価方法の1)～3)について、適宜重み付けをして 100 点満点となるよう評価する。					

・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 ・実習前に実習先施設について情報収集を行い十分に理解した上で臨む。 ・実習に関連する内容を復習しておく。
試験の受験資格 1) 4 分の 3 以上の出席を満たしていることが条件である。 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3) Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 4) 学外実習は、実習開始時刻までに実習の身だしなみを整え実習を開始できる状態になっている場合、出席とみなす。身だしなみが整っていない場合には、適宜遅刻とみなすことがある。 5) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
参考書 臨床実習 hand book／眞木吉信, 藤原愛子, 高阪利美, 石井実和子, 泉野裕美 監著, 眞木, 吉信, 1954-藤原, 愛子, 歯科, 高阪, 利美: クインテッセンス出版, 2010
履修上の注意事項 ・学外実習時の服装、態度、言葉遣いに留意する。 ・実習への取り組み、出席状況、報告書の提出状況などが不適切な場合には、実習停止とすることがある。

時間割番号	022285						
科目名	卒業研究			科目ID	DH-464600-Z		
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA YUJI]						
開講時期	2021 年度2年通年	対象年次	3～4	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 73 時間、4 学年 107 時間 授業形態:遠隔講義(同期・非同期併用)等							
主な講義場所 講義は遠隔講義が中心となるため自宅学習が中心となるが、研究発表会や研究指導において対面で行う可能性もある。適時、科目責任者(樺沢)や研究指導担当教員からの指示に従う事。							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	15:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	樺沢 勇司	講義中に演習を行う FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
2	5/12	14:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の進め方	卒業研究の進め方	樺沢 勇司	講義中に演習を行う FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
3	5/26	15:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	各教員からの研究例に関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎 坂本 裕次郎	講義中に演習を行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
4	5/26	16:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	各教員からの研究例に関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子,	講義中に演習を行う » FOS21025 OH3 卒業研究

						近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	2021-2022
5	5/28	16:00-16:50	遠隔授業 (非同期 型)	各教員からの研究例に 関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレ ゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
6	5/31	13:00-13:50	遠隔授業 (同期型)	坂本裕次郎からの研究 例に関するプレゼン	坂本裕次郎からの研究例に関す るプレゼン(ウェブクラス)	吉田 直美 樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 安 達 奈穂子, 日高 玲奈, 日高 玲奈, 松尾 浩一郎, 坂本 裕次郎	原則として、講 義録画は行わな いので、できる限 り参加すること。
7-8	6/16	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	各教員からの研究例に 関するプレゼン	各教員からの研究例に関するプレ ゼン(ウェブクラス)	樺沢 勇司, 荒川 真一, 品田 佳世子, 近藤 圭子, 鈴木 瞳 吉 田 直美 松 尾 浩一郎 安達 奈穂子, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 坂 本 裕次郎	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
9	6/23	16:00-16:50	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	樺沢 勇司	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
10-12	7/28	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	樺沢 勇司	講義中に演習を 行う » FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022

13-15	8/2	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究のテーマ候補 と研究内容についての 相談	卒業研究のテーマ候補と研究内 容についての相談	樺沢 勇司	講義中に討論、 演習を行う
16	10/6	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究のテーマに関 する文献検索	卒業研究のテーマに関する文献 検索	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
17	10/7	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
18	11/4	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
19	11/10	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
20	11/11	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
21	11/17	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
22	11/18	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
23	11/24	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
24	11/25	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
25	12/1	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
26	12/1	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
27	12/2	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
28	12/7	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
29	12/8	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
30	12/9	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	テーマ候補と研究内容 に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準 備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
31-32	12/13	16:00-17:50	遠隔授業	テーマ候補と研究内容	テーマ候補と研究内容に関する準	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3

			(非同期型)	に関する準備	備		卒業研究 2021-2022
33	12/14	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
34	12/15	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
35	12/16	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
36-43	12/17	09:00-17:50	未定	衛生学専攻4年生の卒業研究発表会	衛生学専攻4年生の卒業研究発表会	樺沢 勇司	発表会に参加し、 質問を行う。参加 形式は未定。
44	12/21	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備	テーマ候補と研究内容に関する準備	樺沢 勇司	
45	1/5	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
46	1/6	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
47-51	1/7	09:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	工学専攻の卒業研究発表会	工学専攻の卒業研究発表会	樺沢 勇司	研究発表会に参加して質問をする。
52	1/12	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
53	1/13	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
54	1/20	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
55	1/27	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	面談
56	2/3	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	卒業研究テーマと内容に関する個別面談	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
57-58	2/8	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容の決定	卒業研究テーマと内容の決定	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
59-60	2/9	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマと内容の決定	卒業研究テーマと内容の決定	樺沢 勇司	» FOS21025 OH3 卒業研究 2021-2022
61-64	2/15	14:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	樺沢 勇司	担当分野との打ち合わせ
65-66	2/16	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	樺沢 勇司	担当分野との打ち合わせ
67	2/17	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	テーマ候補と研究内容に関する準備、担当分野との打ち合わせ	樺沢 勇司	担当分野との打ち合わせ

			型)	野との打ち合わせ			
68-72	3/7	13:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	担当教員とのディスカ ッション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	樺沢 勇司	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
73-77	3/8	13:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	担当教員とのディスカ ッション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	樺沢 勇司	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
78-81	3/9	14:00-17:50	遠隔授業 (非同期 型)	担当教員とのディスカ ッション、準備、研究開始	担当教員とのディスカッション、準 備、研究開始	樺沢 勇司	担当教員とのディ スカッション、準 備、研究開始
82-84	6/27	09:00-11:50					
85-87	6/30	09:00-11:50					
88-90	7/29	14:50-17:40					
91-95	8/1	12:50-17:40					
96	10/17	09:00-17:40					
97	11/7	09:00-17:40					
98-99	11/11	09:00-10:50					
100-1 01	11/25	09:00-10:50					
102	11/28	09:00-17:40					
103-1 05	12/2	14:50-17:40					
106	12/5	09:00-17:40					
107-1 11	12/19	12:50-17:40					

授業方法

授業方法は遠隔講義を中心とする。具体的な講義内容は責任者(樺沢)から通知する場合があるため連絡に留意すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3 年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提 出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習等についての具体的な指示

研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。

試験の受験資格

第4学年において卒業研究の発表および卒業論文を提出すること

参考書

卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子 著、クインテッセンス出版、2011

SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫、謝承泰、久保田基夫 著、東京図書、2011

SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著、東京図書、2008

歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子〔ほか〕編、武井、典子、金澤、紀子(歯科衛生士)、合場、千佳子、石井、拓男、岩久、正明、日本歯科衛生学会、医歯薬出版、2015

・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社

・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版

・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂

備考

・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

連絡先(メールアドレス)

樺沢 勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司 随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022308						
科目名	歯科衛生学演習			科目ID	DH-456800-S		
担当教員							
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必要自習時間:1コマにつき 1~3 時間							
授業形態: 演習・実習							
主な講義場所							
附属病院							
その他遠隔授業							
授業の目的、概要等							
心身の状態が口腔機能の低下や口腔衛生状態の不良へ及ぼす影響の実際を知り、歯科医療従事者としてそれらを改善するための知識・態度を理解する。							
歯科臨床における歯科衛生士の役割を考え、応用に必要な知識と技術および態度を習得する。							
授業の到達目標							
1.対象の口腔衛生・口腔機能の状態を説明する。							
2.口腔健康管理の方法を概説する。							
3.多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。							
4.チーム医療に必要な技能を応用する方法を説明する。							
5.口腔機能が低下する要因について概説する。							
6.口腔機能評価法を説明する。							
7.口腔機能に応じた食形態や障害に応じた食具を説明する。							
8.疾病や障害に応じた食事摂取法を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生学演習ガイダンス	ガイダンス	吉田 直美	
2	4/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第1 講義室 口腔保健 学科第2 講義室	OH4-NS 合同授業	準備	鈴木 瞳	
3-5	5/13	09:00-11:50	看護学実 習室1, 看護学実 習室2	OH4-NS 合同授業	AL 看護学科との合同演習	吉田 直美 鈴木 瞳, 松 田 悠平, 安 達 奈穂子	
6	5/20	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 松田 悠平, 鈴木 瞳	目標1~8
7	5/27	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳, 松 田 悠平, 安 達 奈穂子	目標1~8
8	6/3	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳, 松 田 悠平, 安	目標1~8

						達 奈穂子	
9	6/10	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 1~8 1450 ~1540 指示がなければ自習 1550~1640 グループ演習
10	6/10	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳, 松田 悠平, 安達 奈穂子	目標 1~8
11	6/17	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 1~8 1450 ~1540 指示がなければ自習 1550~1640 グループ演習
12	6/17	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳, 松田 悠平, 安達 奈穂子	目標 1~8
13	6/24	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携教育	AL 看護合同授業振り返り チーム医療入門準備	鈴木 瞳, 吉田 直美, 松田 悠平, 安達 奈穂子	
14	6/24	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	D6-OH4 合同授業	AL 看護合同授業振り返り チーム医療入門準備	吉田 直美, 松田 悠平, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子	
15	6/24	14:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	吉田 直美 鈴木 瞳	目標 1~8
16	6/24	15:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	多職種連携教育	AL 看護合同授業振り返り チーム医療入門準備	吉田 直美 鈴木 瞳, 松田 悠平, 安達 奈穂子	
17-23	6/28	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携教育	AL チーム医療入門	吉田 直美, 松田 悠平, 鈴木 瞳, 樺沢 勇司	目標 1~8
24-30	6/29	09:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	多職種連携教育	AL チーム医療入門	吉田 直美, 樺沢 勇司, 松尾 浩一郎	目標 1~8

成績評価の方法

- ・課題レポート 100%で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

D6-H4 合同症例検討授業およびチーム医療入門、看護学科との合同授業はそれぞれにおいて全履修時間の4分3以上出席する。

課題レポートをすべて提出する。
備考 演習、実習、グループワーク

時間割番号	022309						
科目名	歯科衛生臨床・臨地応用論				科目ID	DH-496900-Z	
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 歯科衛生臨床・臨地応用論 講義・演習 15 時間 1 単位							
主な講義場所 対面授業の場合: 1 号館西 7 階の口腔保健学科第 2 講義室 非同期(WebClass)および同期(Zoom)により遠隔授業あり。							
授業の目的、概要等 既習の臨床実習および臨地実習で関心を抱いた場での実習、ボランティア活動、また学会等への参加を通して、その領域に関する知識を深め、技能を高める。 特別な配慮が必要な対象者に対して、対象者本位の口腔保健活動を実施するための、態度、知識、技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的特性を配慮して、生活上の問題を抽出、整理する。 ・対象者の価値観の多様性を理解して、対応する。 ・利用者の心理状態や体調の変化に対応する。 ・専門職間の連携について説明する。 ・歯科衛生士の専門性をより深く理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/2	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科衛生臨床・臨地応用論の進め方と課題の説明	歯科衛生臨床・臨地応用論の進め方と課題の説明	品田 佳世子	対面または同期 (Zoom)授業にて説明
4-6	6/6	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	課題実施	課題実施	品田 佳世子	課題について WebClass 上で資料をアップ
7-9	6/13	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	課題実施	課題実施	品田 佳世子	課題について WebClass 上で資料をアップ
10-12	6/20	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	課題実施	課題実施	品田 佳世子	課題について WebClass 上で資料をアップ
13-15	7/11	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	課題発表、質疑応答	課題発表、質疑応答	品田 佳世子	対面または同期 (Zoom)にて、課題発表、質疑応答(AL)
授業内容 ボランティア活動: 高齢者施設、地域のイベント参加 学会: 歯科衛生分野の学会、関連学会参加 歯科関連セミナー: 産業保健研究会、大学院講義、その他への参加 報告書の作成: 活動報告書 成果発表: 活動報告会							
成績評価の方法 出席と演習への参加、レポート・発表による							

成績評価の基準 出席点(15点)、演習の参加(30点)とレポート(30点)・発表(15点)に課題以上の追加があった場合(10点)で総合100点で評価。70点以上はGPA評価B、80点以上はA以上の評価。
準備学習等についての具体的な指示 歯科衛生関連の学会および地域のボランティア募集について調べておく。
試験の受験資格 2/3以上の出席とレポート提出、課題の発表
他科目との関連 歯科衛生関連科目と関連
備考 責任者 品田佳世子、オフィスアワー: 随時、連絡先: shinada.pvoh@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) shinada.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1号館西8階品田教授室

時間割番号	022310					
科目名	口腔保健マネジメント論			科目ID	DH-497000-L	
担当教員	松尾 浩一郎[MATSUO Kouichirou]					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 第2 講義室						
授業の目的、概要等 口腔保健におけるマネージメントを考え、その方法を理解する。						
授業の到達目標 ・ライフステージにおけるマネージメントを考える。 ・対象によるマネージメントを考える。 ・地域や環境によるマネージメントを考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	マネージメントとは	授業の進め方 課題の提示	松尾 浩一郎
4-6	10/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	ライフステージとマネー ジメント	演習	松尾 浩一郎
7-9	10/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	対象によるマネージメン ト	演習	松尾 浩一郎
10-12	11/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域・環境によるマネー ジメント	演習	松尾 浩一郎
13-15	12/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ		松尾 浩一郎
成績評価の方法 出席、レポートと試験により、総合評価を行う。						
準備学習等についての具体的な指示 事前学習を行う。						
試験の受験資格 2/3 以上出席、レポートの提出						

時間割番号	022311				
科目名	保健行動科学			科目ID	DH-497100-L
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
口腔保健学科第2 講義室					
授業の目的、概要等					
保健医療福祉分野における行動変容を支援するするために必要な知識・技術・態度を理解する。					
授業の到達目標					
・保健行動科学とは何かを説明する。					
・医療者に必要なコミュニケーションの技法を用いる。					
・リラクゼーション技法を説明する。					
・リラクゼーション技法を用いる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-2	4/13	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
3-4	4/20	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
5-6	4/26	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
7-8	4/27	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
9-10	5/17	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
11-12	5/24	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
13-14	5/31	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
15-16	6/7	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
17-18	6/14	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
19-20	6/15	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
21-22	6/21	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
23-24	6/22	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
25-26	6/28	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
27-28	6/29	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		
29-30	7/12	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)		

成績評価の方法 課題レポート、期末試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。
試験の受験資格 ・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。
備考 演習

時間割番号	022312						
科目名	地域口腔保健論			科目ID	DH-497200-L		
担当教員	品田 佳世子[SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 地域口腔保健論							
時間数: 15 時間 1 単位							
授業形態: 講義、課題発表・演習(AL) 含む							
主な講義場所							
遠隔授業: 非同期授業(WebClass のコース内)、同期授業(Zoom による)							
授業の目的、概要等							
公表されている地域の口腔保健の実態を調べ、口腔保健推進に関して計画や施策を考える力を培う。							
授業の到達目標							
1. 我が国の地域の口腔保健の実態を知る。 2. 地域の口腔保健を推進するための計画を考える。 3. 地域に合った施策を考える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	地域保健・口腔保健の概要	地域保健・口腔保健の概要	品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
2	4/19	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
3	5/11	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
4	5/18	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔

							保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
5	5/25	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
6	6/1	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
7	6/8	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
8-11	6/30	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	課題発表 地域口腔保健について(非常勤講師)	課題発表 地域口腔保健について(非常勤講師)	品田 佳世子	課題発表:同期(Zoom)質疑応答(AL)地域口腔保健について(非常勤講師 静間夕香による講義:1時間)
12-13	7/1	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑応答、直接、品田へのメールも可。
14	7/19	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)			品田 佳世子	WebClass4 年の前期授業のコース内の地域口腔保健論に資料、授業アップ、掲示板にて連絡・質疑

							応答、直接、品田 へのメールも可。
15	7/26	16:50-17:40	遠隔授業 (非同期 型)			品田 佳世子	WebClass4 年の 前期授業のコー ス内の地域口腔 保健論に資料、 授業アップ、掲示 板にて連絡・質疑 応答、直接、品田 へのメールも可。
授業方法 非同期授業は WebClass のコース上に授業がアップされる。同期授業はシラバスまたは WebClass の掲示板にて連絡する。課題発表やデ ィスカッションを適宜行う(AL)。 授業内容 資料について説明し、課題を出すので、レポート提出・発表、質疑応答を行う。演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。 成績評価の方法 出席点(15 点)とレポートまたは発表(75 点)、質疑応答の内容、課題以上の発展的内容(10 点)を総括的に評価する。 成績評価の基準 出席点(15 点)とレポートまたは発表(75 点)、質疑応答の内容、課題以上の発展的内容(10 点)を総括的に評価する。出席点とレポートま たは発表で 70 点以上を GPA 評価 B、質疑応答の内容、課題以上の発展的内容があれば総合的に 80 点以上を A 評価以上とする。 準備学習等についての具体的な指示 全国の都道府県、市区町村の保健に関するホームページの中に、口腔保健に関してどのような情報が公表されているのか調べておく。 試験の受験資格 ・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業:同期 Zoom および非同期は WebClass にアップ)を必要とする。同期授業は授業時間に出席を確認する。 非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。							
他科目との関連 1 年生の公衆衛生学、2 年生の口腔疾患予防学基礎 I、3 年生の社会調査の基礎との関連							
備考 非常勤講師 静間夕香:小平保健所 歯科衛生士 講義 1 時間 責任者 品田佳世子、オフィスアワー:随時、連絡先:shinada.pvoh@tmd.ac.jp							
連絡先(メールアドレス) shinada.ohp@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM.10:00-PM.6:00 1 号館西 8 階品田教授室							

時間割番号	022313						
科目名	在宅訪問・災害口腔保健医療				科目ID	DH-497300-L	
担当教員	日高 玲奈, 松尾 浩一郎[NAKAYAMA Rena, MATSUO Kouichirou]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 松尾浩一郎、日高玲奈 地域に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと							
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室							
授業の目的、概要等 ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、訪問歯科診療の実際について理解する。特に、病院、在宅、施設への訪問診療による、療養中の高齢者・要介護高齢者の口腔衛生管理や、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援の実際について理解する。また、一部、災害時の訪問歯科診療についても触れる。							
授業の到達目標 ・歯科訪問診療と往診の違いを説明できる ・病院への訪問歯科診療を説明できる ・居宅(自宅、施設)への訪問歯科診療を説明できる ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアの実際を理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療の実際を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	12:50-14:40	遠隔授業 (同期型)	歯科訪問診療とは 高齢者の訪問歯科診療	歯科訪問診療と往診の違い 訪問歯科診療の概要	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1
3	4/8	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	訪問診療の実際	病院、居宅(在宅、施設)への訪問診療	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4
4-8	4/15	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	訪問歯科診療の在り方	医療介護連携、地域連携、多職種協働	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4,5
9-11	5/13	14:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	災害と訪問歯科診療	災害時の訪問歯科診療	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs4,5
12	5/27	14:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討1	事例検討1	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
13	5/27	16:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討2	事例検討2	日高 玲奈, 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5

14-15	7/15	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	報告会 まとめ	学習成果の発表、これまでのまとめ	日高 玲奈 松尾 浩一郎	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
授業方法 各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。 また、地域でのフィールドワークも実施する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で100点、80%の出席率で80点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや授業態度等 40点 3) レポート課題 60点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席							
教科書 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著: 医歯薬出版, 2015							
参考書 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編 日本歯科衛生士会 監修: 医歯薬出版, 2011							
履修上の注意事項 地域の現場に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと							
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。							

時間割番号	022314					
科目名	先端歯科医療学			科目ID	DH-497400-L	
担当教員						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
科目名: 先端歯科医療学 時間数: 15 時間 必要自習時間: 10 時間 授業形態: 講義・討論						
主な講義場所 ZOOM 形式						
授業の目的、概要等 ・歯周治療における最先端の知見および治療法を修得する。 ・これからの歯科衛生士としてあるべき姿の未来像の提案と共に、歯科衛生士として大切な能力であるコミュニケーションの最新の考え方を修得する ・最新の歯科マネジメント(ミッションの重要性・PDCA の重要性)の考えなど臨床を通じて解説する。						
授業の到達目標 ・歯周治療における最先端の知見および治療法を説明できる。 ・患者の心理状態を的確に把握するコミュニケーションの最新の考え方を実践できる。 ・最新の歯科マネジメント方法を実践できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/16	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	マイクロバイオータと歯周炎	歯周炎の発症・進行にかかわる細菌をマイクロバイオータ(細菌叢)の観点から解析した、最新の知見を紹介する	竹内 康雄 荒川 真一
4-6	5/23	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯周治療におけるレーザーの応用	歯周治療においてレーザーが応用されている。レーザーの基本原理解、種類、特徴を活かした臨床応用など、最新の知見を紹介する	青木 章 荒川 真一
7-8	7/8	14:50-16:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周再生治療	再生療法の一つとして、歯根膜シートが開発されている。当該シートに関する最先端の研究成果と臨床応用を紹介する	岩田 隆紀 荒川 真一
9-10	7/15	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	歯周炎と全身疾患	歯周炎と糖尿病などの様々な全身疾患と関係について、最新の知見を紹介する	片桐 さやか、 荒川 真一
11-12	7/25	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	歯周病専門開業医における歯科衛生士の役割	歯周病専門開業医における歯周治療とそこにかかわる歯科衛生士の役割について紹介する	大西 英知 荒川 真一
13-15	8/1	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	予防を軸に歯科の未来へ	最新の歯科マネージメント、これからのあるべき歯科衛生士像を提案する	井上 裕之 荒川 真一
授業方法 ZOOM 形式(非同期を主とする)						
授業内容 授業予定表を参照のこと。						

成績評価の方法 ・出席状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、討論等で総括的評価を行う
成績評価の基準 ・出席状況(20%)、討論・レポート(80%)を以って成績判定を行う。
準備学習等についての具体的な指示 ・歯周治療の基本的流れについて、今一度確認し、書けるようにしておくこと。 (先進的な治療を理解するには、基本的な治療の把握が必須となる) ・なぜ、歯科衛生士になろうとしたのか。どのような歯科衛生士になりたいのか。 それは、なぜなのかを考えておく。 ・コミュニケーション、PDCAについて、基本的な知識を習得しておくこと。
試験の受験資格 試験は行わない。
履修上の注意事項 歯周治療の基本的な流れを今一度復習しておくこと。
備考 ・講義内容について討論を行う。

時間割番号	022298						
科目名	福祉計画			科目ID	DH-395900-L		
担当教員	日高 玲奈, 藤高 直之, 遠藤 康裕[NAKAYAMA Rena, FUJITAKA Naoyuki, ENNDON Yasuhiro]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 藤高 直之(立正大学)、遠藤 康裕、日高玲奈、ほか							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 ・福祉計画の基本的事項を理解し、社会福祉の位置づけ、枠組みを修得する。							
授業の到達目標 ・福祉計画の意義と目的を説明できる。 ・福祉計画の主体と方法について説明できる。 ・福祉計画についてその種類、内容について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/2	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	福祉計画の意義と目的	行政の総合計画と福祉計画、福祉計画の法的根拠など	藤高 直之 日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
4-8	9/2	13:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	福祉計画の実際Ⅰ	次世代育成支援行動計画、地域福祉計画	藤高 直之	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
9-11	9/9	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	福祉計画の理論と技法	福祉計画の基本的視座、ニーズの把握、評価、住民参加	遠藤 康裕	4 グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
12-15	9/9	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	福祉計画の実際Ⅱ	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画・障害福祉計画	遠藤 康裕	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準							

1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 20 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 80 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 2/3 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集: 中央法規出版, 2017
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022300						
科目名	福祉運営管理				科目ID	DH-396100-L	
担当教員	日高 玲奈, 國見 真理子, 金原 明子[NAKAYAMA Rena, KUNIMI MARIKO, KANEHARA Akiko]						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	4		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 2 単位							
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)							
担当教員:金原明子(東京大学)、國見真理子(田園調布学園大学)、日高玲奈、ほか							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論およびサービス経営と管理運営の特徴について理解する。							
授業の到達目標							
・福祉サービスに係る組織や団体(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について説明できる。							
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について説明できる。							
・福祉サービスの経営と管理運営について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-5	10/21	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 1	授業の説明、学習内容の確認、重要事項の概説、ロジカルシンキング、フレームワーク リーダーシップ、組織間ネットワーク、チームアプローチ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
6-10	10/28	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	福祉サービスの管理運営の方法	会計管理と財務管理	國見 真理子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
11-15	11/4	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	福祉サービスにおける組織と経営 1 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 2	福祉サービス提供組織の経営を支える財務と会計 戦略と事業計画	國見 真理子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
16-20	11/11	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	福祉サービスにおける組織と経営 2 福祉サービスの組織や団体	福祉サービス提供組織の経営と実態 社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組織の特徴など 福祉サービス提供組織の社会的役割、運営の実態や課題	國見 真理子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
21-25	11/18	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	福祉サービスの組織と経営の基礎理論 2 福祉サービスの管理運営の方法① 事例研究 1	キャリア・パスの概要(仕組みと意義)、職員研修システム、OJT、職場のメンタルヘルス対策(現状と課題) 人事管理と労務管理、人材育成 真の地域包括ケアシステムとは何か	金原 明子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3

26-30	11/25	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	福祉サービスの管理運営の方法② 事例研究 2	サービスマネジメント、サービスの質の評価、リスクマネジメント 情報管理と戦略的広報 福祉サービス提供組織における社会福祉士の役割と位置づけ～医療・介護に携わる管理者の取り組み(医療・介護の現場のあり方)	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 新・社会福祉士養成講座 11 福祉サービスの組織と経営 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版, 2017 はじめての社会保障：福祉を学ぶ人へ／椋野美智子, 田中耕太郎著, 椋野, 美智子, 田中, 耕太郎, 有斐閣, 2019							
参考書 ・「福祉サービスの組織と経営 第4版(新・社会福祉士養成講座 第11 巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 ・一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会推薦テキスト「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全 21 巻) 日本医療企画 ・随時授業中に紹介する。							
履修上の注意事項 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。							
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。							

時間割番号	022302						
科目名	相談援助演習Ⅲ			科目ID	DH-496300-S		
担当教員	日高 玲奈, 堀 千鶴子, 横地 厚[NAKAYAMA Rena, HORI CHIZUKO, Atsushi Yokochi]						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	4		単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 60 時間 2 単位							
授業形態: 演習(課題発表、グループワーク含む)							
担当教員: 日高玲奈、堀千鶴子(城西国際大学)、横地厚(NPO 法人 福祉と市民活動研究所)							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
口腔保健学科第2 講義室							
授業の目的、概要等							
・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							
授業の到達目標							
・社会福祉援助の特徴を説明することができる。							
・社会福祉援助の内容・方法プロセスを説明することができる。							
・社会福祉援助に関する実践上の課題について、自らの意見を述べることができる。							
・社会福祉援助と口腔保健における実践との関連性に興味関心をもち、自ら調べ、考える態度をもつ。							
・社会福祉相談援助実習に向けた自ら興味関心と学習課題を説明することができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/18	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施Ⅰ	個別支援	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
4-6	4/25	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施Ⅱ	集団支援	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
7	5/2	12:50-13:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施Ⅲ	地域支援	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
8	5/6	09:00-15:40	遠隔授業 (同期型)	面接技術の振り返り	ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
9-11	5/9	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施Ⅳ	事例分析	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4,5
12-14	5/16	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施Ⅴ	個別支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4,5

15-17	5/23	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の実施VI	集団支援と地域支援、事例検討	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4,5
18-20	6/6	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助技術の振り返りI	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs2,3,4,5
21-23	6/13	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助技術の振り返りII	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
24-26	6/20	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助技術の振り返りIII	事例分析、ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
27-29	6/27	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	ソーシャルワーク実践 理論の振り返り	各理論と実践モデルの活用法	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
30-32	7/4	12:50-15:40	遠隔授業 (非同期型)	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発	社会資源の活用・調整・開発の実 際	日高 玲奈、 横地 厚	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
33-35	7/11	12:50-15:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助実習報告会	春季実習報告会	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
36	9/5	09:00-16:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の技術の基礎 I	コミュニケーション技術	堀 千鶴子、 日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
37	9/6	09:00-16:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の技術の基礎 II	面接技術の習得	日高 玲奈、 堀 千鶴子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3
38	9/7	09:00-16:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の技術の基礎 III	相談援助技術の活用1	堀 千鶴子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
39	9/8	09:00-16:40	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 IV	事例検討	日高 玲奈、 堀 千鶴子	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
40	10/24	09:00-16:40	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論 の実践 I	事例検討	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
41	11/14	09:00-17:40	口腔保健	ソーシャルワーク理論	事例検討	日高 玲奈	グループ討論、

			学科第2 講義室	の実践Ⅱ			グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
42	12/12	09:00-14:40	遠隔授業 (同期型)	相談援助の技術の応用 まとめ	相談援助技術の応用 これまで のまとめ	日高 玲奈	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5
授業方法 ZOOM を用いた同期型と対面方式で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。 質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 社会福祉士相談援助演習 第 2 版／日本社会福祉士養成校協会 監修、長谷川匡俊、上野谷加代子、白澤政和、中谷陽明 編集、中央法規出版、2015							
他科目との関連 ソーシャルワークⅠと相談援助演習Ⅰ、ソーシャルワークⅡと相談援助演習Ⅱを基本として、これまでに学習した知識を体系化し、より実践に向けて応用力を演習を通して涵養する。上記科目について十分に復習した上で臨んでください。							
備考 課題発表、グループワーク含む							

時間割番号	022303						
科目名	相談援助実習指導				科目ID	DH-496400-Z	
担当教員	日高 玲奈[NAKAYAMA Rena]						
開講時期	2021 年度2年通年	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 相談援助実習指導 時間数: 3 学年 42 時間、4 学年 48 時間 授業形態: 実習(課題発表、グループワーク含む)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。 ・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識 化し、体系立てていくことをめざす。							
授業の到達目標 ・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的 かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応でき る能力を習得し、意識化できる。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	11/15	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	相談援助実習とは	日高 玲奈	
4-6	11/29	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の場所	高齢者施設	日高 玲奈	
7-9	12/6	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の場所	障害者施設	日高 玲奈	
10-12	12/21	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の場所	地域包括支援センター	日高 玲奈	
13-14	1/7	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の場所	病院実習	日高 玲奈	
15-17	1/17	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	相談援助の場所	児童相談所・児童養護施設	日高 玲奈	
18-20	1/24	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	実習準備	実習に必要な書類の書き方	日高 玲奈	
21-25	2/8	09:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	実習における留意事項	実習における注意と準備	日高 玲奈	
26-28	2/9	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	実習先機関・施設	地理的条件や関連する社会資源	日高 玲奈	
29-32	2/15	09:00-13:50	遠隔授業 (同期型)	アセスメント	実習先アセスメントの活用、利用者ニーズの理解、地域を理解する必要性	日高 玲奈	
33-35	2/16	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	実習目的	実習目的の立て方	日高 玲奈	
36-39	2/17	09:00-13:50	遠隔授業 (同期型)	実習計画書の作成方法 1	実習計画書の作成	日高 玲奈	

40-42	2/18	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	実習計画書の作成方法 II	実習計画書の作成	日高 玲奈	
43-44	4/18	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	実習全体の振り返り	日高 玲奈	
45-46	4/25	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	事例選択	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
47-48	5/2	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	実習振り返り	ブレインストーミング、マインドマップ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
49-50	5/6	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	ブレインストーミング、マインドマップ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
51-52	5/9	15:50-17:40	遠隔授業 (非同期型)	実習振り返り	事例検討	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
53-54	5/23	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	事例分析	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
55-59	5/30	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例分析	事例分析(高齢者)	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
60-61	6/6	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例分析	事例分析(障害者)	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
62-63	6/13	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、ロールプレイ	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
64-65	6/20	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、情報整理(エコマップ、ジェノグラム)	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
66-67	6/27	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、ケアプラン作成	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
68-69	7/4	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、社会資源の調査	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
70-71	7/11	15:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、地域アセスメント	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
72-76	7/22	12:50-17:40	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討、地域アセスメント	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
77-80	10/7	12:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	実習準備	FK グリップの活用方法	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
81-83	11/18	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	実習準備	自己覚知	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4

84-86	12/9	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	実習報告書の作成	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
87-88	12/12	14:50-16:40	遠隔授業 (同期型)	実習振り返り	実習報告会準備	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
89-91	12/19	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	実習報告会 まとめ	実習報告会	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
授業方法 ZOOM を用いた同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4 年後期)							
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例: 100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや授業態度等 30 点 3) 講義中に課されるレポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 4 分の 3 以上の出席							
備考 課題発表、グループワークを含む							

時間割番号	022304						
科目名	相談援助実習			科目ID	DH-496500-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度2年通年	対象年次	3	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 相談援助実習 時間数: 3 学年後期(春季集中)、4 学年(夏季集中) 実習日数(時間)は 24 日間(180 時間)・16 日間(120 時間)・8 日間(60 時間)以上のいずれか。 授業形態: 実習 担当: 日高玲奈							
主な講義場所 社会福祉施設・機関							
授業の目的、概要等 ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。							
授業の到達目標 ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-8	9/13	09:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	オリエンテーション フィールドワークとは	オリエンテーション フィールドワークとは	日高 玲奈	
9-16	9/14	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク②	社会資源の発見	日高 玲奈	
17-24	9/15	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク③	社会資源の整理	日高 玲奈	
25-32	9/16	09:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	フィールドワーク④	家族へのインタビュー	日高 玲奈	
33-40	9/17	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑤	社会資源の整理(カード整理法)	日高 玲奈	
41-48	9/21	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	地域で暮らす人々の理解①	子育て世代	日高 玲奈	
49-56	9/22	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	地域で暮らす人々の理解②	ALS 就労移行支援	日高 玲奈	
57-64	9/24	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	地域で暮らす人々の理解③	子どもの貧困	日高 玲奈	
65-72	9/27	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	福祉の現場について	様々な施設、機関	日高 玲奈	
73-80	9/28	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑥	社会資源の再発見	日高 玲奈	
81-88	9/29	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑦	社会資源の分析	日高 玲奈	
89-96	10/5	09:00-17:50	遠隔授業	地域で暮らす人々の理	高齢者	日高 玲奈	

			(同期型)	解④			
97-10 4	10/6	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討	日高 玲奈	
105-1 12	10/7	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討	日高 玲奈	
113-1 20	10/8	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討	日高 玲奈	
121-1 28	10/11	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑧	地域の特徴の理解	日高 玲奈	
129-1 36	10/12	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑨	医療従事者の視点から	日高 玲奈	
137-1 44	10/13	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	フィールドワーク⑩	医療従事者の視点から	日高 玲奈	
145-1 52	10/14	09:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	コミュニティソーシャル ワーカーの業務理解	CSW の事例を通して役割を理解 する	日高 玲奈	
153-1 60	10/15	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	事例検討	事例検討	日高 玲奈	
161-1 68	10/18	09:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	事例検討	事例検討	日高 玲奈	
169-1 76	10/19	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	これまでの振り返り	マインドマップ、ブレインストーミング	日高 玲奈	
177-1 84	10/20	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	発表準備	スライド作成	日高 玲奈	
185-1 92	10/21	09:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	発表、まとめ	発表、まとめ	日高 玲奈	

成績評価の方法

実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総括的評価を行う。

成績評価の基準

実習記録や報告書、実習指導者による評価をもとに総合的評価を行う。

教員が週 1 回実習先を巡回し、取り組みの様子などを総括的評価に加味する。

実習で体験した事象に対して、複数の視点から考察されている場合や独自の考察がなされている場合に加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に十分な準備の上で、実習に臨むこと。

・実習については、指導教員の判断を常にあおぐこと。

・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

相談援助実習指導内で実習に向けた準備をしていますので、必ず復習してください。

相談援助技術や支援に関する各理論・実践モデルについても十分に復習して臨んでください。

試験の受験資格

180 時間以上の出席

参考書

相談援助実習／川廷宗之、高橋流里子、藤林慶子編著、川廷 宗之、高橋 流里子、藤林 慶子、ミネルヴァ書房、2009

他科目との関連

地域福祉、高齢者福祉、介護福祉、障害者福祉などこれまでの社会福祉系科目全てが関連します。実習先に合わせてよく復習しておいてください。

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを実習で得た学習内容の共有を行う。

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目ID	DH-495000-Z
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA YUJI]				
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。
(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室